

2020-A-12 革新的な内視鏡診断・治療法の開発基盤を構築する研究

吉永繁高

中央病院 内視鏡科

研究の分野名

後期開発・標準治療開発分野

研究の概要

本研究は、革新的な内視鏡診断・治療法の創出に資する開発研究および大規模コホート研究のための基盤整備を目的とし、前期までの研究「革新的な内視鏡診断・治療法の創出に資する開発研究および大規模コホート研究のための基盤整備 (29-A-13)」を継続、発展させるものである。

1. 前研究班にて行った内視鏡分野における革新的な診断法・治療法の開発・研究での成果を基に新しい診断法や手技を生かしたがんに対する早期発見手法の開発・研究

前研究班で行っていた Web 上画像判定システムを用いた大腸 NBI 拡大観察分類法 (J-NET) 妥当性検討研究 (JNET-web) をヨーロッパとの共同の前向き研究として発展的に継続していく。また早期発見手法の開発では現在既に市販されている直視型超音波内視鏡を改良し内視鏡胃がん検診とともに膵臓を超音波内視鏡下に観察する「胃がん・膵がん同時検診」を開発し、予後不良な膵がんの早期発見の可能性を模索する。

2. 日本全国を網羅する内視鏡領域におけるコホート研究の継続と基盤整備

胃・大腸がん内視鏡治療における多施設コホート (観察) 研究ならびに、「全腫瘍性ポリープ摘除がもたらす大腸がん罹患率抑制効果解明のための多施設共同前向きコホート研究」などの研究の研究事務局機能を維持し、研究の推進を計る。また今回より臨床上、上部消化管内視鏡検査において高頻度で遭遇する胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究のための基盤整備を行い、胃粘膜下腫瘍における治療の必要性の層別化を図る。

3. 前研究班において設立した内視鏡組織バンクの確立と革新的な治療法の開発への応用のための基盤整備

前研究において内視鏡組織バンクを設立し、現在大腸がん患者に関して開始している。ESD、ポリペクトミー或いは手術前後の正常・腫瘍の時系列サンプルを計画的に採取し、生検検体の一部を Tissue bank用に保存し研究所次世代シーケンサー等を用いゲノムや蛋白の解析を行い、異時性のポリープやがんの再発等との関係を明らかにする。また、腸内細菌の解析研究とも共同し、がんの本態解明、転移再発の予測、抗がん剤や放射線の感受性予測、光免疫療法の開発などに応用できるようにする。

研究内容としては以下のように大別される

- ①『Japan Polyp Study 登録患者における、全腫瘍性ポリープ摘除がもたらす大腸がん罹患率抑制効果解明のための多施設共同前向きコホート研究』：1,291人規模の多施設共同研究コホート研究
- ②『早期大腸癌内視鏡治療データベース』の研究：大腸ESDの長期予後に関する研究
- ③『ウェブ上画像判定システムを用いた大腸NBI拡大観察分類法（J-NET）妥当性検討研究』
- ④『多施設共同呼吸器内視鏡レジストリ』：呼吸器内視鏡レジストリの普及
- ⑤『内視鏡データベースと連携した全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアの検討』：がん対策情報センターとの連携
- ⑥『直視型超音波内視鏡を用いた内視鏡胃がん検診とともに膵臓を観察する観察法の開発研究』：「胃がん・膵がん同時検診」の開発
- ⑦『胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究』：上部消化管内視鏡検査において高頻度で遭遇する胃粘膜下腫瘍の実態調査
- ⑧『胃粘膜下腫瘍に対する人工知能を用いたEUS画像診断法の開発』：上部消化管内視鏡検査において高頻度で遭遇する胃粘膜下腫瘍に対する客観的で簡易な新規診断方法に関する研究

研究経費

年 度	研究経費
1年次	7,499千円
2年次	7,500千円
3年次	7,496千円
総 計	22,494千円

研究班の組織

研究者名	所属研究機関名・職名	分担研究課題名
(研究代表者) 吉永繁高 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科・医長	『直視型超音波内視鏡を用いた内視鏡胃がん検診とともに膵臓を観察する観察法の開発研究』 『胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究』 『胃粘膜下腫瘍に対する人工知能を用いたEUS画像診断法の開発』
斎藤 豊 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科・科長／内視鏡センタ ー長	『早期大腸癌内視鏡治療データベース』 『ウェブ上画像判定システムを用いた大腸NBI 拡大観察分類法（J-NET）妥当性検討研究』

松田 尚久 2023/3/31まで	東邦大学 医学部医学科 内科学 講座消化器内科分野・教授	『Japan Polyp Study登録患者における、全腫瘍性ポリープ摘除がもたらす大腸がん罹患率抑制効果解明のための多施設共同前向きコホート研究』 『直視型超音波内視鏡を改良し内視鏡胃がん検診とともに膵臓を観察する観察法の開発研究』
小田 一郎 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科・非常勤医師	『直視型超音波内視鏡を用いた内視鏡胃がん検診とともに膵臓を観察する観察法の開発研究』 『胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究』
坂本 琢 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科・非常勤医師	『ウェブ上画像判定システムを用いた大腸NBI拡大観察分類法（J-NET）妥当性検討研究』
松元 祐司 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科、呼吸器内科・医員	『多施設共同呼吸器内視鏡レジストリ』
西本 寛 2022/3/31まで	国立がん研究センターがん対策 研究所がん登録センター・特任 補佐	『内視鏡データベースと連携した全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアの検討』
塚田 庸一郎 2023/3/31まで	国立がん研究センターがん対策 研究所がん登録センター・院内 がん登録室長	『内視鏡データベースと連携した全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアの検討』
蓑田 洋介 2023/3/31まで	九州大学病院光学診療部・助教	『胃粘膜下腫瘍に対する人工知能を用いたEUS画像診断法の開発』
山本 精一郎 2023/3/31まで	国立がん研究センターがん対策 研究所・特任研究員	研究の計画と解析
小林 望 2023/3/31まで	国立がん研究センター中央病院/ がん対策研究所検診開発研究 部・検診センター長/部長	『早期大腸癌内視鏡治療データベース』

研究の目的と到達目標及び実績要点

全期間

（目的と到達目標）

（目的）

- ①対象者（最終登録者 1,291 名）のフォローアップ大腸内視鏡検査（TCS）を継続しながら、TCS および内視鏡的ポリープ切除による大腸癌罹患・死亡率減少効果に関する評価を行うことが主たる目的である。
- ②本邦で開発された大腸 ESD に関する全国規模のデータベースを構築すると共に、その臨床的有用性を検

証する。

③大腸内視鏡検査の際、腫瘍性病変の診断に用いる JNET 分類についての信頼性を確認すること、また診断精度向上等を目的とした新規所見の有用性に関する検討および分類の改訂を行う。さらに、国際的な拡大内視鏡検査と JNET 分類の普及を目指し、国際共同研究をすすめることを目的とする。

④多施設共同呼吸器内視鏡レジストリの普及を目指し、呼吸器内視鏡に関する研究発表を行う。

⑤JED を用いた内視鏡検査・治療データベースと院内がん登録との連携を行うことで、予後情報の付加が比較的容易となることから、全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアから内視鏡データベースへのデータ連携のためのデータの提供機能を維持する。

⑥早期発見手法の開発では現在既に市販されている直視型超音波内視鏡を改良し内視鏡胃がん検診とともに膵臓を観察する「胃がん・膵がん同時検診」を開発し、予後不良な膵がんの早期発見の可能性を模索する。

⑦临床上、上部消化管内視鏡検査において高頻度で遭遇する胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究のための基盤整備を行う。

⑧胃粘膜下腫瘍に対する人工知能を用いた EUS 画像診断法が超音波内視鏡下吸引生検 (Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration/ biopsy; EUS-FNAB)の代替もしくは補完する診断方法になりえるか検証する。

(①～⑧の研究の各々の到達目標)

①研究期間 3 年間では、内視鏡的大腸ポリープ切除後の大腸癌罹患率減少効果に関する評価が目標となる。また、近年欧米を中心に大規模な全ゲノム関連解析が複数実施され、散発性大腸がんやリスク要因への感受性を示す複数の遺伝子多型が明らかになっている。これら遺伝子多型を用いた大腸がんリスク予測の実現可能性についての検討も行う。

②20 施設から 2070 例の登録が終了し、現在は 5 年間の追跡調査を行っている。2020 年 4 月まで追跡を予定しており、その後、データのクリーニングと固定を経て、最終結果を発表する予定である。またいくつかの副次的研究も予定している。

③大腸 JNET 分類が作成されて以降、日常臨床において適用されてきている。一方で、JNET 分類については、診断信頼性の確認や、細部にわたる所見の妥当性の確認などによる改訂も必要と考えられている。日本消化器内視鏡学会の附置研究会とも連携し、JNET を啓蒙・普及のみならず、JNET 分類のアップデートさせるため、Web を使用した多施設研究(「ウェブ上画像判定システムを用いた大腸 NBI 拡大観察分類法 (J-NET) 妥当性検討研究(JNET-web)」)を完遂し JED の validation を行う。本 validation は欧州内視鏡学会との共同研究も開始している。

④2019 年より 3 施設で開始したレジストリ研究であり、3 年後に年間 5,000 例のデータを収集できるよう、参加施設の増加に取り組む。また蓄積された可能な限りバイアスを制御したデータから、実施状況や診断精度、安全性といった基本事項について、まずは研究発表を行う。

⑤院内がん登録支援システム Hos-CanR Next、および検討中のクラウド型の次世代院内がん登録システムから内視鏡データベースへの、生存確認情報も含めたデータ連携機能を拡張・実装する。

⑥企業と共同で直視型超音波内視鏡を改良し胃癌内視鏡検診に耐えうる内視鏡を開発する。またその観察方法の確立を目指す。

⑦JED を用いて胃粘膜下腫瘍の抽出するシステムを構築し全国で症例を集積・管理を目指す。

⑧これまで単施設にて応募者が開発した人工知能併用の EUS 画像診断システムの信頼性を、多施設における EUS 画像を用いて検証する。また同時に EUS-FNAB の診断精度と比較することで、開発した人工知能併用の EUS 画像診断システムが EUS-FNAB を代替または補完する診断方法となる可能性についても探索する。

(研究終了時点の実績要点)

①内視鏡的ポリープ切除後サーベイランスに関する論文が受理され、大腸癌罹患率減少効果についての論

文を投稿中である。

②大腸 ESD の良好な長期成績をまとめた最終報告が *Gastroenterology* 誌に採択され、プレスリリースも行った。

③JNET 分類の診断信頼性を検証しその妥当性が確認された。また、海外医師の診断精度が日本人医師と遜色ないものであった。

④「呼吸器内視鏡に関する多施設共同データベースを用いた前向き観察研究」を主導し、当院単施設でのデータを基に、3本の論文が掲載された。

⑤開発遅延から内視鏡データベースへの移行の遅れ、生存確認情報についての法的制限のため実装までには至らなかった。

⑥メーカーとより良い改良について検討をしたが、超音波内視鏡専用機について諸々の原因で開発が遅延した。

⑦JED に入力できるようにするため学会の用語委員会に胃粘膜下腫瘍に関する用語の登録を提案した。

⑧多施設から集積した画像を使用し、胃粘膜下腫瘍の EUS 画像を評価する診断精度の高い人工知能を構築した。

研究方法

本研究は、国立がん研究センター中央病院内視鏡科（消化管・呼吸器）、国立がん研究センターがん対策情報センター、がん予防・検診研究センター保健政策研究部、九州大学との共同研究である。また検査部にも協力をお願いし、内視鏡ファイリングシステムと病理データとの連携強化を目的とする。

富士フィルム、オリンパスなど各社のファイリングシステム担当者ならびに日本消化器内視鏡学会などと打ち合わせを行う。年に複数回の班会議を開催し、情報の共有を密に推進し、全体の研究計画に支障が起らないように努める。

院内がん登録との連携・システム基盤整備、早期消化管・呼吸器がんの診断・治療データベースの整備、内視鏡ファイリングシステムのデータ入力項目の見直し・がん取扱規約・関連学会との調整、内視鏡 Tissue Bank を構築するための人員確保・システム作りを行い、精度の高いがん登録の推進、院内がん登録・地域がん登録・全国がん登録との連携を目指す。

消化器早期がんは比較的予後の良いがんであるが、再発転移を来す患者や、異時性がんを発生する患者が含まれている。現時点では組織学的検討からもこれらの患者予測は困難であり、予後調査やコホート研究による high risk 症例の抽出や、検査間隔の設定などを将来的に推奨できるようにし、革新的な内視鏡診断・治療法の創出を目指す。

テーマ別研究法

①『Japan Polyp Study 登録患者における、全腫瘍性ポリープ摘除がもたらす大腸がん罹患率抑制効果解明のための多施設共同前向きコホート研究』

【方法】Japan Polyp Study (JPS) 登録開始後 4 年目の時点で、多施設共同前向きコホート研究の同意を取得（対象者：1,291 名の登録は完了済み）。全ての腫瘍性病変を切除（クリーンコロン化）後 6, 9, 12 年経過時点で Follow-up TCS を施行し、各 Follow-up TCS 検査でもクリーンコロン化する。各 Follow-up TCS における浸潤がん、Index lesion (IL ; 10 mm 以上の腺腫、高異型度腺腫、がん)、全腫瘍病変の詳細を記録する。観察対象集団に対する統計的な検討は、外部比較と内部比較に分けて実施する。また、「遺伝子多型を用いた大腸がんリスク予測に関する研究」については、AMED 研究（石川秀樹班）と共同で行い、プロトコール作成および研究倫理審査の完了後に検討を開始する。

②『早期大腸癌内視鏡治療データベース』

【対象】2cm 以上の早期がんの大腸 ESD 症例。試験参加について患者本人から文書で同意が得られている。

【方法】同意の得られた患者を登録し、入院の上、ESD による腫瘍切除を行う。治療後の病理診断の結果から治癒切除判定を行い、5 年間経過を観察する。主目的は全症例の 5 年生存割合。副次的目的は、根治切除症例の 5 年生存割合、根治切除症例の 5 年腸管温存割合、全症例の 5 年腸管温存割合、局所遺残・再発割合、病変一括切除割合、病理学的治癒切除割合、有害事象発生割合、症例登録割合である。20 施設から 2 年間で 2070 例の登録があった。追跡期間の 5 年間で 2020 年春に終了し、その後、データのクリーニングと集計を行い、順次成果を報告する予定である。なお、データ管理は有限会社 メディカル・リサーチ・サポートと契約している。

③『ウェブ上画像判定システムを用いた大腸 NBI 拡大観察分類法 (J-NET) 妥当性検討研究』

【デザイン】観察研究・探索的研究

【方法】複数医師を参加者とした静止画像読影試験を行う。種々の条件の病変（150 病変）について、詳細な内視鏡所見の有無、JNET 分類診断および推定組織診断を回答する。これにより、JNET 分類の大腸腫瘍性病変に対する質的・量的診断能を明らかにできるほか、診断に有用な副次的所見の検討についても検討できる。さらに、条件の異なる（熟練度や国籍の相違など）医師が参加することで、熟練度に応じた診断能の差異ならびに教育の必要性などについても検討する。さらに、複数回の試験を行うデザインにより、教育ツールとして作成した e-learning システムの有用性も検討し、JNET 分類の普及や教育啓蒙にも努める。

④『多施設共同呼吸器内視鏡レジストリ』

「呼吸器内視鏡に関する多施設共同データベースを用いた前向き観察研究」の課題名で、呼吸器内視鏡（気管支鏡および胸腔鏡）を用いた診断または治療毎に、調査項目ならびに評価方法を共通化したデータベースを構築済みである。初期参加 3 施設で共通データベースの運用（前向きに全例登録を目標にデータ入力）を開始しており、参加施設を順次増やす。また得られたデータから、診断および治療の実施状況や診断精度、治療成績、安全性、これらに影響する因子等について解析する。

⑤『内視鏡データベースと連携した全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアの検討』

【方法】国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターからライセンス料無償で提供されている Hos-CanR Next（院内がん登録システム）の後継システムである次世代院内がん登録システムに、内視鏡データベースとの連携が可能なデータ抽出機能を実装する。また、全国がん登録や各施設の自主的調査で得られる死亡情報の保持と更新を、次世代院内がん登録システムで行い、生存率等を算定する機能を実装する。

⑥『直視型超音波内視鏡を改良し内視鏡胃がん検診とともに脾臓を観察する観察法の開発研究』

現在富士フィルム社から発売されている直視型の超音波内視鏡専用機を応用し胃癌スクリーニングの際に脾臓も観察する観察方法を開発する。

⑦『胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究』

【デザイン】JED を用いた多施設前向きコホート研究

【方法】胃粘膜下腫瘍に対して診断・治療を積極的に行っている施設において治療例、経過観察例を JED

のシステムを用いて前向きに登録する。その上で上部消化管内視鏡検査において高頻度で遭遇する胃粘膜下腫瘍の実態調査の全国展開を目指す。

⑧『人工知能を用いた胃粘膜下腫瘍の EUS 画像診断法の開発』

【デザイン】多施設後ろ向き観察研究

【方法】胃粘膜下腫瘍に対して診断・治療を行っている施設において診断された症例の EUS 画像、EUS-FNAB の成功有無を後ろ向きに集積する。集積した EUS 画像をすでに構築した人工知能併用 EUS 画像診断システムで読影し診断精度の確認、EUS-FNAB と比較する。その結果をみて、倫理的側面に配慮した多施設前向き研究や診断機器・システムの開発を目指す。

研究成果と考察

全期間（研究終了時）

①『Japan Polyp Study 登録患者における、全腫瘍性ポリープ摘除がもたらす大腸がん罹患率抑制効果解明のための多施設共同前向きコホート研究』

大腸腫瘍性病変に対する内視鏡切除後の至適サーベイランス間隔を明らかにすることを主目的とした先行研究：Japan Polyp Study (JPS) のメイン論文が Gut 誌に受理された (Matsuda T, Fujii T, Sano Y, et al. Gut 2020; 70: 1469-78)。この論文では、2 度の大腸内視鏡検査実施により、high-risk 群（粘膜内癌、高異型度腺腫や 10 mm 以上の腺腫を有する群）においても内視鏡切除後の経過観察は早くとも 3 年で良いことを報告し、近年注目されている post-colonoscopy colorectal cancer (PCCRC) の原因病変として、LST-NG (Laterally spreading tumor, non-granular type：側方発育型腫瘍非顆粒型) がその主たる責任病変である可能性について言及した。

併せて、JPS コホート対象者に対する大腸内視鏡検査を全国 11 施設で継続しながら、内視鏡的大腸ポリープ切除による大腸癌罹患率減少効果に関する解析を行った。JPS コホート対象者 1,895 名のデータと historical control である大阪府がん登録データを照合し O/E 比を算出したところ、経過観察期間内 (mean follow-up period: 6.1 年) に発見された浸潤性大腸癌は 4 例 (全て男性) であり、overall の大腸癌罹患抑制効果は 86%

(O/E=0.14)、男性：82% (O/E=0.18)、女性：100% (O/E=0) であった。また、フォローアップ対象期間内に発見された advanced neoplasia (AN)：77 病変の臨床病理学的特徴についての検討を行ったところ、異時性 AN の 60%が non-polypoid lesion であり、その多くを LST-NG が占めた。現在、これらの結果について英文誌に投稿中である。また、大腸癌死亡リスクの減少効果を今後評価することを目指し、JPS コホート対象者へのがん罹患に関するアンケート調査を実施し、対象の 72%から回答を得た。

また、「遺伝子多型を用いた大腸がんリスク予測に関する研究」については、国立がん研究センターでの倫理審査にて承認が得られ、JPS コホート参加施設でのエントリーを開始した。

②『早期大腸癌内視鏡治療データベース』の研究

本研究に登録された 2074 病変のうち、最終的に ESD を施行された 1965 病変について良好な短期成績を報告した。また 13 年前に本研究グループから報告した多施設研究の結果と比較して一括切除率の向上や治療時間の短縮が認められ、日本における大腸 ESD 手技の均てん化・標準化が進んでいる現状が確認された。また本研究に登録された患者のうち、2cm 以上の上皮性腫瘍に対して ESD を施行された 1720 名を対象に、5 年間の長期成績を検討した。治癒切除とされた 1567 名には大腸がん死亡を認めず、5 年生存率も 94.2%であった。また 98.1%で手術を行うことなく腸管を温存できていた。また、局所再発を 0.5%で認めたが、追加の内視鏡治療で全例治癒が得られていた。一方で、異時性大腸がんを 1%で認めており、慎重な経過観察が必要と考えられた。大腸 ESD の良好な長期成績が示されたことにより、大型の大腸腫瘍に対する世界的な標準治療となることが期待される。

③『ウェブ上画像判定システムを用いた大腸 NBI 拡大観察分類法 (J-NET) 妥当性検討研究』

JNET 分類は診断妥当性・信頼性のいずれも臨床適用上問題のない分類であることが確認された。一方で、診断の一致が得られやすい診断カテゴリーと得られにくいものが存在することが明確になった。とくに、内視鏡治療方針を決定する上で重要な所見である type2B および type3 の診断については、他のカテゴリーと比較すると信頼性が低かった。ただし、NBI 拡大観察の日常臨床における位置づけや、gold standard であるクリスタルバイオレット染色による pit pattern 診断における薬剤による発癌リスクの問題から、NBI 拡大観察での臨床判断完結が標準となっている施設も多くみられるようになっている。よって、JNET 分類もそのような状況に合わせたアップデートが必要である。特に内視鏡治療・外科治療の棲み分けをより緻密におこなうための副次所見のありかたについて検証する必要がある。これについては、今回の検討で副次所見を加味した臨床判断には一定の意義があることが示唆されている。よって、今後は多施設での臨床実績を前向き観察研究としてデータを集積し、その診断性を明らかにしていくことで分類の改訂が可能となると考えている。

④『多施設共同呼吸器内視鏡レジストリ』

2019 年初頭より診断または治療毎に調査項目ならびに評価方法を共通化した「呼吸器内視鏡に関する多施設共同データベースを用いた前向き観察研究」(レジストリ研究)を主導し、症例データを蓄積してきた。まずは当院単施設でのデータを基に解析した結果で、3 本の論文が掲載された。多施設のデータを基に解析した結果については、手始めとして学会発表を行うに止まっているが、今後論文文化に繋がる解析を行っていく予定である。

⑤『内視鏡データベースと連携した全国がん登録および院内がん登録関連ソフトウェアの検討』

次世代院内がん登録システムの開発が進んでいないことから、3 年次に至るまで状況が進捗せず、内視鏡データベースへの生存確認情報の連携機能の要件定義を検討したが、いまだ登録データからのデータ連携について要件定義が確定できていない。今後仕様を確定していくなかで、院内がん登録から内視鏡データベースに円滑にできるような仕組みの構築が望まれる点はこの 3 年間変わりなく、生存確認情報の提供についても、連携方法についての検討を進めているが、全国がん登録情報の第 3 者への提供は強く制限されており、施設内での提供の内容についてはさらに検討を要する状況で進捗は見られてなかった。

⑥『直視型超音波内視鏡を用いた内視鏡胃がん検診とともに隣臓を観察する観察法の開発研究』

富士フィルム社製超音波内視鏡専用機 EG-580UR を用いて、その可能性を検討でき、構造上の問題も明らかにできた。その結果を持って富士フィルム社に内視鏡の改良をお願いしており、新型超音波内視鏡の仕様など薬事承認の一手前まで到達することができたが、世界的な半導体不足などの諸々の原因のため

⑦『胃粘膜下腫瘍の多施設コホート研究』

当初は過去の研究に用いたサーバーを再利用して自前のデータベースとして利用する予定であったが、かなり改修費用が必要であることがわかった。そのため日本消化器内視鏡学会の JED 担当と連携し抽出方法を検討していたが、日本消化器内視鏡学会の用語集に胃粘膜下腫瘍に関する用語がないことより、それも困難であることが分かった。そのためまずは用語集へ胃粘膜下腫瘍に関する用語の採用を用語委員会に提言し採用された。このことにより JED に採用される可能性が高くなり、今後、全国規模のコホート研究が可能になった。

⑧『人工知能を用いた胃粘膜下腫瘍の EUS 画像診断法の開発』

多施設から集積した画像を使用して人工知能に学習させることで、胃粘膜下腫瘍の EUS 画像を評価できる人工知能をもちいた診断システムを構築した。人工知能の学習方法によりその診断精度が異なるが正診率は約 80-90%を示しており十分に精度が高い人工知能の構築できていると考えられるが、標準的診断方法である超音波内視鏡下生検と比較した結果、超音波内視鏡下生検とはほぼ同等の精度で、統計学的な有意差をもって超えるほどの診断精度までは示さなかった。また本研究では胃以外に発生した粘膜下腫瘍に対する診断精度も評価検討したが、その診断精度も正診率 90%程度であり、非常に高いものであった。この結果から本人工知能は病変部そのものを評価している可能性が高く、信頼性は高いものと考えられた。

また診断精度が学習方法や画像のアノテーション方法により異なることから、さらなる検証の余地があるものと考えられた。また学習症例数を増加させることで診断精度が向上する傾向が本研究で確認された。通常胃粘膜下腫瘍において、超音波内視鏡下生検の診断精度は正診率が 20mm 以上の病変に対して約 85-95%程度と高いことから、人工知能の診断精度が統計学的な有意差を出すことは難しい可能性があるが、重要なことは臨床において重要である 20mm未満の病変に対する診断精度であり、既存の超音波内視鏡下生検での診断精度も 70%程度とそこまで高くないことから、今後の人工知能が行う学習方法の変更と症例数を増加させることで診断精度をさらに向上させられる見込みが高まった。今後さらなる研究を継続して行うことで臨床的に有用な機器となる可能性があると考えられた。

さらに興味深いことに、本研究期間において行った、超音波画像の撮像機器による差はほとんど見られなかった。精度の高い人工知能を一度構築できれば、さまざまな機種で応用可能であることを示唆しており、今後の発展性が高いものと考えられた。

倫理面への配慮

(1) 遵守すべき研究に関する指針等

再生医療等の安全性の確保等に関する法律

臨床研究法

医薬品の臨床試験の実施に関する基準 (GCP)

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

遺伝子治療臨床研究に関する指針

動物実験等の実施に関する基本指針

その他の指針等 (指針等の名称: _____)

(2) 本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無

有

無

本研究に関連する、本研究期間中の主な発表論文等

研究開始以前のもので特記すべきもの

研究代表者：吉永 繁高
(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Yoshinaga S, Itoi T, Yamao K, Yasuda I, Irisawa A, Imaoka H, Tsuchiya T, Doi S, Yamabe A, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y. Safety and efficacy of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for pancreatic masses: A prospective multicenter study. *Dig Endosc*. 2020 Jan;32(1):114-126. (29-A-13) 査読有

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Abe S, Oda I, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y. Insulated tip knife tunneling technique with clip line traction for safe endoscopic submucosal dissection of large circumferential esophageal cancer. *VideoGIE*. 2017 Sep 30;2(12):342-345. 査読有

2. Sekiguchi M, Oda I, Suzuki H, Abe S, Nonaka S, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Saito Y. Clinical outcomes and prognostic factors in gastric cancer patients aged ≥ 85 years undergoing endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc*. 2017;85:963-972. 査読有

3. Yamada M, Oda I, Tanaka H, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Kuchiba A, Koyanagi K, Igaki H, Taniguchi H, Sekine S, Saito Y, Tachimori Y. Tumor location is a risk factor for lymph node metastasis in superficial Barrett's adenocarcinoma. *Endosc Int Open*. 2017;5:E868-E874. 査読有

4. Suzuki H, Oda I, Abe S, Sekiguchi M, Nonaka S, Yoshinaga S, Saito Y, Fukagawa T, Katai H. Clinical outcomes of early gastric cancer patients after noncurative endoscopic submucosal dissection in a large consecutive patient series. *Gastric Cancer*. 2017;20:679-689. 査読有

5. Uedo N, Yoshio T, Yoshinaga S, Takeuchi M, Hatta W, Yano T, Tanuma T, Goto O, Takahashi A, Tong D, Lee YY, Nakayama Y, Ichihara S, Gotoda T. Endoscopic gastric mucosal atrophy distinguishes the characteristics of superficial esophagogastric junction adenocarcinoma. *Dig Endosc*. 2017;29 Suppl2:26-36. 査読有

6. Nakamura K, Nonaka S, Nakajima T, Yachida T, Abe S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Sekine S, Kanemitsu Y, Katai H, Saito Y, Hirota S. Clinical outcomes of gastric polyps and neoplasms in patients with familial adenomatous polyposis. *Endosc Int Open*. 2017; 5: E137-E145. 査読有

7. 野中 哲, 川口 洋佑, 小田 一郎, 中村 純, 佐藤 知子, 金城 譲, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 佐藤 哲文, 齋藤 豊. 早期胃癌および食道表在癌に対する ESD におけるプロポフォルを使用した麻酔科医により管理された非挿管下の静脈麻酔の安全性と有効性. *Gastroenterological Endoscopy* 59 巻 1 号 Page102-111, 2017. 査読有

8. 阿部 清一郎, 小田 一郎, 山田 真善, 市島 諒二, 中谷 行宏, 田川 徹平, 桑原 洋紀, 宮本 康雄, 居軒 和也, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 吉田 裕, 谷口 浩和, 関根 茂樹, 齋藤 豊. 【表在型食道胃接合部癌の治療戦略】 表在型食道胃接合部癌の治療戦略 内視鏡治療の立場から. *胃と腸* 52 巻 3 号 Page339-346, 2017.

9. 野中 哲(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科), 小田 一郎, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 齋藤 豊. 【ESD 手技の標準化に向けて】 安全な ESD のコツと偶発症の対処 *胃 ESD IT ナイフを用いた手技の工夫*. *臨床消化器内科* 32 巻 4 号 Page409-416, 2017.

10. 高丸 博之, 吉永 繁高, 小田 一郎. 【がん診療-内科医が知りたい 30 のエッセンス】 内科医が知りたい主ながん種の知識 診断から治療まで *消化器がん 早期胃がんの診断・治療について教えてください*. *Medicina* 54 巻 8 号 Page1208-1212, 2017.

11. 小田 一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高. 【消化管癌 ESD の最前線】 早期胃癌 ESD の最前線. *日本消化器病学会雑誌* 114 巻 6 号 Page983-988, 2017. 査読有

12. 小田 一郎, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高. 【消化器内視鏡-私の流儀】 胃 ESD 基本の繰り返しエキスパートへの近道. *消化器内視鏡* 29 巻 6 号 Page1010-1011, 2017.

13. Hijioka S, Arai Y, Sone M, Yoshinaga S, Chan J, Sakamoto Y, Okusaka T, Saito Y. Novel forward-viewing EUS-guided ileoureterostomy technique for recurrent pyelonephritis caused by ureteral stenosis. *VideoGIE*. 2018 Jul 14;3(9):281-283. 査読有

14. Yamada K, Shida D, Kato T, Yoshida H, Yoshinaga S, Kanemitsu Y. Adenocarcinoma arising in sigmoid colon neovagina 53 years after construction. *World J Surg Oncol*. 2018 Apr 27;16(1):88. 査読有

15. Morita S, Arai Y, Sugawara S, Sone M, Sakamoto Y, Okusaka T, Yoshinaga S, Saito Y, Terai S. Antireflux Metal Stent for Initial Treatment of Malignant Distal Biliary Obstruction. *Gastroenterol Res*

Pract. 2018 Jan 31;2018:3805173. 査読有

16. Inoki K, Nakajima T, Nonaka S, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Yamada M, Takatsu M, Yoshida H, Taniguchi H, Sekine S, Ohe Y, Saito Y. Feasibility of endoscopic resection using bipolar snare for nonampullary duodenal tumours in familial adenomatous polyposis patients. Fam Cancer. 2018 Oct;17(4):517-524. 査読有

17. Abe S, Oda I, Minagawa T, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Bhatt A, Saito Y. Metachronous Gastric Cancer Following Curative Endoscopic Resection of Early Gastric Cancer. Clin Endosc. 2018 May;51(3):253-259. 査読有

18. 瀧澤 初, 吉永 繁高. 【上部消化管疾患 ピロリ菌陰性時代への過渡期をむかえて】 セミナー 日常診療に必要な具体的知識とその活用 消化管粘膜下腫瘍の診療アルゴリズム. Medical Practice 35 巻 1 号 Page101-106, 2018.

19. 吉永 繁高, 小田 一郎, 鈴木 晴久, 野中 哲, 阿部 清一郎, 斎藤 豊. 【食道表在癌の診断と内視鏡治療】 内視鏡治療後の異時性多発・重複癌の診断. 消化器内視鏡 30 巻 2 号 Page265-271, 2018.

20. 高丸 博之, 斎藤 豊, 居軒 和也, 張 萌琳, 山田 真善, 坂本 琢, 松本 美野里, 吉永 繁高, 角川 康夫, 松田 尚久. 【大腸内視鏡挿入法を極める-機器の進化と手技の進歩】 大腸内視鏡医のトレーニング・教育法 See one、Do one、Teach one. 消化器内視鏡 30 巻 3 号 Page403-407, 2018.

21. 阿部 清一郎, 小田 一郎, 居軒 和也, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. 【ここまできた胃・十二指腸 ESD-現状と今後の展望】 胃上皮性腫瘍に対する低侵襲治療 胃 ESD 治療困難例に対するさまざまな手技の工夫. 消化器内視鏡 30 巻 4 号 Page455-462, 2018.

22. 関口 正宇, 小田 一郎, 森田 信司, 谷口 浩和, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 由良 昌大, 大槻 将, 関根 茂樹, 滝沢 耕平, 小野 裕之, 片井 均. 【早期胃癌 2018】 早期胃癌の治療と予後 高齢早期胃癌患者に対する治療の現状と今後の展望. 胃と腸 53 巻 5 号 Page720-725, 2018.

23. 吉永 繁高, 三宅 基隆. 【消化管粘膜下腫瘍(SMT)の診療】 消化管粘膜下腫瘍の画像診断 通常内視鏡,EUS,CT,MRI. 臨床消化器内科 33 巻 12 号 Page1469-1478, 2018.

24. 阿部 清一郎, 小田 一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. ESD 手技の工夫 胃 ESD 後粘膜欠損の留置スネアとクリップによる縫縮術. 臨床消化器内科 33 巻 12 号 Page1569-1572, 2018.

25. 西田 俊朗, 吉永 繁高. 【早わかり内視鏡関連ガイドライン 2018】 消化器全般におよぶもの GIST 診療ガイドライン. 消化器内視鏡 30 巻 9 号 Page1265-1271, 2018.

26. 野中 哲, 小田 一郎, 谷口 浩和, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. 【知っておきたい十二指腸病変】 十二指腸非乳頭部隆起性病変 神経内分泌腫瘍(NET/NEC). 胃と腸 53 巻 12 号 Page1579-1586, 2018.

27. Yachida T, Oda I, Abe S, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Masugata H, Masaki T, Daiko H, Saito Y. Risk of Lymph Node Metastasis in Patients with the Superficial Spreading Type of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Digestion. 2020; 101(3): 239-244. 査読有

28. Kuwabara H, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Clinical feasibility of endoscopic submucosal dissection with minimum lateral margin of superficial esophageal squamous cell carcinoma. Endosc Int Open. 2019 Apr;7(4):E396-E402. 査読有

29. Kobayashi S, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Igarashi Y, Saito Y. A case of mixed-type early gastric cancer with recurrence following curative endoscopic submucosal dissection for expanded indication. Endosc Int Open. 2019 Jun;7(6):E841-E845. 査読有

30. Kadota T, Abe S, Yoda Y, Yoshinaga S, Oda I, Kojima T, Kato K, Daiko H, Yano T. Clinical outcomes according to the modified endoscopic criteria for neoadjuvant chemotherapy in resectable esophageal squamous cell carcinoma. Dig Endosc. 2020; 32(3): 337-345. 査読有

31. 阿部 清一郎, 斎藤 豊, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎. 【胃癌診療アップデート】 内視鏡診断. 消化器外科 42 巻 2 号 Page135-143, 2019.

32. 鶴木 絵里子, 近藤 崇, 蓑田 洋介, 小林 俊介, 紺田 健一, 中谷 行宏, 阿部 清一郎, 坂本 琢, 野中 哲, 吉永 繁高, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 斎藤 豊. いわゆる"まだら食道"を予測する内視鏡所見 通常白色光および非拡大狭帯域光観察での検討 Gastroenterol Endosc 61 巻 2 号 Page141-148, 2019. 査読有

33. 吉永 繁高. 【消化管疾患の分類 2019-使い方,使われ方】 咽頭・食道 感染性食道炎 カンジダ食道炎の重症度分類(Kodsi 分類). 胃と腸 54 巻 5 号 Page610-611, 2019

34. 水口 康彦, 坂本 琢, 関口 正宇, 高丸 博之, 山田 真善, 吉永 繁高, 塚本 俊輔, 岩佐 悟, 橋本 大輝, 吉

田 裕, 谷口 浩和, 関根 茂樹, 松田 尚久, 斎藤 豊. 【隆起型早期大腸癌の病態と診断】 壁外非連続性癌進展を伴い致死的転帰に至った早期大腸癌の1例. 胃と腸 54 巻 6 号 Page921-926, 2019.

35. 八尾 建史, 上堂 文也, 鎌田 智有, 平澤 俊明, 長浜 孝, 吉永 繁高, 岡 政志, 井上 和彦, 間部 克裕, 八尾 隆史, 吉田 雅博, 宮代 勲, 藤本 一眞, 田尻 久雄, 中山 健夫, 菊地 正悟, 日本消化器内視鏡学会早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン委員会, 日本胃癌学会, 日本消化器がん検診学会, 日本消化器病学会, 日本消化管学会, 日本ヘリコバクター学会, 日本病理学会, 日本人間ドック学会. 早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン. Gastroenterol Endosc 61 巻 6 号 Page1283-1319, 2019. 査読有

36. 野中 哲, 小田 一郎, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. 手技の解説 胃 ESD における IT ナイフによる近位側アプローチ法. Gastroenterol Endosc 61 巻 7 号 Page1435-1445, 2019. 査読有

37. 野中 哲, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎. 【表在性十二指腸腫瘍の新展開】 十二指腸におけるバイポーラ切除のメリット. 消化器内視鏡 31 巻 7 号 Page1052-1054, 2019.

38. 田中 優作, 吉永 繁高, 水口 康彦, 関口 正宇, 高丸 博之, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 谷口 浩和, 関根 茂樹, 小田 一郎, 斎藤 豊. 【知っておきたい特殊な食道腫瘍・腫瘍様病変】 食道癌肉腫. 胃と腸 54 巻 10 号 Page1460-1462, 2019.

39. 山崎 嵩之, 関口 正宇, 岡村 卓真, 高丸 博之, 山田 真善, 阿部 清一郎, 坂本 琢, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎, 松田 尚久, 関根 茂樹, 斎藤 豊. 【消化器神経内分泌腫瘍を極める】 消化管神経内分泌腫瘍の内視鏡診断と治療. 消化器外科 42 巻 11 号 Page1563-1571, 2019.

(研究開始前学会発表)

1. 第 95 回日本消化器内視鏡学会総会 (2018 年 5 月 10 日~12 日)

吉永繁高. ガイドライン報告公聴会 早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン

2. 第 91 回日本胃癌学会総会 (2019 年 2 月 27 日~3 月 1 日)

SY1 EGJ tumor update: Topics from epidemiology and diagnosis (シンポジウム)

Shigetaka Yoshinaga, Ichiro Oda, Masayoshi Yamada, Seiichiro Abe, Satoru Nonaka, Haruhisa Suzuki, Yutaka Saito, Hiroyuki Daiko, Hitoshi Katai. Endoscopic prediction of deep submucosal invasion of adenocarcinomas on esophagogastric junction

3. Shigetaka Yoshinaga, Ichiro Oda, Daisuke Hihara, Masakazu Koga, Takahiko Ito, Hourin Cho, Masayoshi Yamada, Seiichiro Abe, Satoru Nonaka, Haruhisa Suzuki, Yutaka Saito, Kengo Furutani, Hiroyuki Daiko, Hitoshi Katai, Hirokazu Taniguchi, Shigeki Sekine "Effectiveness of the Algorithm of Depth Diagnosis for Superficial Barrett's Adenocarcinoma", 2019/04, ESGE days 2019, Prague, (ePoster)

4. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会 (2019 年 5 月 31 日~6 月 2 日)

吉永繁高. ガイドライン報告 早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン

(研究開始前書籍)

1. 吉永繁高. 総論 ③スコープ別の準備・適応・基本走査 細径プローブ. 消化管 EUS パーフェクトガイド、34-38、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

2. 吉永繁高、高丸博之、瀧澤初. 総論 ⑤臓器別の解剖と基本走査 食道. 消化管 EUS パーフェクトガイド、51-54、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

3. 吉永繁高. 各論 ①粘膜下腫瘍 粘膜下腫瘍の診断. 消化管 EUS パーフェクトガイド、70-74、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

4. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 GIST : very low risk. 消化管 EUS パーフェクトガイド、70-74、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

5. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 GIST : 胃 very low risk. 消化管 EUS パーフェクトガイド、81、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

6. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 GIST : 十二指腸. 消化管 EUS パーフェクトガイド、87、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

7. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 GIST : 直腸 high risk. 消化管 EUS パーフェクトガイド、88、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

8. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 神経鞘腫 : 胃①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、89、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

9. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 脂肪腫 : 食道. 消化管 EUS パーフェクトガイド、93、日本医事新報社、東京、2017 年 10 月

10. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 脂肪腫：胃①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、94、日本医事新報社、東京、2017年10月
11. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 異所性腭：胃①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、96、日本医事新報社、東京、2017年10月
12. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 悪性リンパ腫：胃. 消化管 EUS パーフェクトガイド、101、日本医事新報社、東京、2017年10月
13. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 悪性リンパ腫：胃 MALT リンパ腫②. 消化管 EUS パーフェクトガイド、103、日本医事新報社、東京、2017年10月
14. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 悪性リンパ腫：十二指腸濾胞性リンパ腫. 消化管 EUS パーフェクトガイド、105、日本医事新報社、東京、2017年10月
15. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 リンパ管腫：十二指腸①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、109、日本医事新報社、東京、2017年10月
16. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 リンパ管腫：十二指腸②. 消化管 EUS パーフェクトガイド、110、日本医事新報社、東京、2017年10月
17. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 NET (カルチノイド)：直腸①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、117、日本医事新報社、東京、2017年10月
18. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 顆粒細胞腫：胃. 消化管 EUS パーフェクトガイド、120、日本医事新報社、東京、2017年10月
19. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 炎症性腫瘤：胃①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、121、日本医事新報社、東京、2017年10月
20. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 アニサキス：胃. 消化管 EUS パーフェクトガイド、123、日本医事新報社、東京、2017年10月
21. 吉永繁高. 各論 ②症例 粘膜下腫瘍 粘膜脱症候群 (MPS)：直腸. 消化管 EUS パーフェクトガイド、127、日本医事新報社、東京、2017年10月
22. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 食道癌：T1a-EP(M1). 消化管 EUS パーフェクトガイド、136、日本医事新報社、東京、2017年10月
23. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 食道癌：T1a-MM(M3). 消化管 EUS パーフェクトガイド、139、日本医事新報社、東京、2017年10月
24. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 食道癌：T1b-SM2①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、143、日本医事新報社、東京、2017年10月
25. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 食道癌：T1b-SM2②. 消化管 EUS パーフェクトガイド、144、日本医事新報社、東京、2017年10月
26. 吉永繁高. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 食道癌：CRT 後再発①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、147、日本医事新報社、東京、2017年10月
27. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1a(M)①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、149、日本医事新報社、東京、2017年10月
28. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1a(M)④. 消化管 EUS パーフェクトガイド、152、日本医事新報社、東京、2017年10月
29. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1a(M)⑤. 消化管 EUS パーフェクトガイド、153、日本医事新報社、東京、2017年10月
30. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1b2(SM2)①. 消化管 EUS パーフェクトガイド、158、日本医事新報社、東京、2017年10月
31. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1b2(SM2)②. 消化管 EUS パーフェクトガイド、159、日本医事新報社、東京、2017年10月
32. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1b2(SM2)③. 消化管 EUS パーフェクトガイド、160、日本医事新報社、東京、2017年10月
33. 吉永繁高. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：T1b2(SM2)④. 消化管 EUS パーフェクトガイド、161、日本医事新報社、東京、2017年10月
34. 吉永繁高、張萌琳、谷口浩和. 各論 ④症例 上皮性腫瘍 胃癌：Type4. 消化管 EUS パーフェクトガイド、162、日本医事新報社、東京、2017年10月
35. 吉永繁高. 各論 ⑥症例 静脈瘤・その他 壁外性圧排：脾動脈. 消化管 EUS パーフェクトガイド、173、日本医事新報社、東京、2017年10月

36. 吉永繁高. 各論 ⑥症例 静脈瘤・その他 壁外性圧排：脾臓. 消化管 EUS パーフェクトガイド、175、日本医事新報社、東京、2017年10月
37. 吉永繁高. 各論 ⑥症例 静脈瘤・その他 リンパ節腫脹：縦隔リンパ節②. 消化管 EUS パーフェクトガイド、188、日本医事新報社、東京、2017年10月
38. 吉永繁高. 各論 ⑥症例 静脈瘤・その他 リンパ節腫脹：腹腔内リンパ節. 消化管 EUS パーフェクトガイド、189、日本医事新報社、東京、2017年10月
39. 吉永繁高、小田一郎. III. 疾患別内視鏡像 [咽頭・食道] 食道癌（食道癌取扱い規約）. 内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像、342-352、日本メディカルセンター、東京、2018年3月
40. 吉永繁高. Q070 超音波内視鏡は消化管粘膜下腫瘍の診断に有用か？ 消化器内視鏡医のための重要論文200編 消化管腫瘍編、94、CBR、東京、2018年7月
41. 吉永繁高. Q071 EUS-FNA は胃粘膜下腫瘍の診断に有用か？ 消化器内視鏡医のための重要論文200編 消化管腫瘍編、95、CBR、東京、2018年7月
42. 吉永繁高、小田一郎. 4. 内視鏡分類の基礎知識 b)胃. 消化器内視鏡の登竜門、37-40、南江堂、東京、2018年11月
43. 吉永繁高. 今日の EUS は画像が悪いなあ～(T_T) そんなときはここをチェック!! 私消化器内視鏡 Tips、37、医学書院、東京、2018年11月
44. 吉永繁高. 私の心に残った三つの言葉. 私の消化器内視鏡 Tips、128、医学書院、東京、2018年11月
45. 宮本康雄、吉永繁高. I. 隆起を呈する病変 食道壁外性圧排. 食道病変内視鏡アトラス、92-93、東京医学社、東京、2018年11月
46. 吉永繁高、関口正宇、谷口浩和. I. 隆起を呈する病変 食道悪性リンパ腫. 食道病変内視鏡アトラス、126-127、東京医学社、東京、2018年11月
47. 田中寛人、鈴木晴久、吉永繁高. IV. 狭窄をきたす病変 食道壁外性圧排（悪性胸膜中皮腫による）. 食道病変内視鏡アトラス、254-255、東京医学社、東京、2018年11月
48. 宮本康雄、吉永繁高. IV. 狭窄をきたす病変 食道壁外性圧排（肺癌リンパ節転移による）. 食道病変内視鏡アトラス、256-257、東京医学社、東京、2018年11月
49. 吉永繁高. 内視鏡検診で食道粘膜下腫瘍を指摘された高齢者には治療が必要か？ どうする!? 高齢者の内視鏡診療、62-63、文光堂、東京、2019年5月

(研究開始前知的財産権)

なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

1. 早期胃癌診断のための内視鏡ガイドライン委員会作成委員 (日本消化器内視鏡学会 2016年～)
2. 食道 EMR/ESD ガイドライン委員会作成委員 (日本消化器内視鏡学会 2019年～)

(研究開始前その他)

特になし

研究分担者 斎藤 豊

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの(全件査読あり)

1. Kagemoto K, Saito Y, Mizuguchi Y, Sakamoto T, Taniguchi H, Sekine S, Takayama T: Optical biopsy in real time by endocytoscopy: a case of juvenile polyp. Endoscopy. 2020 Apr;52(4): E142-E143 (29-A-13)
2. Kasuga K, Saito Y, Wu SYS, Takamaru H, Sakamoto T, Sekine S, Uraoka T: Impact of endoscopic submucosal dissection of an anal squamous intraepithelial lesion with indistinct border. Endoscopy. 2020 Feb;52(2):E75-E77. (29-A-13)
3. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Nakamura K, Matsumoto M, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T: Feasibility of observational screening colonoscopy followed by deferred polypectomy. J Gastroenterol Hepatol. 2020 Feb;35(2):263-270. (30-A-16)
4. Yoshinaga S, Itoi T, Yamao K, Yasuda I, Irisawa A, Imaoka H, Tsuchiya T, Doi S, Yamabe A,

- Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y: Safety and efficacy of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for pancreatic masses: A prospective multicenter study. *Dig Endosc.* 2020 Jan;32(1):114-126. (25-A-12)
5. Abe S, Oda I, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y: A challenging case of gastric endoscopic submucosal dissection: removal of a sizable cancer through altering patient's position and multiple clip-line traction. *VideoGIE.* 2019 Sep 14;4(12):558-560. (29-A-13)
 6. Kobayashi S, Yamada M, Takamaru H, Sakamoto T, Matsuda T, Sekine S, Igarashi Y, Saito Y: Diagnostic yield of the Japan NBI Expert Team (JNET) classification for endoscopic diagnosis of superficial colorectal neoplasms in a large-scale clinical practice database. *United European Gastroenterol J.* 2019 Aug;7(7):914-923. (29-A-13)
 7. Saito Y, Sylvia Wu SY, Ego M, Abe S: Colorectal endoscopic submucosal dissection with use of a bipolar and insulated tip knife. *VideoGIE.* 2019 Jun 27;4(7):314-318. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13)
 8. Kuwabara H, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y: *Endosc Int Open.* 2019 Apr;7(4): E396-E402. (25-A-12, 28-A-K-1 and 29-A-1213)
 9. Yachida S, Mizutani S, Shiroma H, Shiba S, Nakajima T, Sakamoto T, Watanabe H, Masuda K, Nishimoto Y, Kubo M, Hosoda F, Rokutan H, Matsumoto M, Takamaru H, Yamada M, Matsuda T, Iwasaki M, Yamaji T, Yachida T, Soga T, Kurokawa K, Toyoda A, Ogura Y, Hayashi T, Hatakeyama M, Nakagama H, Saito Y, Fukuda S, Shibata T, Yamada T: Metagenomic and metabolomic analyses reveal distinct stage-specific phenotypes of the gut microbiota in colorectal cancer. *Nat Med.* 2019 Jun;25(6):968-976. (25-A-4, 28-A-4 and 29-A-6)
 10. Abe S, Oda I, Minagawa T, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Bhatt A, Saito Y: Metachronous Gastric Cancer Following Curative Endoscopic Resection of Early Gastric Cancer. *Clin Endosc.* 2018 May;51(3):253-259. (25-A-12 and 28-K-1)
 11. 齋藤豊、坂本琢、高松博之、松田尚久、田中信治、田尻久雄、齋藤彰一、和田祥城、池松弘朗、岡志郎、佐野寧、村上義孝、石川秀樹：主題研究 NBI/JNET 分類に関する JGES/ESGE 国際共同研究、胃と腸、2019：54（1）：99-103（29-A-13）
 12. Sakamoto T, Nakajima T, Matsuda T, Murakami Y, Ishikawa H, Yao K, Saito Y: Comparison of the diagnostic performance between magnifying chromoendoscopy and magnifying narrow-band imaging for superficial colorectal neoplasms: an online survey. *Gastrointest Endosc.* 2018 May;87(5): 1318-1323 (23-A-19)
 13. Sano Y, Hirata D, Saito Y: Japan NBI Expert Team classification: Narrow-band imaging magnifying endoscopic classification of colorectal tumors. *Dig Endosc.* 2018 Jul;30(4):543-545. (NCC Research and Development Fund, Yutaka Saito Group)
 14. Iwatate M, Sano Y, Tanaka S, Kudo SE, Saito S, Matsuda T, Wada Y, Fujii T, Ikematsu H, Uraoka T, Kobayashi N, Nakamura H, Hotta K, Horimatsu T, Sakamoto N, Fu KI, Tsuruta O, Kawano H, Kashida H, Takeuchi Y, Machida H, Kusaka T, Yoshida N, Hirata I, Terai T, Yamano HO, Nakajima T, Sakamoto T, Yamaguchi Y, Tamai N, Nakano N, Hayashi N, Oka S, Ishikawa H, Murakami Y, Yoshida S, Saito Y: Japan NBI Expert Team (JNET). Validation study for development of the Japan NBI Expert Team classification of colorectal lesions. *Dig Endosc.* 2018 Sep;30(5):642-651. (NCC Research and Development Fund, Yutaka Saito Group)
 15. Kodashima S, Tanaka K, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H: First progress report on the Japan Endoscopy Database project. *Dig Endosc.* 2018 Jan;30(1):20-28. (25-A-12 and 28-K-1)
 16. Saito Y, Bhatt A, Matsuda T: Colorectal endoscopic submucosal dissection and its journey to the West. *Gastrointest Endosc.* 2017 Jul;86(1):90-92. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13)
 17. Saito Y, Sumiyama K, Chiu PW: Robot assisted tumor resection devices. *Expert Rev Med Devices.* 2017 Aug;14(8):657-662. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13)
 18. Nakamura F, Saito Y, Haruyama S, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Nakajima T, Yamamoto S, Murakami Y, Ishikawa H, Matsuda T: Short-term Prospective Questionnaire Study of Early Postoperative Quality of Life After Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. *Dig Dis Sci.* 2017

Dec;62(12):3325-3335. (23-A-19 and 25-A-12)

19. Abe S, Oda I, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y: Insulated tip knife tunneling technique with clip line traction for safe endoscopic submucosal dissection of large circumferential esophageal cancer. VIDEOGIE. 2017;2(12):342-345. (25-A-12 and 28-K-1)
- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの(全件査読あり)
20. Tanaka S, Kashida H, Saito Y, Yahagi N, Yamano H, Saito S, Hisabe T, Yao T, Watanabe M, Yoshida M, Saitoh Y, Tsuruta O, Sugihara KI, Igarashi M, Toyonaga T, Ajioka Y, Kusunoki M, Koike K, Fujimoto K, Tajiri H: Japan Gastroenterological Endoscopy Society guidelines for colorectal endoscopic submucosal dissection/endoscopic mucosal resection. Dig Endosc. 2020 Jan;32(2):219-239.
21. Hashiguchi Y, Muro K, Saito Y, Ito Y, Ajioka Y, Hamaguchi T, Hasegawa K, Hotta K, Ishida H, Ishiguro M, Ishihara S, Kanemitsu Y, Kinugasa Y, Murofushi K, Nakajima TE, Oka S, Tanaka T, Taniguchi H, Tsuji A, Uehara K, Ueno H, Yamazaki T, Yamazaki K, Yoshida M, Yoshino T, Itabashi M, Sakamaki K, Sano K, Shimada Y, Tanaka S, Uetake H, Yamaguchi S, Yamaguchi N, Kobayashi H, Matsuda K, Kotake K, Sugihara K; Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum: Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2019 for the treatment of colorectal cancer. Int J Clin Oncol. 2020 Jan;25(1):1-42.
22. Inoki K, Kakugawa Y, Takamaru H, Sekiguchi M, Matsumoto M, Matsuda T, Ito A, Tanaka T, Inamoto Y, Fuji S, Kurosawa S, Kim SW, Fukuda T, Ohe Y, Saito Y: Capsule Endoscopy after Hematopoietic Stem Cell Transplantation Can Predict Transplant-Related Mortality. Digestion. 2020;101(2):198-207. (2020年3月発行)
23. Sekine S, Yamashita S, Yamada M, Hashimoto T, Ogawa R, Yoshida H, Taniguchi H, Kojima M, Ushijima T, Saito Y: Clinicopathological and molecular correlations in traditional serrated adenoma. J Gastroenterol. 2020 Apr;55(4):418-427.
24. 斎藤豊 (1番目) 他 (全17名): 潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する内視鏡治療 私はこう考える、胃と腸、2020年2月、55(2); 172-176.
25. 上野秀樹、味岡洋一、池 秀之、斎藤 豊 (16番目)、他全29名 (大腸癌研究会大腸癌取り扱い規約改訂委員会): State of the art 大腸癌取り扱い規約 第9版 [大腸癌取り扱い規約 — 次期改訂に向けて]、大腸がん perspective, 2020;4(4): (315)55-(321)61.
26. 江郷菜衣、斎藤豊: 大腸の画像強調内視鏡診断法、消化器内視鏡、2020 (4月): 32 (4): 604-610.
27. Saito Y, Nonaka S: ESD as first-intent resection method: also for the duodenum? Endosc Int Open. 2019 Dec;7(12): E1761-E1762.
28. Kobayashi K, Tanaka S, Murakami Y, Ishikawa H, Sada M, Oka S, Saito Y, Iishi H, Kudo SE, Ikematsu H, Igarashi M, Saitoh Y, Inoue Y, Hisabe T, Tsuruta O, Sano Y, Yamano H, Shimizu S, Yahagi N, Matsuda K, Nakamura H, Fujii T, Sugihara K; Colorectal Endoscopic Resection Standardization Implementation Working Group of the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum: Predictors of invasive cancer of large laterally spreading colorectal tumors: A multicenter study in Japan. JGH Open. 2019 Jul 16;4(1):83-89.
29. 斎藤豊 (1番目) 他 (全3名): 大腸癌治療ガイドライン2019 内視鏡領域の主な改訂ポイント ESDの適応とSM癌のフォローアップ、臨床外科、2019年8月、74(8); 948-950.
30. 田中信治、樫田博史、斎藤豊 (3番目)、他 (全20名): 大腸ESD/EMRガイドライン (第2版)、Gastroenterological Endoscopy, 2019年6月、61(6); 1323-1344.
31. 斎藤豊 (1番目) 他 (全10名): 日本消化器内視鏡学会におけるAIの推進の対する取り組み、消化器内視鏡、2019年、31(10); 1578-1581.
32. 斎藤豊 (1番目) 他 (全6名): ESGEの大腸ポリペクトミー・EMRのガイドラインの紹介—特にESDに対する日欧のスタンスの違い—、消化器内視鏡、2019年、31(10); 1571-1573.
33. Watanabe T, Muro K, Ajioka Y, Hashiguchi Y, Ito Y, Saito Y, Hamaguchi T, Ishida H, Ishiguro M, Ishihara S, Kanemitsu Y, Kawano H, Kinugasa Y, Kokudo N, Murofushi K, Nakajima T, Oka S, Sakai Y, Tsuji A, Uehara K, Ueno H, Yamazaki K, Yoshida M, Yoshino T, Boku N, Fujimori T, Itabashi M, Koinuma N, Morita T, Nishimura G, Sakata Y, Shimada Y, Takahashi K, Tanaka S, Tsuruta O, Yamaguchi T, Yamaguchi N, Tanaka T, Kotake K, Sugihara K; Japanese Society for

Cancer of the Colon and Rectum: Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2016 for the treatment of colorectal cancer. *Int J Clin Oncol.* 2018 Feb;23(1):1-34.

34. 齋藤豊 (1 番目) 他 (全 3 名) : 大腸内視鏡検診とサーベイランスガイドライン、消化器内視鏡、2018 年、30(9); 1232-1234.
35. 齋藤豊: 早期大腸癌 内視鏡診断の最前線、*The GI Forefront*、2018 年、13(2); 65(137)-69(141).
36. 齋藤豊 (1 番目) 他 (全 16 名) : cold polypectomy の意義と課題 私はこう考えるー賛成の立場から、胃と腸、2017 年、52(12); 1594-1597.

(研究開始前学会発表)

2020 年 1~4 月開催の学会発表

1. Saito Y: 1) Managing immediate perforation: Japanese perspective. 2) Intra-procedural bleeds: Japanese perspective to avoidance and management. 3) Management of Gastric Intestinal Metaplasia and Gastric Neoplasia in 2020. 4) State of the art update lecture: Colorectal ESD. 5) Live cases. 1) ~3) Lectures and Panels at Mini symposia. 4) Lecture. 5) Live demonstrations. Oral Presentations. Portsmouth Advanced Endoscopy Symposium 2020, January 15-16, 2020, University of Portsmouth, Portsmouth, UK.
2. Saito Y: 1) Live demonstration of ESD/EMR. 2) Risk and complications of EMR/ESD. 1) Live demos. 2) Lecture. Oral Presentations. III Endoscopy Meeting of SAMS Hospital, February 14, 2020, Main Auditorium of Nova IMS Lisbon, Lisbon, Portugal.
3. Saito Y: 1) Colonoscopy of the future. 2) Endoscopic resections: ESD. 3) Debate: Hybrid ESD vs. ESD for flat colorectal lesions. 4) Japanese way of endoscopic lower GI screening. 5) High Quality (High-Q) Course on Upper GI Endoscopy. 6) Current status of ESD in the world. 1) ~4) Lectures. 5) ~6) Chairs. Oral Presentations. ENDO 2020 - 2nd World Congress of GI Endoscopy & 24th Pan American Congress of Digestive Endoscopy, March 7-10, 2020, Windsor Oceanico Hotel, Rio de Janeiro, Brazil.
4. Saito Y: 1) Advances in Imaging and Endoscopic Techniques. 2) CAD-EYE: Will Future Endoscopy Practice be changed by AI? 1) Chair. 2) Lecture. Oral Presentations. 1) Fujifilm Symposium, ENDO 2020, 2) Fujifilm AI NITE, 2nd World Congress of GI Endoscopy (ENDO 2020), March 8, 2020, 1) Windsor Convention Center, 2) LSH Hotel, Rio de Janeiro, Brazil.
5. 齋藤豊 : 大腸腫瘍の内視鏡診断の現況、講演、第 39 回日本消化器内視鏡学会関セミナー、2020/1/19、埼玉会館、さいたま市

過去 3 年間 (2017~2019 年 12 月開催) の主な発表を各 5 件記載

6. Saito Y: 1) Lower GI: ESD vs EMR. Lecture at Postgraduate course Upper and Lower GI: Lower GI: ESD vs EMR. 2) Live demonstrations. Live endoscopy, Transmission from the hospital. 3) Colonic ESD. Lecture at Asia meets Europe: Innovative therapeutic endoscopy (A-PSDE-ESGE joint session). 4) IEE-JNET. Lecture at Asia meets Europe: Advanced endoscopic imaging (JGES-ESGE joint session). Oral Presentations. ESGE Days 2019. 4th~6th April, 2019, Prague Congress Centre, Prague, Czech.
7. Saito Y: 1) Endoscopic Diagnosis and Treatment for Early Colorectal Neoplasia; Difference and Future Perspective in Japan and USA. Lecture at Clinical Symposium, ASGE/JGES International Symposium. 2) Bridging the Gap between East and West. Lecture at Clinical Symposium, ESD. 3) ESD Hands-on. Oral Presentations. DDW 2019. 18th~21st May, 2019, San Diego Convention Center, San Diego, USA.
8. Saito Y: 1) Endoscopic Techniques for Identifying and Managing Serrated Polyps. Lecture at Symposium 13: Serrated Polyps: What's New in 2019? 2) Endoscopic Resection in Colon: When is EMR/ESD Sufficient? Lecture at Symposium 14: EMR/ESD. Oral Presentations. World Congress of Gastroenterology. 23rd September, 2019, Istanbul Congress Center, Istanbul, Turkey
9. Saito Y: 1) IEE-JNET. Lecture at Symposium Upper GI, European-Japanese perspectives: Leading-edge trend for endoscopic diagnosis. 2) Endoscopic classification: Who cares? Lecture at Symposium Lower GI, Hotspot Symposium: Large polyps. 3) Defining and assessing a difficult polyp: Endoscopic view. Lecture at Symposium Lower GI, How to approach the difficult polyp in the rectum? 4)

- Advance endoscopy: Is special training required even for Japanese? Lecture at Upper GI, East meets West. 5) Where and how to biopsy? Lecture at Symposium Upper GI, Hotspot Symposium: Tips and tricks on endoscopic biopsies. Oral Presentations. United European Gastroenterology Week 2019 (UEGW 2019), 19th ~23rd October, 2019, Fira Gran Via, Barcelona, Spain
10. Yutaka Saito: Development of a Real-time endoscopic Image Diagnostic Support System Using Deep Learning Technology in Colonoscopy, —Current status and future challenges—, Lecture, 2019/5/9, The 14th JSGE-AGA Joint Meeting, Hotel Nikko Kanazawa, Kanazawa-shi
 11. Saito Y: 1) HANDS-ON WORKSHOP ESD. 2) Now What? Managing Adverse Events. 1) Faculty for ASGE Hands-On. 2) Lecture at ASGE CLINICAL SYMPOSIUM, Advanced Colonic Mucosal Resection Techniques. Oral Presentations. DDW 2018. 2nd June, 2018, Walter E. Washington Convention Center, Washington, DC, USA.
 12. Saito Y: 1) Indications for ESD; Colon. 2) Case presentation and discussions: ESD Management with U.S. and Asian Masters. 1) Lecture. 2) Live demos and discussions. Oral Presentations. ASGE JGES Masters Course in ESD with Optional POEM Add-on. September 21-23, 2018. ASGE Institute for Training & Technology, Downers Grove, Illinois. USA.
 13. Saito Y: 1) Endoscopic diagnosis for colorectal tumor - How to use JNET classification and pit pattern. 2) Live demonstrations. 1) Lecture. Oral Presentations. 33rd International Workshop on Therapeutic Endoscopy. December 11-13, 2018, Prince of Wales Hospital, Shatin, NT, Hong Kong.
 14. 齋藤豊：大腸上皮性腫瘍の質的診断、【第1部】大腸腫瘍 講演2、2018/9/9、日本消化器内視鏡学会 第44回重点卒後教育セミナー、ベルサール汐留、東京都
 15. 齋藤豊：大腸腫瘍の拡大内視鏡診断と治療—基礎から応用、講演、2019/1/20、第37回日本消化器内視鏡学会関東セミナー、ソニックシティ、さいたま市
 16. Saito Y: Endoscopic diagnosis using JNET classification and treatment strategy for colorectal neoplasia. Lecture at the RUSSIAN-JAPANESE SYMPOSIUM, ENDOSCOPY IN DIAGNOSTIC AND TREATMENT OF EARLY CANCER OF GI TRACT AND BILIOPANCREATIC ENDOSCOPY. Oral Presentation. 第19回日露内視鏡シンポジウム. 1st April, 2017, Holiday Inn St. Petersburg Moskovskiye Vorota, St. Petersburg, Russia.
 17. Saito Y: Colon ESD. Lecture at the Clinical Symposium, Session Title: Colonic Mucosal Resection Techniques. Oral Presentation. DDW 2017. 7th May, 2017, McCormick Place, Chicago, IL, USA.
 18. Saito Y: ACG's Annual Scientific Meeting hands-on session, EMR and ESD with the Asian Experts. Lecture, oral presentation as faculty. World Congress of Gastroenterology at ACG 2017. 16th Oct, 2017, Orange County Convention Center, Orland, Florida, USA.
 19. Saito Y: 1) JNET classification and diagnosis for colorectal cancer. 2) Indication of EMR/ESD for early colorectal tumors. 3) Live Demonstrations. 1) Lecture at the Dinner Symposium. 2) Didactic Lecture. Oral Presentations. 32nd International Workshop on Therapeutic Endoscopy. 5th ~7th Dec, 2017, Prince of Wales Hospital, Hong Kong, China.
 20. 齋藤豊：The Japan NBI Expert Team (JNET)大腸拡大 Narrow Band Imaging (NBI)分類の紹介、パネルディスカッション 05、基調講演、第93回日本消化器内視鏡学会総会、2017/5/11、リーガロイヤルホテル、大阪市

(研究開始前書籍)

1. 齋藤豊：II疾患編 3.消化器疾患「大腸癌」、総編集：永井良三、3.消化器疾患責任編集：松本主之、も持田智、今日の診断指針 第8版、医学書院、2020年3月25日：746-749.
2. Yutaka Saito, Hiroyuki Takamaru, Akiko Ono, Taku Sakamoto, Masayoshi Yamada, Masaru Sekiguchi, Seiichiro Abe, Shigeki Sekine, and Takahisa Matsuda: Endoscopic Submucosal Dissection for T1 Colorectal Cancer. Editors: Shinji Tanaka, Yusuke Saitoh. Endoscopic Management of Colorectal T1(SM) Carcinoma. Springer. 2019 (eBook):77-86. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13 の記載あり)
3. Seiichiro Abe, Filippo Catalano, and Yutaka Saito: Endoscopic Resections: EMR and ESD. Editor: Giuseppe Galloro. Revisiting Barrett's Esophagus. Springer. 2019:147-158.
4. 坂本琢、齋藤豊：第5章 画像強調拡大内視鏡診断 ③深達度診断、監修：田中信治、編集：永田信二、岡志郎、大腸内視鏡診断の基本とコツ、羊土社、東京都、2019年12月1日：155-160。(国立がん研究

センター研究開発費 齋藤豊班の記載あり)

5. Masayoshi Yamada, Yutaka Saito, Stefano Sansone, Hiroyuki Takamaru, and Taku Sakamoto: Endoscopic Resection of Early Colorectal Cancer. Editors: Hideyuki Ishida, Keiji Koda. Recent Advances in the Treatment of Colorectal Cancer. Springer. 2019 (Jan):3-15.
6. 齋藤豊：其の参「技」の章～挿入・観察の極意、治療の基礎～ 3 大腸挿入・観察の極意、監修者：田尻久雄、編集者：井上晴洋、齋藤豊、消化器内視鏡の登竜門—内視鏡診断のすべてがわかる虎の巻、南江堂、東京都、2018年11月10日；57-62
7. Iacopini F and Saito Y: Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. Editors: Antonio Facciorusso, Nicola Muscatiello. Colon Polypectomy. Springer, Switzerland. 2018. Page 73-88. (25-A-12 and 28-K-1) *Disclosure (page84) に両課題番号の記載あり
8. 齋藤豊、豊永高史、田中信治：大腸6 ESD、監修：日本消化器内視鏡学会、責任編集：日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会、[改訂第2版]消化器内視鏡ハンドブック、日本メディカルセンター、東京都、2017.5.20：406-416.
9. 編集：齋藤豊、小田一郎、失敗しない食道・胃 ESD 治療困難例のスキル&テクニック、医学と看護社、東京都、2017.9.10: 1-113.
10. 齋藤豊：II. 診断のプロセス【大腸】血管透見、監修：田尻久雄、編者：田中信治、長南明道、武藤学、改訂第4版 内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像【下部消化管】、日本メディカルセンター、東京都、2018.3.10：228-236

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言(寄与した指針等))

1. 日本消化器内視鏡学会・大腸 ESD/EMR ガイドライン作成委員会・委員
共著・全20名の3番目(筆頭著者：田中信治)、「大腸 ESD/EMR ガイドライン(第2版)」、Gastroenterological Endoscopy、Vol.61(2019) No.6、page: 1323-1344、2019年6月
2. 大腸癌研究会・大腸癌治療ガイドライン委員会(2019年度)ガイドライン作成委員会・内視鏡領域責任者
「大腸癌治療ガイドライン 医師用2019年版」2019年1月25日(2019年版第1刷発行)

(研究開始前その他)

記載なし

研究分担者：松田尚久

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Matsuda T, Ono A, Sekiguchi M, Fujii T, Saito Y. Advances in image enhancement in colonoscopy for detection of adenomas. Nat Rev Gastroenterol Hepatol. 2017; 14:305-314. (27-A-5) 査読有
2. Sekiguchi M, Terauchi T, Kakugawa Y, Shimada N, Saito Y, Matsuda T. Performance of 18-fluoro-2-deoxyglucose positron emission tomography for esophageal cancer screening. World J Gastroenterol. 2017; 23: 2743-2749. (27-A-5) 査読有
3. Nakamura F, Saito Y, Haruyama S, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Nakajima T, Yamamoto S, Murakami Y, Ishikawa H, Matsuda T. Short-term Prospective Questionnaire Study of Early Postoperative Quality of Life After Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. Dig Dis Sci. Dec;62(12):3325-3335. (23-A-19 and 25-A-12) 査読有
4. Saito Y, Bhatt A, Matsuda T. Colorectal endoscopic submucosal dissection and its journey to the West. Gastrointest Endosc. 2017; 86:90-92. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13) 査読有
5. Sekiguchi M, Igarashi A, Sakamoto T, Saito Y, Esaki M, Matsuda T. Cost-effectiveness analysis of postpolypectomy colonoscopy surveillance using Japanese data. Dig Endosc. 2019; 31: 40-50. 査読有
6. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Matsumoto M, Matsuda T. A scoring model for predicting advanced colorectal neoplasia in a screened population of asymptomatic Japanese individuals. J

- Gastroenterol. 2018; 53: 1109-1119. 査読有
7. Sekiguchi M, Otake Y, Kakugawa Y, Matsumoto M, Tomizawa Y, Saito Y, Matsuda T. Incidence of Advanced Colorectal Neoplasia in Individuals With Untreated Diminutive Colorectal Adenomas Diagnosed by Magnifying Image-Enhanced Endoscopy. *Am J Gastroenterol*. 2019 Jun;114(6):964-973. (30-A-16) 査読有
 8. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Nakamura K, Matsumoto M, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T. Feasibility of observational screening colonoscopy followed by deferred polypectomy. *J Gastroenterol Hepatol*. 2020 Feb;35(2):263-270. (30-A-16) 査読有
 9. Kakinuma R, Muramatsu Y, Asamura H, Watanabe S, Kusumoto M, Tsuchida T, Kaneko M, Tsuta K, Miyagi Maeshima A, Ishii G, Nagai K, Yamaji T, Matsuda T, Moriyama N. Low-dose CT Lung Cancer Screening in Never-smokers and Smokers: Results of an Eight-year Observational Study. *Translational Lung Cancer Research*. 2020 Feb;9(1):10-22. (30-A-16) 査読有
 10. Shimizu Y, Mizuno S, Fujinami N, Suzuki T, Saito K, Konishi M, Takahashi S, Gotohda N, Tada T, Toyoda H, Kumada T, Miura M, Suto K, Yamaji T, Matsuda T, Endo I, Nakatsura T. Plasma and tumoral glypican-3 levels are correlated in patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma. *Cancer Sci*. 2020 Feb;111(2):334-342. (29-A-1) 査読有
 11. Kobayashi S, Yamada M, Takamaru H, Sakamoto T, Matsuda T, Sekine S, Igarashi Y, Saito Y: Diagnostic yield of the Japan NBI Expert Team (JNET) classification for endoscopic diagnosis of superficial colorectal neoplasms in a large-scale clinical practice database. *United European Gastroenterol J*. 2019;7:914-923. (29-A-13) 査読有
- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
1. Hotta K, Matsuda T, Kakugawa Y, Ikematsu H, Kobayashi N, Kushima R, Hozawa A, Nakajima T, Sakamoto T, Mori M, Fujii T, Saito Y. Regional colorectal cancer screening program using colonoscopy on an island: a prospective Nii-jima study. *Jpn J Clin Oncol*. 2017; 47:118-122. 査読有
 2. Nakamura K, Nonaka S, Nakajima T, Yachida T, Abe S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Sekine S, Kanemitsu Y, Katai H, Saito Y, Hirota S. Clinical outcomes of gastric polyps and neoplasms in patients with familial adenomatous polyposis. *Endosc Int Open*. 2017; 5:E137-E145. 査読有
 3. Ikematsu H, Sakamoto T, Togashi K, Yoshida N, Hisabe T, Kiriya S, Matsuda K, Hayashi Y, Matsuda T, Osera S, Kaneko K, Utano K, Naito Y, Ishihara H, Kato M, Yoshimura K, Ishikawa H, Yamamoto H, Saito Y. Detectability of colorectal neoplastic lesions using a novel endoscopic system with blue laser imaging: a multicenter randomized controlled trial. *Gastrointest Endosc*. 2017; 86:386-394. 査読有
 4. Yamada M, Saito Y, Takamaru H, Sasaki H, Yokota T, Matsuyama Y, Sato Y, Sakamoto T, Nakajima T, Taniguchi H, Sekine S, Matsuda T. Long-term clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms in 423 cases: a retrospective study. *Endoscopy*. 2017; 49:233-242. 査読有
 5. Kodashima S, Tanaka K, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. First progress report on the Japan Endoscopy Database project. *Dig Endosc*. 2018 Jan;30(1):20-28. 査読有
 6. Tamai N, Saito Y, Sakamoto T, Nakajima T, Matsuda T, Sumiyama K, Tajiri H, Koyama R, Kido S. Effectiveness of computer-aided diagnosis of colorectal lesions using novel software for magnifying narrow-band imaging: a pilot study. *Endosc Int Open*. 2017; 5:E690-E694. 査読有
 7. Bogie RMM, Veldman MHJ, Snijders LARS, Winkens B, Kaltenbach T, Masclee AAM, Matsuda T, Rondagh EJA, Soetikno R, Tanaka S, Chiu HM, Sanduleanu-Dascalescu S. Correction: Endoscopic subtypes of colorectal laterally spreading tumors (LSTs) and the risk of submucosal invasion: a meta-analysis. *Endoscopy*. 2018 Mar;50(3):263-282. 査読有
 8. Sakamoto T, Saito Y, Nakamura F, Abe S, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Yamagishi H, Kato H. Short-term outcomes following endoscopic submucosal dissection

- of large protruding colorectal neoplasms. *Endoscopy*. 2018 Jun;50(6):606-612. 査読有
9. Sekiguchi M, Matsuda T, Saito Y. What is the optimal colorectal cancer screening program for an average-risk population? *Transl Gastroenterol Hepatol*. 2017 Mar 16; 2:17. 査読有
 10. Oka S, Uraoka T, Tamai N, Ikematsu H, Chino A, Okamoto K, Takeuchi Y, Imai K, Ohata K, Shiga H, Raftopoulos S, Lee BI, Matsuda T. Standardization of endoscopic resection for colorectal tumors larger than 10 mm in diameter. *Dig Endosc*. 2017; 29 Suppl 2:40-44. 査読有
 11. Matsuda K, Tanaka K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. Design paper: Japan Endoscopy Database (JED): a prospective, big database project related to Gastroenterological Endoscopy in Japan. *Dig Endosc*. 2018 Jan;30(1):5-19. 査読有
 12. Inoki K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Taniguchi H, Sekine S, Kanemitsu Y, Ohe Y, Saito Y. Predictive relevance of lymphovascular invasion in T1 colorectal cancer before endoscopic treatment. *Endosc Int Open*. 2017; 5: E1278-E1283. 査読有
 13. Rutter MD, Beintaris I, Valori R, Chiu HM, Corley DA, Cuatrecasas M, Dekker E, Forsberg A, Gore-Booth J, Haug U, Kaminski MF, Matsuda T, Meijer GA, Morris E, Plumb AA, Rabeneck L, Robertson DJ, Schoen RE, Singh H, Tinmouth J, Young GP, Sanduleanu S. World Endoscopy Organization Consensus Statements on Post-Colonoscopy and Post-Imaging Colorectal Cancer. *Gastroenterology*. 2018; 155: 909-925. 査読有
 14. Bogie RMM, Veldman MHJ, Snijders LARS, Winkens B, Kaltenbach T, Masclee AAM, Matsuda T, Rondagh EJA, Soetikno R, Tanaka S, Chiu HM, Sanduleanu-Dascalescu S. Endoscopic subtypes of colorectal laterally spreading tumors (LSTs) and the risk of submucosal invasion: a meta-analysis. *Endoscopy*. 2018; 50: 263-282. 査読有
 15. Wong JCT, Chiu HM, Kim HS, Byeon JS, Matsuda T, Kobayashi N, Wu DC, Ong DE, Sung JJJ; Asia-Pacific Working Group on Colorectal Cancer. Adenoma detection rates in colonoscopies for positive fecal immunochemical tests versus direct screening colonoscopies. *Gastrointest Endosc*. 2019; 89: 607-613.e1. 査読有
 16. Takeuchi Y, Sawaya M, Oka S, Tamai N, Kawamura T, Uraoka T, Ikematsu H, Moriyama T, Arao M, Ishikawa H, Ito Y, Matsuda T. Efficacy of autofluorescence imaging for flat neoplasm detection: a multicenter randomized controlled trial (A-FLAT trial). *Gastrointest Endosc*. 2019; 89: 460-469. 査読有
 17. Niikura R, Yamada A, Fujishiro M, Tanaka K, Matsuda K, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Shinozaki T, Tajiri H, Koike K. The Effects of Direct Oral Anticoagulants, Warfarin, Aspirin and Thienopyridine on the Performance of Immunochemical, Faecal, Occult Blood Tests. *Digestion*. 2019; 100: 117-126. 査読有
 18. Kudo T, Saito Y, Ikematsu H, Hotta K, Takeuchi Y, Shimatani M, Kawakami K, Tamai N, Mori Y, Maeda Y, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Imai K, Ito S, Hamada K, Fukata N, Inoue T, Tajiri H, Yoshimura K, Ishikawa H, Kudo SE. New-generation full-spectrum endoscopy versus standard forward-viewing colonoscopy: a multicenter, randomized, tandem colonoscopy trial (J-FUSE Study). *Gastrointest Endosc*. 2018; 88: 854-864. 査読有
 19. Iwatate M, Sano Y, Tanaka S, Kudo SE, Saito S, Matsuda T, Wada Y, Fujii T, Ikematsu H, Uraoka T, Kobayashi N, Nakamura H, Hotta K, Horimatsu T, Sakamoto N, Fu KI, Tsuruta O, Kawano H, Kashida H, Takeuchi Y, Machida H, Kusaka T, Yoshida N, Hirata I, Terai T, Yamano HO, Nakajima T, Sakamoto T, Yamaguchi Y, Tamai N, Nakano N, Hayashi N, Oka S, Ishikawa H, Murakami Y, Yoshida S, Saito Y; Japan NBI Expert Team (JNET). Validation study for development of the Japan NBI Expert Team classification of colorectal lesions. *Dig Endosc*. 2018; 30: 642-651. 査読有
 20. Inoki K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Taniguchi H, Sekine S, Kanemitsu Y, Ohe Y, Saito Y. Predictive relevance of lymphovascular invasion in T1 colorectal cancer before endoscopic treatment. *Endosc Int Open*. 2017; 5: E1278-E1283. 査読有
 21. Sakamoto T, Saito Y, Nakamura F, Abe S, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T,

- Matsuda T, Yamagishi H, Kato H. Short-term outcomes following endoscopic submucosal dissection of large protruding colorectal neoplasms. *Endoscopy*. 2018; 50: 606-612. 査読有
22. Sakamoto T, Tomizawa Y, Cho H, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Murakami Y, Saito Y. Additional value of linked color imaging in colonoscopy: a retrospective study. *Endosc Int Open*. 2019 Nov;7(11):E1448-E1454. 査読有
 23. Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y. Reliability of Japan Narrow-Band Imaging Expert Team Classification for the Diagnosis of Colorectal Neoplasms: A Pilot Study. *Digestion*. 2020;101(5):638-643. 査読有
 24. Yachida S, Mizutani S, Shiroma H, Shiba S, Nakajima T, Sakamoto T, Watanabe H, Masuda K, Nishimoto Y, Kubo M, Hosoda F, Rokutan H, Matsumoto M, Takamaru H, Yamada M, Matsuda T, Iwasaki M, Yamaji T, Yachida T, Soga T, Kurokawa K, Toyoda A, Ogura Y, Hayashi T, Hatakeyama M, Nakagama H, Saito Y, Fukuda S, Shibata T, Yamada T. Metagenomic and metabolomic analyses reveal distinct stage-specific phenotypes of the gut microbiota in colorectal cancer. *Nat Med*. 2019 Jun;25(6):968-976. 査読有
 25. Kato M, Tanaka K, Kida M, Ryozaawa S, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. Multicenter database registry for endoscopic retrograde cholangiopancreatography: Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc*. 2020 May;32(4):494-502. 査読有
 26. Katada C, Horimatsu T, Muto M, Tanaka K, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Kodashima S, Matsuda T, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. Current status of esophageal endoscopy including the evaluation of smoking and alcohol consumption in Japan: an analysis based on the Japan endoscopy database. *Esophagus*. 2019 Apr;16(2):174-179. 査読有
 27. Wong JCT, Chiu HM, Kim HS, Byeon JS, Matsuda T, Kobayashi N, Wu DC, Ong DE, Sung JJJ; Asia-Pacific Working Group on Colorectal Cancer. Adenoma detection rates in colonoscopies for positive fecal immunochemical tests versus direct screening colonoscopies. *Gastrointest Endosc*. 2019; 89: 607-613.e1. 査読有
 28. Inoki K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y. The Diagnostic Performance for Colorectal Neoplasms Using Magnified Endoscopy Differs between Experts and Novice Endoscopists: A Post Hoc Analysis. *Digestion*. 2020;101(5):590-597. 査読有
 29. Ichijima R, Abe S, Kobayashi S, Minagawa T, Tagawa T, Nakajima T, Yamada M, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Oda I, Matsuda T, Saito Y, Gotoda T. Efficacy of Full-Spectrum Endoscopy to Visualize the Major Duodenal Papilla in Patients with Familial Adenomatous Polyposis. *Digestion*. 2020;101(5):563-570. 査読有
 30. Inoki K, Yamada M, Kuwabara H, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y. Newly-developed colonoscope (PCF-PQ260L) is useful for patients with difficult colons. *Turk J Gastroenterol*. 2019 Jul;30(7):630-635. 査読有
 31. Sakamoto T, Inoki K, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Saito Y. Efficacy of linked colour imaging in magnifying chromoendoscopy with crystal violet staining: a pilot study. *Int J Colorectal Dis*. 2019 Jul;34(7):1341-1344. 査読有
 32. Jimenez-Garcia VA, Yamada M, Ikematsu H, Takamaru H, Abe S, Sakamoto T, Nakajima T, Matsuda T, Saito Y. Endoscopic submucosal dissection in management of colorectal tumors near or involving a diverticulum: a retrospective case series. *Endosc Int Open*. 2019 May;7(5):E664-E671. 査読有
 33. Atkinson NSS, Ket S, Bassett P, Aponte D, De Aguiar S, Gupta N, Horimatsu T, Ikematsu H, Inoue T, Kaltenbach T, Leung WK, Matsuda T, Paggi S, Radaelli F, Rastogi A, Rex DK, Sabbagh LC, Saito Y, Sano Y, Saracco GM, Saunders BP, Senore C, Soetikno R, Vemulapalli KC, Jairath V, East JE. Narrow-Band Imaging for Detection of Neoplasia at Colonoscopy: A Meta-analysis of Data From Individual Patients in Randomized Controlled Trials. *Gastroenterology*. 2019 Aug;157(2):462-471. 査読有

34. Lee BI, Matsuda T. Estimation of Invasion Depth: The First Key to Successful Colorectal ESD. Clin Endosc. 2019 Mar;52(2):100-106. 査読有
35. Sung JY, Chiu HM, Jung KW, Jun JK, Sekiguchi M, Matsuda T, Kyaw MH. Increasing Trend in Young-Onset Colorectal Cancer in Asia: More Cancers in Men and More Rectal Cancers. Am J Gastroenterol. 2019; 114: 322-329. 査読有
36. Sakamoto T, Ramaraj R, Tomizawa Y, Cho H, Matsuda T, Saito Y. Clinical significance of colorectal polyp detection on colonoscopy insertion. United European Gastroenterol J. 2019;7:125-129. 査読有

(研究開始前学会発表)

1. Matsuda T. Current status and future perspective of GI cancer screening & surveillance in Japan. International Course in Lima 2017, Peru.
2. Matsuda T. Endoscopic Diagnosis and Treatment of Early Colorectal Cancers- Indications for EMR/ESD. International Course in Lima 2017, Peru.
3. Matsuda T. Serrated polyps and Colorectal Cancer. APDW 2017, Hong Kong.
4. Matsuda T. Status Report and Future Perspective of the Japan Polyp Study (JPS). WEO CRC Screening Meeting 2017, Hong Kong.
5. Matsuda T. Post-polypectomy surveillance colonoscopy: Which is the most frequent lesion to develop PCCRC? The 13th Magnifying Endoscopy Conference 2017, Barcelona.
6. Matsuda T. Current status and future perspective of colorectal cancer screening and post-polypectomy surveillance in Japan. Jornadas de Endoscopia SAMS, 23 Feb, 2018, Lisbon
7. Matsuda T, Sekiguchi M. Current Status and Future Perspective of Colorectal Cancer Screening in Japan. The 9th Asian Pacific Topic Conference. 20 Apr, 2018, Tokyo
8. Matsuda T. Protocol and Effectiveness of Colorectal Cancer Screening. ENDOSUR 2018, 31 Jul, 2018, Santiago
9. Matsuda T. Endoscopic Gastric Cancer Screening Protocol in Japan. ENDOSUR 2018, 1 Aug, 2018, Santiago
10. Matsuda T. Importance of Enhanced Imaging in Endoscopic CRC Screening & Diagnosis. ENDOSUR 2018, 3 Aug, 2018, Santiago
11. Matsuda T. Detection and Diagnosis by BLI/LCI. ENDOSUR 2018, 3 Aug, 2018, Santiago
12. Matsuda T. Long-term Outcome of Endoscopic Treatment of Early Colorectal Neoplasms. Postgraduate Course: TDDW, 28 Sep, 2018, Taipei
13. Matsuda T. New Paradigm Shift in Managing Diminutive and Small Colorectal Polyps. TDDW, 30 Sep, 2018, Taipei
14. Matsuda T. Regional Colorectal Cancer Screening Program using Colonoscopy on an isolated Island: A Prospective Oshima Study. JDDW, 1 Nov, 2018, Kobe
15. Matsuda T. Strategies to Improve Colorectal Cancer Screening Rates in Japan. JDDW, 2 Nov, 2018, Kobe
16. Matsuda T, Sekiguchi M. Are we ready to start colonoscopy-based CRC screening in Japan? WEO CRC Screening Meeting, 15 Nov, 2018, Seoul
17. Matsuda T. Recent Advances in Colorectal ESD- from Piecemeal EMR to ESD era. APDW, 16 Nov, 2018, Seoul
18. Matsuda T. New Device and Advanced Technique of Colorectal ESD. APDW, 17 Nov, 2018, Seoul
19. Matsuda T: Introduction of National Colorectal Cancer Screening Program in Japan. Asia Colorectal Cancer Screening Network. 2019, 22 June, Taipei, Taiwan.
20. Matsuda T: Current Status and Future Perspective of CRC Screening in Japan. 10th Year Anniversary Symposium of Surgical Endoscopy. 2019, 9 August, Bangkok, Thailand.
21. Matsuda T: Endoscopic Detection of Gastrointestinal Cancer in Japan- Current Status and Future Perspective. 2019, 27 September, Kaohsiung, Taiwan.
22. Matsuda T: Global Trend in the Diagnosis and Treatment of Early Colorectal Cancer: Current Status and the Road Ahead. TDDW 2019, 28 September, Kaohsiung, Taiwan.
23. Matsuda T: Historical Aspects of Endoscopic Diagnosis and Treatment for Early Cancers of Gastrointestinal Tract. IEEF 2019, 7 November, Moscow, Russia.

24. Matsuda T: Endoscopic Detection of Gastrointestinal Cancer in Japan- Current Status and Future Perspective. The 2nd JSGE Asian Session. 2019, 10 May, Kanazawa, Japan.
25. 松田尚久, 堀田欣一, 池松弘朗. 離島をモデルとした内視鏡介入型大腸がん検診の結果から. 第58回日本消化器がん検診学会総会パネルディスカッション. 日本消化器がん検診学会総会. 2019/6/7, 岡山
26. 松田尚久. 大腸内視鏡検診への期待と課題—新島/大島スタディ・青森プロジェクトの知見から. 第37回日本大腸検査学会総会 教育講演. 2019/11/1, 東京
27. 松田尚久. 青森県大腸がん検診モデル事業の全体像と集積データ分析の展望. JDDW2019, サテライトシンポジウム. 2019/11/21, 神戸

(研究開始前書籍)

1. 松田 尚久, 池松 弘朗, 高丸 博之, 大野 康寛, 水口 康彦, 関口 正宇, 山田 真善, 坂本 琢, 斎藤 豊. FIT 陽性癌 vs. FIT 陰性癌 (2) 内視鏡の立場から. *Intestine* 2019; 23: 441-448.
2. 堀田 欣一, 松田 尚久, 池松 弘朗, 角川 康夫, 今井 健一郎, 伊藤 紗代, 浦岡 俊夫, 古賀 宣勝, 斎藤 豊. FIT 陽性癌 vs. FIT 陰性癌 (2) 大腸がん検診 study の立場から. *Intestine* 2019; 23: 435-440.
3. 関口 正宇, 斎藤 豊, 松田 尚久. 【FIT 陰性癌の特徴】FIT を用いた大腸がん検診の有効性と注意点. *Intestine* 2019; 23: 409-414.

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

研究分担者：小田一郎

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Suzuki H, Takizawa K, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Endo M, Nakagawa M, Toyonaga T, Doyama H, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Fujishiro M, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Michida T, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Jin M, Hori S, Niwa Y, Hikichi T, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; For J-WEB/EGC group. Short-Term Outcomes of Multicenter Prospective Cohort Study of Gastric Endoscopic Resection: "Real-World Evidence" in Japan. *Dig Endosc.* 2019 Jan;31(1):30-39. (25-A-12, 28-K-1, 29-A-13)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Takamaru H, Yoshinaga S, Takisawa H, Oda I, Katai H, Sekine S, Taniguchi K, Saito Y. Endoscopic Ultrasonography Miniature Probe Performance for Depth Diagnosis of Early Gastric Cancer with Suspected Submucosal Invasion. *Gut Liver.* 2020 Sep 15;14(5):581-588.
2. Abe S, Wu SYS, Ego M, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nonaka S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Matsuda T, Oda I, Saito Y. Efficacy of Current Traction Techniques for Endoscopic Submucosal Dissection. *Gut Liver.* 2020 Nov 15;14(6):673-684.
3. Iwabu J, Yamashita S, Takeshima H, Kishino T, Takahashi T, Oda I, Koyanagi K, Igaki H, Tachimori Y, Daiko H, Nakazato H, Nishiyama K, Lee YC, Hanazaki K, Ushijima T. FGF5 methylation is a sensitivity marker of esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy. *Sci Rep.* 2019 Sep 16;9(1):13347.
4. Nunobe S, Oda I, Ishikawa T, Akazawa K, Katai H, Isobe Y, Miyashiro I, Tsujitani S, Ono H, Tanabe S, Fukagawa T, Suzuki S, Kakeji Y; Registration Committee of the Japanese Gastric Cancer. Surgical outcomes of elderly patients with Stage I gastric cancer from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association. *Gastric Cancer.* 2020 Mar;23(2):328-338.

5. Yoshida M, Takizawa K, Nonaka S, Shichijo S, Suzuki S, Sato C, Komori H, Minagawa T, Oda I, Uedo N, Hirasawa K, Matsumoto K, Sumiyoshi T, Mori K, Gotoda T, Ono H; CONNECT-E Study Group. Conventional versus traction-assisted endoscopic submucosal dissection for large esophageal cancers: a multicenter, randomized controlled trial (with video). *Gastrointest Endosc.* 2020 Jan;91(1):55-65.e2.
6. Kato M, Tanaka K, Kida M, Ryozaawa S, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. A multicenter database registry for endoscopic retrograde cholangiopancreatography: the Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc.* 2020 May;32(4):494-502.
7. Oda I, Hoteya S, Fujishiro M. Status of Helicobacter pylori infection and gastric mucosal atrophy in patients with gastric cancer: Analysis based on the Japan Endoscopy Database. *Dig Endosc.* 2019 Jan;31(1):103. doi: 10.1111/den.13287
8. Yano T, Hasuike N, Ono H, Boku N, Ogawa G, Kadota T, Oda I, Doyama H, Hori S, Iishi H, Takahashi A, Takizawa K, Muto M. Factors associated with technical difficulty of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer that met the expanded indication criteria: post hoc analysis of a multi-institutional prospective confirmatory trial (JCOG0607). *Gastric Cancer.* 2020 Jan;23(1):168-174.
9. Ichijima R, Abe S, Kobayashi S, Minagawa T, Tagawa T, Nakajima T, Yamada M, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Oda I, Matsuda T, Saito Y, Gotoda T. Efficacy of Full-Spectrum Endoscopy to Visualize the Major Duodenal Papilla in Patients with Familial Adenomatous Polyposis. *Digestion.* 2020;101(5):563-570.
10. Kadota T, Abe S, Yoda Y, Yoshinaga S, Oda I, Kojima T, Kato K, Daiko H, Yano T. Clinical outcomes according to the modified endoscopic criteria for neoadjuvant chemotherapy in resectable esophageal squamous cell carcinoma. *Dig Endosc.* 2020 Mar;32(3):337-345.
11. Katada C, Yokoyama T, Yano T, Oda I, Shimizu Y, Doyama H, Koike T, Takizawa K, Hirao M, Okada H, Yoshii T, Kubota Y, Yamanouchi T, Tsuda T, Omori T, Kobayashi N, Suzuki H, Tanabe S, Hori K, Nakayama N, Kawakubo H, Kakushima N, Matsuo Y, Ishikawa H, Yokoyama A, Muto M. Association between macrocytosis and metachronous squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic resection in men with early esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus.* 2020 Apr;17(2):149-158.
12. Nakajo K, Abe S, Oda I, Ishihara R, Tanaka M, Yoshio T, Katada C, Yano T. Impact of the Charlson Comorbidity Index on the treatment strategy and survival in elderly patients after non-curative endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma: a multicenter retrospective study. *J Gastroenterol.* 2019 Oct;54(10):871-880.
13. Minashi K, Nihei K, Mizusawa J, Takizawa K, Yano T, Ezoe Y, Tsuchida T, Ono H, Iizuka T, Hanaoka N, Oda I, Morita Y, Tajika M, Fujiwara J, Yamamoto Y, Katada C, Hori S, Doyama H, Oyama T, Nebiki H, Amagai K, Kubota Y, Nishimura K, Kobayashi N, Suzuki T, Hirasawa K, Takeuchi T, Fukuda H, Muto M. Efficacy of Endoscopic Resection and Selective Chemoradiotherapy for Stage I Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Gastroenterology.* 2019 Aug;157(2):382-390. e3
14. Kuwabara H, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Clinical feasibility of endoscopic submucosal dissection with minimum lateral margin of superficial esophageal squamous cell carcinoma. *Endosc Int Open.* 2019 Apr;7(4):E396-E402.
15. Yachida T, Oda I, Abe S, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Masugata H, Masaki T, Daiko H, Saito Y. Risk of lymph node metastasis in patients with the superficial spreading type of esophageal squamous cell carcinoma. *Digestion.* 2020;101(3):239-244.
16. Uemura N, Oda I, Saito Y, Ono H, Fujisaki J, Matsuhashi N, Ohata K, Yahagi N, Yada T, Satoh M, Tajiri H, Inomata M, Kitano S. Efficacy and safety of 0.6% sodium alginate solution in endoscopic submucosal dissection for esophageal and gastric neoplastic lesion: A randomized controlled study. *Dig Endosc.* 2019 Jul;31(4):396-404.
17. Sekimizu M, Yoshida A, Mitani S, Asano N, Hirata M, Kubo T, Yamazaki F, Sakamoto H, Kato M, Makise N, Mori T, Yamazaki N, Sekine S, Oda I, Watanabe SI, Hiraga H, Yonemoto T, Kawamoto T,

- Naka N, Funauchi Y, Nishida Y, Honoki K, Kawano H, Tsuchiya H, Kunisada T, Matsuda K, Inagaki K, Kawai A, Ichikawa H. Frequent mutations of genes encoding vacuolar H(+) -ATPase components in granular cell tumors. *Genes Chromosomes Cancer*. 2019 Jun;58(6):373-380.
18. Katada C, Horimatsu T, Muto M, Tanaka K, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Kodashima S, Matsuda T, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. Current status of esophageal endoscopy including the evaluation of smoking and alcohol consumption in Japan: an analysis based on the Japan endoscopy database. *Esophagus*. 2019 Apr;16(2):174-179.
 19. Hashimoto T, Ogawa R, Tang TY, Yoshida H, Taniguchi H, Katai H, Oda I, Sekine S. RHOA mutations and CLDN18-ARHGAP fusions in intestinal-type adenocarcinoma with anastomosing glands of the stomach. *Mod Pathol*. 2019 Apr;32(4):568-575.
 20. Niikura R, Yamada A, Fujishiro M, Tanaka K, Matsuda K, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Shinozaki T, Tajiri H, Koike K. The Effects of Direct Oral Anticoagulants, Warfarin, Aspirin and Thienopyridine on the Performance of Immunochemical, Faecal, Occult Blood Tests. *Digestion*. 2019;100(2):117-126.
 21. Arantes V, Uedo N, Morita Y, Toyonaga T, Nakano Y, Pedrosa MS, Oda I, Saito Y, Suzuki H, Yamamoto K, Sato Y, Draganov PV. Polypoid nodule scar after gastric endoscopic submucosal dissection: results from a multicenter study. *Endosc Int Open*. 2018 Oct;6(10):E1198-E1203.
 22. Suzuki H, Takizawa K, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Endo M, Nakagawa M, Toyonaga T, Doyama H, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Fujishiro M, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Michida T, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Jin M, Hori S, Niwa Y, Hikichi T, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; For J-WEB/EGC group. Short-Term Outcomes of Multicenter Prospective Cohort Study of Gastric Endoscopic Resection: "Real-World Evidence" in Japan. *Dig Endosc*. 2019 Jan;31(1):30-39.
 23. Abe S, Oda I, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y. A challenging case of gastric endoscopic submucosal dissection: removal of a sizable cancer through altering patient's position and multiple clip-line traction. *VideoGIE*. 2019 Sep 14;4(12):558-560.
 24. Kobayashi S, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Igarashi Y, Saito Y. A case of mixed-type early gastric cancer with recurrence following curative endoscopic submucosal dissection for expanded indication. *Endosc Int Open*. 2019 Jun;7(6):E841-E845.
 25. Abe S, Yamada M, Oda I. Successful omental patch closure with over-the-scope clip for delayed stomach perforation after endoscopic hemostasis for post-endoscopic submucosal dissection bleeding. *Dig Endosc*. 2019 Apr;31 Suppl 1:24-25.
 26. Ichijima R, Abe S, Oda I, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Bhatt A, Saito Y. A double-channel cap-assisted closure of a gastric defect after endoscopic submucosal dissection. *Ann Laparosc Endosc Surg* 2018;3:38.
 27. Sugizaki K, Tari A, Kitadai Y, Oda I, Nakamura S, Yoshino T, Sugiyama T. Anti-Helicobacter pylori therapy in localized gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: A prospective, nationwide, multicenter study in Japan. *Helicobacter*. 2018 Apr;23(2):e12474.
 28. Maeda M, Yamashita S, Shimazu T, Iida N, Takeshima H, Nakajima T, Oda I, Nanjo S, Kusano C, Mori A, Moro H, Yamada H, Tsugane S, Sugiyama T, Sakai Y, Ushijima T. Novel epigenetic markers for gastric cancer risk stratification in individuals after Helicobacter pylori eradication. *Gastric Cancer*. 2018 Sep;21(5):745-755.
 29. Matsuda K, Tanaka K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. Design paper: Japan Endoscopy Database (JED): a prospective, big database project related to Gastroenterological Endoscopy in Japan. *Dig Endosc*. 2018 Jan;30(1):5-19.

30. Kanesaka T, Uedo N, Yao K, Ezoe Y, Doyama H, Oda I, Kaneko K, Kawahara Y, Yokoi C, Sugiura Y, Ishikawa H, Takeuchi Y, Arao M, Iwatsubo T, Iwagami H, Matsuno K, Muto M, Saito Y, Tomita Y. Multiple convex demarcation line for prediction of benign depressed gastric lesions in magnifying narrow-band imaging. *Endosc Int Open*. 2018 Feb;6(2):E145-E155.
31. Yamashita S, Kishino T, Takahashi T, Shimazu T, Charvat H, Kakugawa Y, Nakajima T, Lee YC, Iida N, Maeda M, Hattori N, Takeshima H, Nagano R, Oda I, Tsugane S, Wu MS, Ushijima T. Genetic and epigenetic alterations in normal tissues have differential impacts on cancer risk among tissues. *Proc Natl Acad Sci U S A*. 2018 Feb 6;115(6):1328-1333.
32. Takahashi Y, Takeuchi T, Kojima Y, Nagami Y, Ominami M, Uedo N, Hamada K, Suzuki H, Oda I, Miyaoka Y, Yamanouchi S, Tokioka S, Tomatsuri N, Yoshida N, Naito Y, Nonaka T, Kodashima S, Ogata S, Hongo Y, Oshima T, Li Z, Shibagaki K, Oikawa T, Tominaga K, Higuchi K. Efficacy and safety of Helicobacter pylori eradication therapy immediately after endoscopic submucosal dissection. *J Gastroenterol Hepatol*. 2018 Jul;33(7):1341-1346.
33. Inoki K, Nakajima T, Nonaka S, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Yamada M, Takatsu M, Yoshida H, Taniguchi H, Sekine S, Ohe Y, Saito Y. Feasibility of endoscopic resection using bipolar snare for nonampullary duodenal tumours in familial adenomatous polyposis patients. *Fam Cancer*. 2018 Oct;17(4):517-524.
34. Yamada M, Oda I, Tanaka H, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Kuchiba A, Koyanagi K, Igaki H, Taniguchi H, Sekine S, Saito Y, Tachimori Y. Tumor location is a risk factor for lymph node metastasis in superficial Barrett's adenocarcinoma. *Endosc Int Open*. 2017 Sep;5(9):E868-E874.
35. Abe S, Oda I, Minagawa T, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Bhatt A, Saito Y. Metachronous Gastric Cancer Following Curative Endoscopic Resection of Early Gastric Cancer. *Clin Endosc*. 2018 May;51(3):253-259
36. Kodashima S, Tanaka K, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kato M, Kida M, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H. First progress report on the Japan Endoscopy Database project. *Dig Endosc*. 2018 Jan;30(1):20-28.
37. Nakanishi H, Doyama H, Ishikawa H, Uedo N, Gotoda T, Kato M, Nagao S, Nagami Y, Aoyagi H, Imagawa A, Kodaira J, Mitsui S, Kobayashi N, Muto M, Takatori H, Abe T, Tsujii M, Watari J, Ishiyama S, Oda I, Ono H, et al. Evaluation of an e-learning system for diagnosis of gastric lesions using magnifying narrow-band imaging: a multicenter randomized controlled study. *Endoscopy*. 2017 Oct;49(10):957-967.
38. Katai H, Ishikawa T, Akazawa K, Isobe Y, Miyashiro I, Oda I, Tsujitani S, Ono H, Tanabe S, Fukagawa T, Nunobe S, Kakeji Y, Nashimoto A; Registration Committee of the Japanese Gastric Cancer Association. Five-year survival analysis of surgically resected gastric cancer cases in Japan: a retrospective analysis of more than 100,000 patients from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association (2001-2007). *Gastric Cancer*. 2018 Jan;21(1):144-154.
39. Yokoyama A, Katada C, Yokoyama T, Yano T, Kaneko K, Oda I, Shimizu Y, Doyama H, Koike T, Takizawa K, Hirao M, Okada H, Yoshii T, Konishi K, Yamanouchi T, Tsuda T, Omori T, Kobayashi N, Suzuki H, Tanabe S, Hori K, Nakayama N, Kawakubo H, Ishikawa H, Muto M. Alcohol abstinence and risk assessment for second esophageal cancer in Japanese men after mucosectomy for early esophageal cancer. *PLoS One*. 2017 Apr 6;12(4):e0175182.
40. Nakamura K, Nonaka S, Nakajima T, Yachida T, Abe S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Sekine S, Kanemitsu Y, Katai H, Saito Y, Hirota S. Clinical outcomes of gastric polyps and neoplasms in patients with familial adenomatous polyposis. *Endosc Int Open*. 2017 Mar;5(3):E137-E145.
41. Tanabe S, Hirabayashi S, Oda I, Ono H, Nashimoto A, Isobe Y, Miyashiro I, Tsujitani S, Seto Y, Fukagawa T, Nunobe S, Furukawa H, Kodera Y, Kaminishi M, Katai H. Gastric cancer treated by endoscopic submucosal dissection or endoscopic mucosal resection in Japan from 2004 through 2006: JGCA nationwide registry conducted in 2013. *Gastric Cancer*. 2017 Sep;20(5):834-842.
42. Hasuike N, Ono H, Boku N, Mizusawa J, Takizawa K, Fukuda H, Oda I, Doyama H, Kaneko K,

- Hori S, Iishi H, Kurokawa Y, Muto M; Gastrointestinal Endoscopy Group of Japan Clinical Oncology Group (JCOG-GIESG).. A non-randomized confirmatory trial of an expanded indication for endoscopic submucosal dissection for intestinal-type gastric cancer (cT1a): the Japan Clinical Oncology Group study (JCOG0607). *Gastric Cancer*. 2018 Jan;21(1):114-123.
43. Maeda M, Nakajima T, Oda I, Shimazu T, Yamamichi N, Maekita T, Asada K, Yokoi C, Ando T, Yoshida T, Nanjo S, Fujishiro M, Gotoda T, Ichinose M, Ushijima T. High impact of methylation accumulation on metachronous gastric cancer: 5-year follow-up of a multicentre prospective cohort study. *Gut*. 2017 Sep;66(9):1721-1723
 44. Suzuki H, Oda I, Abe S, Sekiguchi M, Nonaka S, Yoshinaga S, Saito Y, Fukagawa T, Katai H. Clinical outcomes of early gastric cancer patients after noncurative endoscopic submucosal dissection in a large consecutive patient series. *Gastric Cancer*. 2017 Jul;20(4):679-689.
 45. Sekiguchi M, Oda I, Suzuki H, Abe S, Nonaka S, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Saito Y. Clinical outcomes and prognostic factors in gastric cancer patients aged ≥ 85 years undergoing endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc*. 2017 May;85(5):963-972.
 46. Ishihara R, Oyama T, Abe S, Takahashi H, Ono H, Fujisaki J, Kaise M, Goda K, Kawada K, Koike T, Takeuchi M, Matsuda R, Hirasawa D, Yamada M, Kodaira J, Tanaka M, Omae M, Matsui A, Kaneshaka T, Takahashi A, Hirooka S, Saito M, Tsuji Y, Maeda Y, Yamashita H, Oda I, Tomita Y, Matsunaga T, Terai S, Ozawa S, Kawano T, Seto Y. Risk of metastasis in adenocarcinoma of the esophagus: a multicenter retrospective study in a Japanese population. *J Gastroenterol*. 2017 Jul;52(7):800-808.
 47. Tanabe S, Ishido K, Matsumoto T, Kosaka T, Oda I, Suzuki H, Fujisaki J, Ono H, Kawata N, Oyama T, Takahashi A, Doyama H, Kobayashi M, Uedo N, Hamada K, Toyonaga T, Kawara F, Tanaka S, Yoshifuku Y. Long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: a multicenter collaborative study. *Gastric Cancer*. 2017 Mar;20(Suppl 1):45-52
 48. Yachida T, Nakajima T, Nonaka S, Nakamura K, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Moriya Y, Masaki T, Saito Y. Characteristics and Clinical Outcomes of Duodenal Neoplasia in Japanese Patients With Familial Adenomatous Polyposis. *J Clin Gastroenterol*. 2017 May/June;51(5):407-411.
 49. Abe S, Oda I, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y. Insulated tip knife tunneling technique with clip line traction for safe endoscopic submucosal dissection of large circumferential esophageal cancer. *VideoGIE*. 2017 Sep 30;2(12):342-345.
 50. Abe S, Minagawa T, Tanaka H, Oda I, Saito Y. Successful endoscopic closure using over-the-scope clip for delayed stomach perforation caused by nasogastric tube after endoscopic submucosal dissection. *Endoscopy*. 2017 Feb;49(S01):E56-E57.
 51. Mejía-Pérez LK, Abe S, Stevens T, Parsi MA, Jang SN, Oda I, Vargo JJ, Saito Y, Bhatt A. A minimally invasive treatment for early GI cancers. *Cleve Clin J Med*. 2017 Sep;84(9):707-717.
 52. Sekiguchi M, Oda I. High miss rate for gastric superficial cancers at endoscopy: what is necessary for gastric cancer screening and surveillance using endoscopy? *Endosc Int Open*. 2017 Aug;5(8):E727-E728.

(研究開始前学会発表)

1. 小田 一郎, 関口 正宇, 松田 尚久. 胃癌撲滅を達成する胃癌検診体制のこれから 胃がん内視鏡検診の現状と課題. *日本消化管学会雑誌*. 2019; 3 卷 Suppl.;134.
2. 小田 一郎, 杉崎克弥, 田利晶, 北台晴彦, 中村昌太郎, 吉野正, 杉山敏郎. 胃 MALT リンパ腫に対する *Helicobacter pylori* 除菌後の長期経過: 多施設前向き研究による real world evidence. 第 24 回日本ヘリコバクター学会抄録集. 2018.
3. 小田 一郎. Current status of indications for endoscopic resection of early gastric cancer. 第 89 回日本胃癌学会総会抄録集. 2017

(研究開始前書籍)

記載なし

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

1. 胃癌に対する ESD・EMR ガイドライン委員会作成委員 (日本消化器内視鏡学会 2010年～)
2. ガイドライン評価委員会委員 (日本胃癌学会 2014年～)

(研究開始前その他)

記載なし

研究分担者: 坂本 琢

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Kagemoto K, Saito Y, Mizuguchi Y, Sakamoto T, Taniguchi H, Sekine S, Takayama T: Optical biopsy in real time by endocytoscopy: a case of juvenile polyp. *Endoscopy*. 2020 Apr;52(4): E142-E143 (29-A-13), 査読有
2. Kasuga K, Saito Y, Wu SYS, Takamaru H, Sakamoto T, Sekine S, Uraoka T: Impact of endoscopic submucosal dissection of an anal squamous intraepithelial lesion with indistinct border. *Endoscopy*. 2020 Feb;52(2):E75-E77. (29-A-13), 査読有
3. Kobayashi S, Yamada M, Takamaru H, Sakamoto T, Matsuda T, Sekine S, Igarashi Y, Saito Y. Diagnostic yield of the Japan NBI Expert Team (JNET) classification for endoscopic diagnosis of superficial colorectal neoplasms in a large-scale clinical practice database. *United European Gastroenterol J*. 2019 Aug;7(7):914-923.(29-A-13), 査読有
4. Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y: Reliability of Japan Narrow-Band Imaging Expert Team Classification for the Diagnosis of Colorectal Neoplasms: A Pilot Study. *Digestion*. 2019 Aug 8:1-6. (29-A-13), 査読有
5. Sakamoto T, Nakajima T, Matsuda T, Murakami Y, Ishikawa H, Yao K, Saito Y. Comparison of the diagnostic performance between magnifying chromoendoscopy and magnifying narrow-band imaging for superficial colorectal neoplasms: an online survey. *Gastrointest Endosc*. 2018 May;87(5):1318-1323. (23-A-19), 査読有

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Inoki K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y. The Diagnostic Performance for Colorectal Neoplasms Using Magnified Endoscopy Differs between Experts and Novice Endoscopists: A Post Hoc Analysis. *Digestion*. 2020;101(5):290-297. 査読有
2. Sakamoto T, Inoki K, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Saito Y. Efficacy of linked colour imaging in magnifying chromoendoscopy with crystal violet staining: a pilot study. *Int J Colorectal Dis*. 2019 Jul;34(7):1341-1344. 査読有
3. Sakamoto T, Tomizawa Y, Cho H, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Murakami Y, Saito Y. Additional value of linked color imaging in colonoscopy: a retrospective study. *Endosc Int Open*. 2019 Nov;7(11):E1448-E1454. 査読有
4. Sakamoto T, Ramaraj R, Tomizawa Y, Cho H, Matsuda T, Saito Y. Clinical significance of colorectal polyp detection on colonoscopy insertion. *United European Gastroenterol J*. 2019 Feb;7(1):125-129. 査読有
5. Sakamoto T, Saito Y, Nakamura F, Abe S, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nakajima T, Matsuda T, Yamagishi H, Kato H. Short-term outcomes following endoscopic submucosal dissection of large protruding colorectal neoplasms. *Endoscopy*. 2018 Jun;50(6):606-612. 査読有
6. Sakamoto T, Abe S, Yoshida MK, Tanaka Y, Saito Y: Endocuff-assisted underwater snare polypectomy in complex ascending colon neoplasia. *Endoscopy*. 2018 Jun;50(6):E136-E137. 査読有
7. 坂本琢、松田尚久、斎藤豊: TOPICS 拡大内視鏡を用いた早期大腸癌深達度診断に関する研究—Web 読影試験、*INTESTINE*、2018;22(6):612-613

(研究開始前学会発表)

記載なし

(研究開始前書籍)

記載なし

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

分担研究者：松元祐司

(研究開始前雑誌論文)

・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Okubo Y, Matsumoto Y, Nakai T, Tsuchida T, Asakura K, Motoi N, Watanabe S: The new transbronchial diagnostic approach for the metastatic lung tumor from renal cell carcinoma — a case report. *J Thorac Dis.* 2017;9(9):E762-E466. doi: 10.21037/jtd.2017.08.103 (29-A-13)
2. Nakai T, Matsumoto Y, Sasada S, Tanaka M, Tsuchida T, Ohe Y, Motoi N. Cryobiopsy during flexible rigid pleuroscopy: an emerging alternative biopsy method in malignant pleural mesothelioma. A comparative study of pathology. *Jpn J Clin Oncol.* 2019;49(6):559-566. (29-A-13)

・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Lao AM, Matsumoto Y, Tanaka M, Matsunaga T, Sasada S, Tsuchida T. Pleural cryobiopsy during local anaesthetic thoracoscopy in dry pleural dissemination. *Respirol Case Rep.* 2019 Nov 27;8(1):e00503.
2. Matsumoto Y, Izumo T, Sasada S, Tsuchida T, Ohe Y. Diagnostic utility of endobronchial ultrasound with a guide sheath under the computed tomography workstation (ziostation) for small peripheral pulmonary lesions. *Clin Respir J.* 2017 Mar;11(2):185-192.
3. Izumo T, Matsumoto Y, Sasada S, Chavez C, Nakai T, Tsuchida T. Utility of rapid on-site cytologic evaluation during endobronchial ultrasound with a guide sheath for peripheral pulmonary lesions. *Jpn J Clin Oncol.* 2017 Mar 1;47(3):221-225.
4. Hayama M, Izumo T, Chavez C, Matsumoto Y, Tsuchida T, Sasada S. Additional transbronchial needle aspiration through a guide sheath for peripheral pulmonary lesions that cannot be detected by radial EBUS. *Clin Respir J.* 2017 Nov;11(6):757-764
5. Nakai T, Izumo T, Matsumoto Y, Tsuchida T: Virtual fluoroscopy during transbronchial biopsy for locating ground-glass nodules not visible on X-ray fluoroscopy. *J Thorac Dis.* 2017;9(12):5493-5502.
6. Nakai T, Matsumoto Y, Suzuk F, Tsuchida T, Izumo T. Predictive factors for a successful diagnostic bronchoscopy of ground-glass nodules. *Ann Thorac Med.* 2017;12(3):171-176.
7. Lao AM, Matsumoto Y, Tanaka M, Matsunaga T, Sasada S, Tsuchida T. Pleural cryobiopsy during local anaesthetic thoracoscopy in dry pleural dissemination. *Respirol Case Rep.* 2019 Nov 27;8(1):e00503. 6. Hayama M, Izumo T, Chavez C, Matsumoto Y, Tsuchida T, Sasada S. Additional transbronchial needle aspiration through a guide sheath for peripheral pulmonary lesions that cannot be detected by radial EBUS. *Clin Respir J.* 2017 Nov;11(6):757-764.

(研究開始前学会発表)

1. Matsumoto Y: Interventional approaches to peripheral lung. Invited lecture. 3rd Annual Scientific Meeting of the Malaysian Association for Bronchoscopy & Interventional Pulmonology. 5th October,

- 2017, Le Meridien Putrajaya, Malaysia.
2. Matsumoto Y: Optimising yield in EBUS-TBNA. Invited lecture. 3rd Annual Scientific Meeting of the Malaysian Association for Bronchoscopy & Interventional Pulmonology. 5th October, 2017, Le Meridien Putrajaya, Malaysia.
 3. Matsumoto Y: Radial Probe EBUS –Methods and Results. Invited lecture and hands-on. The IASLC 18th Conference on Lung Cancer. 15th October, 2017, Pacifico Yokohama, Japan.
 4. Matsumoto Y, Nakai T, Takeda S, Nishida T, Tsuchida T: The novel transbronchial biopsy method for the peripheral pulmonary ground-glass nodule. Oral presentation. 7th Asian Pacific Congress on Bronchoscopy and Interventional Pulmonology. 3rd November, 2017, Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia.
 5. Takeda S, Matsumoto Y, Nakai T, Tsuchida T: Predictive Factors in Diagnostic Bronchoscopy for Pulmonary Metastatic Lesions. Oral presentation. 7th Asian Pacific Congress on Bronchoscopy and Interventional Pulmonology. 4th November, 2017, Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia.
 6. Higashiyama M, Matsumoto Y, Nakai T, Asakura K, Watamane S: The predicting risk factors for occult lymph node metastasis in clinical N0 primary lung cancer. 7th Asian Pacific Congress on Bronchoscopy and Interventional Pulmonology. 4th November, 2017, Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia.
 7. 松元祐司、中井俊之、土田敬明：末梢肺病変に対する気管支腔内超音波断層法併用気管支鏡における診断予測因子に関する検討。ワークショップ。第40回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2017/6/10、長崎ブリックホール、長崎市。
 8. 中井俊之、松元祐司、北川まゆみ、麻生智彦、土田敬明：末梢肺病変に対するX線透視を用いた新規三次元画像ガイドの開発。シンポジウム。第40回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2017/6/10、長崎ブリックホール、長崎市。
 9. Matsumoto Y, et al: A randomized control trial - the utility of virtual bronchoscopy using workstation to diagnostic bronchoscopy for peripheral pulmonary lesions -. Oral presentation. 20th World Congress for Bronchoscopy and Interventional Pulmonology. 15th June, 2018, Mayo Clinic, United States of America.
 10. Tateishi A, Matsumoto Y, et al: The utility of transbronchial rebiopsy for peripheral pulmonary lesions in advanced non-squamous, non-small cell lung cancer. Poster presentation. 20th World Congress for Bronchoscopy and Interventional Pulmonology. 14th June, 2018, Mayo Clinic, United States of America.
 11. Matsumoto Y, et al: Cryobiopsy - the utility in diagnostic bronchoscopy for ground-glass nodules -. Poster discussion. European Respiratory Society International Congress 2018. 17th September, 2018, Viparis Porte de Versailles, France.
 12. Higashiyama M, Matsumoto Y, et al: Recommendation of proper follow-up for peripheral pulmonary lesions with non-malignant result by bronchoscopy. Poster discussion. European Respiratory Society International Congress 2018. 16th September, 2018, Viparis Porte de Versailles, France.
 13. Nishida T, Matsumoto Y, et al: Feasibility study of cryobiopsy for practical pathological diagnosis including immunohistochemical assessment of primary lung cancer. Poster presentation. European Respiratory Society International Congress 2018. 17th September, 2018, Viparis Porte de Versailles, France.
 14. 松元祐司, 他：クライオ生検のすりガラス結節における有用性に関する検討。口頭発表。第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2018/5/25、京王プラザホテル、東京。
 15. 大久保祐, 松元祐司, 他：25G針を用いたEBUS-TBNAのリンパ節ステージングにおける有用性の検討。口頭発表。第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2018/5/24、京王プラザホテル、東京。
 16. 中井俊之, 松元祐司, 他：局所麻酔下胸腔鏡下クライオ生検の悪性胸膜中皮腫診断に対する有効性の検討。口頭発表。第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2018/5/24、京王プラザホテル、東京。
 17. 三好嗣臣, 松元祐司, 他：悪性胸水のセルブロック診断に関する比較検討～胸膜生検の代わりになりうるか～。奨励賞記念講演。第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2018/5/24、京王プラザホテル、東京。
 18. 立石晶子, 松元祐司, 他：進行非扁平上皮非小細胞肺癌における経気管支末梢肺生検の初回診断群と化学療法後再生検群の比較検討。口頭発表。第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会。2018/5/25、京王プ

- ラザホテル、東京。
19. 西田智喜, 松元祐司, 他: 原発性肺癌に対するクライオ生検の凍結による病理学的影響の検討. 口頭発表. 第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2018/5/25、京王プラザホテル、東京.
 20. 田中緑, 松元祐司, 他: 気管支鏡下生検によるPD・L1検査の有用性に関する検討. 口頭発表. 第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2018/5/25、京王プラザホテル、東京.
 21. 東山将大, 松元祐司, 他: 臨床病期N0の原発性肺癌における潜在的なリンパ節転移の予測因子に関する検討. 口頭発表. 第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2018/5/25、京王プラザホテル、東京.
 22. Matsumoto Y, et al: A pilot study – the potential of a new 25-gauge needle with a core-trap as transbronchial needle biopsy. Poster presentation. CHEST Congress 2019. 10th April, 2019, Queen Sirikit National Convention Center, Thailand.
 23. Matsumoto Y: Linear EBUS scope and associated tools. Lecture. 2nd Annual Conference of Amrita Bronchology & Interventional Pulmonology. 21st September, 2019, Convention Center at Hotel Highway Garden, India.
 24. Matsumoto Y: Radial EBUS – Procedure overview & case based learning. Lecture. 2nd Annual Conference of Amrita Bronchology & Interventional Pulmonology. 22nd September, 2019, Convention Center at Hotel Highway Garden, India.
 25. Matsumoto Y, et al: Cryobiopsy - a diagnostic breakthrough for peripheral pulmonary lesions –. Poster discussion. European Respiratory Society International Congress 2019. 29th September, 2019, IFEMA, Spain.
 26. Matsumoto Y: A fundamental study of radial endobronchial ultrasound images to clarify the existence of ground-glass nodules. Oral presentation. 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. 15th November, 2019, National Convention Center, Vietnam.
 27. Tanaka M, Matsumoto Y, et al: A feasibility study – a new 3 dimensional mapping of peripheral pulmonary nodules during bronchoscopy. Poster presentation. American Thoracic Society International Conference 2019. 19th May, 2019, Kay Bailey Hutchison Convention Center Dallas, United States of America.
 28. Tsujimoto Y, Matsumoto Y, et al: Diagnostic value of bronchoscopy for peripheral metastatic lung tumors. Poster presentation. European Respiratory Society International Congress 2019. 30th September, 2019, IFEMA, Spain.
 29. Nogawa H, Matsumoto Y: Diagnostic utility of bronchoscopy for peripheral pulmonary lesions with idiopathic pulmonary fibrosis. Oral presentation. 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. 15th November, 2019, National Convention Center, Vietnam.
 30. 松元祐司, 他: 末梢肺病変に対するクライオ生検のポテンシャル. 口頭発表. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2019/7/4、東京ドームホテル、東京.
 31. 土田敬明, 松元祐司, 他: 肺癌を疑う肺末梢病変の診断における気管支鏡下生検の役割. デイバート. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2019/7/4、東京ドームホテル、東京.
 32. 辻本佳恵, 松元祐司, 他: 転移性肺腫瘍に対するR-EBUS併用気管支鏡における診断関連因子の検討. 口頭発表. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2019/7/4、東京ドームホテル、東京.
 33. 田中緑, 松元祐司, 他: 局所麻酔下胸腔鏡検査におけるクライオ生検と高周波デバイス併用の意義. 口頭発表. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2019/7/5、東京ドームホテル、東京.
 34. 松元祐司: 国立がん研究センター中央病院における末梢肺病変に対するクライオ生検の工夫. シンポジウム. 第24回呼吸器インターベンションセミナー. 2019/11/23、水明館、岐阜.
 35. 土田敬明, 松元祐司, 他: 日帰りによる中心型早期肺癌光線力学的治療における安全性の検討. 口頭発表. 第24回呼吸器インターベンションセミナー. 2019/11/24、水明館、岐阜.

(研究開始前書籍)

記載なし

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

研究分担者：小林 望

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Suzuki H, Takizawa K, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Endo M, Nakagawa M, Toyonaga T, Doyama H, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Fujishiro M, Hashimoto S, Maeda Y, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Michida T, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Jin M, Hori S, Niwa Y, Hikichi T, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; For J-WEB/EGC group. Short-Term Outcomes of Multicenter Prospective Cohort Study of Gastric Endoscopic Resection: "Real-World Evidence" in Japan. *Dig Endosc.* (査読有) 2019 Jan;31(1):30-39. (25-A-12, 28-K-1, 29-A-13)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Nakanishi H, Doyama H, Ishikawa H, Uedo N, Gotoda T, Kato M, Nagao S, Nagami Y, Aoyagi H, Imagawa A, Kodaira J, Mitsui S, Kobayashi N, Muto M, Takatori H, Abe T, Tsujii M, Watari J, Ishiyama S, Oda I, Ono H, Kaneko K, Yokoi C, Ueo T, Uchita K, Matsumoto K, Kanetsaka T, Morita Y, Katsuki S, Nishikawa J, Inamura K, Kinjo T, Yamamoto K, Yoshimura D, Araki H, Kashida H, Hosokawa A, Mori H, Yamashita H, Motohashi O, Kobayashi K, Hirayama M, Kobayashi H, Endo M, Yamano H, Murakami K, Koike T, Hirasawa K, Miyaoka Y, Hamamoto H, Hikichi T, Hanabata N, Shimoda R, Hori S, Sato T, Kodashima S, Okada H, Mannami T, Yamamoto S, Niwa Y, Yashima K, Tanabe S, Satoh H, Sasaki F, Yamazato T, Ikeda Y, Nishisaki H, Nakagawa M, Matsuda A, Tamura F, Nishiyama H, Arita K, Kawasaki K, Hoppo K, Oka M, Ishihara S, Mukasa M, Minamino H, Yao K. Evaluation of an e-learning system for diagnosis of gastric lesions using magnifying narrow-band imaging: a multicenter randomized controlled study. *Endoscopy.* (査読有) 2017 Oct;49(10):957-967.

2. Iwatate M, Sano Y, Tanaka S, Kudo SE, Saito S, Matsuda T, Wada Y, Fujii T, Ikematsu H, Uraoka T, Kobayashi N, Nakamura H, Hotta K, Horimatsu T, Sakamoto N, Fu KI, Tsuruta O, Kawano H, Kashida H, Takeuchi Y, Machida H, Kusaka T, Yoshida N, Hirata I, Terai T, Yamano HO, Nakajima T, Sakamoto T, Yamaguchi Y, Tamai N, Nakano N, Hayashi N, Oka S, Ishikawa H, Murakami Y, Yoshida S, Saito Y; Japan NBI Expert Team (JNET). Validation study for development of the Japan NBI Expert Team classification of colorectal lesions. *Dig Endosc.* (査読有) 2018 Sep;30(5):642-651.

3. Wong JCT, Chiu HM, Kim HS, Byeon JS, Matsuda T, Kobayashi N, Wu DC, Ong DE, Sung JJJ; Asia-Pacific Working Group on Colorectal Cancer. Adenoma detection rates in colonoscopies for positive fecal immunochemical tests versus direct screening colonoscopies. *Gastrointest Endosc.* (査読有) 2018 Mar;89(3):607-613.

4. Sano Y, Chiu HM, Li XB, Khomvilai S, Pisespongsa P, Co JT, Kawamura T, Kobayashi N, Tanaka S, Hewett DG, Takeuchi Y, Imai K, Utsumi T, Teramoto A, Hirata D, Iwatate M, Singh R, Ng SC, Ho SH, Chiu P, Tajiri H. Standards of diagnostic colonoscopy for early-stage neoplasia: recommendations by an Asian private group. *Dig Endosc.* (査読有) 2018 May;31(3):227-244.

5. Minashi K, Nihei K, Mizusawa J, Takizawa K, Yano T, Ezoe Y, Tsuchida T, Ono H, Iizuka T, Hanaoka N, Oda I, Morita Y, Tajika M, Fujiwara J, Yamamoto Y, Katada C, Hori S, Doyama H, Oyama T, Nebiki H, Amagai K, Kubota Y, Nishimura K, Kobayashi N, Suzuki T, Hirasawa K, Takeuchi T, Fukuda H, Muto M. Efficacy of Endoscopic Resection and Selective Chemoradiotherapy for Stage I Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Gastroenterology.* (査読有) 2019 Aug;157(2):382-390.

6. Takeuchi Y, Mabe K, Shimodate Y, Yoshii S, Yamada S, Iwatate M, Kawamura T, Hotta K, Nagaike K, Ikezawa N, Yamasaki T, Komeda Y, Asai S, Abe Y, Akamatsu T, Sakakibara Y, Ikehara H, Kinjo Y, Ohta T, Kitamura Y, Shono T, Inoue T, Ohda Y, Kobayashi N, Tanuma T, Sato R, Sakamoto T, Harada N, Chino A, Ishikawa H, Nojima M, Uraoka T; Madowazu Study Group. Continuous Anticoagulation and Cold Snare Polypectomy Versus Heparin Bridging and Hot Snare Polypectomy in Patients on

Anticoagulants With Subcentimeter Polyps: A Randomized Controlled Trial. *Ann Intern Med.* (査読有) 2019 Aug;171(4):229-237.

7. Katada C, Yokoyama T, Yano T, Oda I, Shimizu Y, Doyama H, Koike T, Takizawa K, Hirao M, Okada H, Yoshii T, Kubota Y, Yamanouchi T, Tsuda T, Omori T, Kobayashi N, Suzuki H, Tanabe S, Hori K, Nakayama N, Kawakubo H, Kakushima N, Matsuo Y, Ishikawa H, Yokoyama A, Muto M. Association between macrocytosis and metachronous squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic resection in men with early esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus.* (査読有) 2020 Apr;17(2):149-158.

8. 小林 望, 松田尚久, 佐野 寧, 藤井隆広: 大腸腺腫摘除後のサーベイランス. *臨床消化器内科* (査読無) 第33巻第8号 975-980 2018

9. 小林 望, 小西 潤, 今野真己. FIT 陰性者に対する内視鏡検診の必要性. *Intestine* (査読無) 第23巻第5号 415-420 2019

10. 小林 望, 小西 潤, 今野真己. 腺腫でも 2cm 以上は一括切除が必要か? -NO. *消化器内視鏡* (査読無) 第31巻第10号 1524-1527 2019

(研究開始前学会発表)

1. 小林 望, 小西 潤, 今野真己: 早期大腸癌の深達度診断における JNET 分類の妥当性. 第25回 JDDW ワークショップ, 福岡, 2017/10/14

2. Kobayashi N. NBI detection & characterization of colorectal polyps. APDW2018 Invited lecture, Seoul, Korea, 2018/11/16

3. 小林 望, 小西 潤, 今野真己: 宇都宮市における胃内視鏡検診導入の成果と課題. 第27回 JDDW ワークショップ, 東京, 2019/11/21

4. 小林 望, 小西 潤, 今野真己: 大腸がん検診受診率向上を目指したがん専門病院での啓蒙活動の有効性. 第37回日本大腸検査学会シンポジウム, 東京, 2019/11/1

(研究開始前書籍)

1. 小林 望, 松田尚久: ポリープに対するマネジメントー内視鏡的ポリープ摘除後のサーベイランスについて. 日本消化器内視鏡学会監修, 下部消化管内視鏡スクリーニング検査マニュアル, 130-136, 医学図書出版, 東京, 2018.

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

研究代表者: 蓑田洋介

(研究開始前雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Minoda Y, Ihara E, Komori K, Ogino H, Otsuka Y, Chinen T, Tsuda T, Ando K, Yamamoto H, and Ogawa Y. Efficacy of endoscopic ultrasound with artificial intelligence for the diagnosis of gastrointestinal stromal tumors. *Journal of gastroenterology* 2020; 55: 1119-1126

2. Minoda Y, Chinen T, Osoegawa T, Itaba S, Haraguchi K, Akiho H, Aso A, Sumida Y, Komori K, Ogino H, Ihara E, Ogawa Y. Superiority of mucosal incision-assisted biopsy over ultrasound-guided fine needle aspiration biopsy in diagnosing small gastric subepithelial lesions: a propensity score matching analysis. *BMC Gastroenterol.* 2020; 20: 19.

3. Osoegawa T, Minoda Y, Ihara E, Komori K, Aso A, Goto A, Itaba S, Ogino H, Nakamura K, Harada N, Makihara K, Tsuruta S, Yamamoto H, Ogawa Y. Mucosal incision-assisted biopsy versus endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration with a rapid on-site evaluation for gastric subepithelial lesions:

A randomized cross-over study. Dig Endosc. 2019; 31: 413-421.

5. Minoda Y, Hisamatsu Y, Ihara E. Usefulness of preoperative site marking with an indocyanine green fluorescent clip for gastrointestinal stromal tumor. Dig Endosc. 2021; 33: e95-e96.

6. Minoda Y, Fujimori N, Ihara E. Forward-viewing endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using the clip-with-thread method for small gastric subepithelial lesions. Dig Endosc. 2019; 31: e103-e104.

(研究開始前学会発表)

1. 蓑田 洋介, 荻野 治栄, 伊原 栄吉. 胃粘膜下腫瘍に対する人工知能併用超音波内視鏡画像診断の有用性 第 28 回 JDDW 2020 年 11 月, 神戸

2. 蓑田 洋介, 荻野 治栄, 伊原 栄吉. 胃粘膜下腫瘍に対する人工知能を用いた超音波内視鏡画像診断能の検討. 第 99 回内視鏡学会総会 2020 年 8 月, 京都

3. 蓑田 洋介, 小森 圭司, 西岡 慧, 和田 将史, 畑 佳孝, 大塚 宜寛, 長友 周三郎, 水流 大堯, 竹島 翼, 丸山 薫, 荻野 治栄, 津田 康雄, 沖 英次, 伊原 栄吉. 消化管粘膜下腫瘍における治療戦略 胃粘膜下腫瘍に対する人工知能併用超音波内視鏡画像診断能の検討. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会, 2020 年 6 月, 福岡

(研究開始前書籍)

記載なし

(研究開始前知的財産権)

記載なし

(研究開始前政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

1 年次

研究代表者: 吉永 繁高

(1 年次雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Takamaru H, Yoshinaga S, Takisawa H, Oda I, Katai H, Sekine S, Taniguchi K, Saito Y. Endoscopic Ultrasonography Miniature Probe Performance for Depth Diagnosis of Early Gastric Cancer with Suspected Submucosal Invasion. Gut Liver. 2020; 14(5): 581-588. 査読有

2. Miyamoto Y, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Mano H, Saito Y. Safety and Usefulness of Endoscopic Submucosal Dissection for Early Esophageal Cancers in Elderly Patients Aged 80 Years or Older. Esophagus. 2021 Jan;18(1):81-89.. 査読有

3. Takamaru H, Kawaguchi Y, Oda I, Sekiguchi M, Yamada M, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y. A New Reliable Acoustic Respiratory Monitoring Technology During Upper Gastrointestinal Tract Therapeutic Endoscopy with CO₂ Insufflation. J Clin Monit Comput. 2021 Aug;35(4):877-884. doi: 10.1007/s10877-020-00547-2. Epub 2020 Jun 15. 査読有

4. Abe S, Wu SYS, Ego M, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nonaka S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Matsuda T, Oda I, Saito Y. Efficacy of Current Traction Techniques for Endoscopic Submucosal Dissection. Gut Liver. 2020 Nov 15;14(6):673-684. 査読有

5. 小山 洋平, 吉永 繁高, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 橋本 大輝, 関根 茂樹, 斎藤 豊. 【スキルス胃癌・病態と診断・治療の最前線】スキルス胃癌の内視鏡診断. 胃と腸 55 巻 6 号 Page795-802, 2020.

6. 中沢 啓, 吉永 繁高, 関根 茂樹, 岡村 卓真, 奥田 奈央子, 小山 洋平, 福士 剛蔵, 山崎 嵩之, 春日 健吾, 川島 一公, 水口 康彦, 張 萌琳, 江郷 茉衣, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 斎藤 豊. 【H. pylori 未感染胃の上皮性腫瘍】H. pylori 未感染胃上皮性腫瘍の内視鏡的特徴 胃型腺腫(幽門腺腫). 胃と腸 55 巻 8 号 Page1036-1042, 2020.

7. 吉永 繁高, 小田 一郎, 江郷 茉衣, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 斎藤 豊, 永村 良二. 【一度見たら忘れられない症例】先天性十二指腸膜様狭窄症. 胃と腸 55 巻 9 号 Page1158-1161, 2020.

(1 年次学会発表)

- ・第 99 回日本消化器内視鏡学会 (2020 年 9 月 2,3 日)
症例検討 1 上部消化管 読影者
一般演題「診断に苦慮し 4 年間に渡り経過を追った食道類基底細胞癌の 1 例」(誌上発表)

(1 年次書籍)

- ・吉永繁高 百症例式 早期胃癌・早期食道癌 内視鏡拾い上げ徹底トレーニング 医学書院、東京、2021 年 3 月 13 日

(1 年次知的財産権)

1. 職務発明 整理番号: 2020-07、発明の種類: 医療用吸引器具、国立がん研究センターにおける共同発明者: 研究所 がんゲノミクス研究分野 客員研究員 谷内田真一 50%、中央病院内視鏡科 吉永繁高 50% (住友ベークライト社、大阪大学 谷内田真一先生と共同開発、既に国立がん研究センターに特許権を譲渡済み)

(1 年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(1 年次その他)

記載なし

研究分担者 斎藤 豊

(1 年次雑誌論文)

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの(全件査読あり)
- 1. Saito Y, Ono A: Endoscopic submucosal dissection is not for the interest of endoscopists but for the patients cure. Dig Endosc. 2020 Sep;32(6):888-890. (29-A-13)
- 2. Takamaru H, Goto R, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y: Predicting and managing complications following colonoscopy: risk factors and management of advanced interventional endoscopy with a focus on colorectal ESD. Expert Rev Med Devices. 2020 Sep;17(9):929-936. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A-13)
- 3. Ichijima R, Abe S, Kobayashi S, Minagawa T, Tagawa T, Nakajima T, Yamada M, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Oda I, Matsuda T, Saito Y, Gotoda T: Efficacy of Full-Spectrum Endoscopy to Visualize the Major Duodenal Papilla in Patients with Familial Adenomatous Polyposis. Digestion. 2020;101(5):563-570. 2020 年 9 月発行 (28-K-1 and 29-A-13)
- 4. Sekiguchi M, Igarashi A, Sakamoto T, Saito Y, Esaki M, Matsuda T: Cost-effectiveness analysis of colorectal cancer screening using colonoscopy, fecal immunochemical test, and risk score. J Gastroenterol Hepatol. 2020 Sep;35(9):1555-1561. (31-A-25 and 30-A-16)
- 5. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Matsumoto M, Nakamura K, Mizuguchi Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T: Prevalence of serrated lesions, risk factors, and their association with synchronous advanced colorectal neoplasia in asymptomatic screened individuals. J Gastroenterol Hepatol. 2020 Nov;35(11):1938-1944. (30-A-16)
- 6. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Nakamura K, Matsumoto M, Tomizawa Y, Murakami Y, Saito Y, Matsuda T: Family history of colorectal cancer and prevalence of advanced colorectal neoplasia in asymptomatic screened populations in different age groups. Gastrointest Endosc. 2020 Jun;91(6):1361-1370. (30-A-16)
- 7. Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y: Reliability of Japan Narrow-Band Imaging Expert Team Classification for the Diagnosis of Colorectal Neoplasms: A Pilot Study. Digestion. 2020;101(5):638-643. (29-A-13) 2020 年 9 月発行
- 8. Takamaru H, Yoshinaga S, Takisawa H, Oda I, Katai H, Sekine S, Taniguchi K, Saito Y: Endoscopic

- Ultrasonography Miniature Probe Performance for Depth Diagnosis of Early Gastric Cancer with Suspected Submucosal Invasion. *Gut Liver*. 2020 Sep 15;14(5):581-588. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A-13)
9. Erawijantari PP, Mizutani S, Shiroma H, Shiba S, Nakajima T, Sakamoto T, Saito Y, Fukuda S, Yachida S, Yamada T: Influence of gastrectomy for gastric cancer treatment on faecal microbiome and metabolome profiles. *Gut*. 2020 Aug;69(8):1404-1415. (29-A-13)
 10. Kadota T, Ikematsu H, Sasaki T, Saito Y, Ito M, Mizutani T, Ogawa G, Shitara K, Ito Y, Kushima R, Kanemitsu Y, Muto M: Protocol for a single-arm confirmatory trial of adjuvant chemoradiation for patients with high-risk rectal submucosal invasive cancer after local resection: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1612 (RESCUE study). *BMJ Open*. 2020 Jul 14;10(7): e034947. (29-A-3)
 11. Cho H, Yamada M, Sekine S, Tanabe N, Ushiyama M, Hirata M, Ogawa G, Gotoh M, Yoshida T, Yoshikawa T, Saito Y, Kuchiba A, Oda I, Sugano K: Gastric cancer is highly prevalent in Lynch syndrome patients with atrophic gastritis. *Gastric Cancer*. 2021 Mar; 24(2); 283-291. (25-A-1, 31-A-2)
 12. Maehara K, Hijioka S, Nagashio Y, Ohba A, Maruki Y, Suzuki H, Sone M, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy or hepaticojejunostomy without dilation using a stent with a thinner delivery system. *Endosc Int Open*. 2020 Aug;8(8): E1034-E1038. (31-A-13)
 13. Nagashio Y, Hijioka S, Kanai Y, Ohba A, Maruki Y, Okusaka T, Saito Y: Novel side-by-side metal stent placement for recurrent hepatic hilar obstruction after placement of multiple metal stents. *Endoscopy*. 2020 Sep;52(9): E330-E332. (31-A-13)
 14. Maehara K, Hijioka S, Nagashio Y, Ohba A, Kanai Y, Okusaka T, Saito Y: Simultaneous endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy and bridging stenting with partial stent-in-stent method. *Endoscopy*. 2020 Oct;52(10): E381-E382 (31-A-13)
- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの(全件査読あり)
15. Kato M, Tanaka K, Kida M, Ryozaawa S, Matsuda K, Fujishiro M, Saito Y, Ohtsuka K, Oda I, Katada C, Kobayashi K, Hoteya S, Horimatsu T, Kodashima S, Matsuda T, Muto M, Yamamoto H, Iwakiri R, Kutsumi H, Miyata H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H: Multicenter database registry for endoscopic retrograde cholangiopancreatography: Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc*. 2020 May;32(4):494-502.
 16. Nishimura M, Saito Y, Nakanishi Y, Shia J, Lauwers GY, Wallace MB: Pathology definitions and resection strategies for early colorectal neoplasia: Eastern versus Western approaches in the post-Vienna era. *Gastrointest Endosc*. 2020 May;91(5):983-988.
 17. Saito Y, Parra-Blanco A: Traction is most important for the widespread use of endoscopic submucosal dissection, especially in procedures presenting particular difficulty. *Endoscopy*. 2020 May;52(5):328-329.
 18. Ego M, Yamada M, Saito Y: MLH1-positive sessile serrated lesion and an adenocarcinoma that is hiding the submucosal invasion. *Jpn J Clin Oncol*. 2020 Jul 9;50(7):834-835.
 19. Yoshida N, Hisabe T, Ikematsu H, Ishihara H, Terasawa M, Inaba A, Sato D, Cho H, Ego M, Tanaka Y, Yasuda R, Inoue K, Murakami T, Inada Y, Itoh Y, Saito Y: Comparison Between Linked Color Imaging and Blue Laser Imaging for Improving the Visibility of Flat Colorectal Polyps: A Multicenter Pilot Study. *Dig Dis Sci*. 2020 Jul;65(7):2054-2062.
 20. Kudo SE, Misawa M, Mori Y, Hotta K, Ohtsuka K, Ikematsu H, Saito Y, Takeda K, Nakamura H, Ichimasa K, Ishigaki T, Toyoshima N, Kudo T, Hayashi T, Wakamura K, Baba T, Ishida F, Inoue H, Itoh H, Oda M, Mori K: Artificial Intelligence-assisted System Improves Endoscopic Identification of Colorectal Neoplasms. *Clin Gastroenterol Hepatol*. 2020 Jul;18(8):1874-1881.e2.
 21. Takamaru H, Wu SYS, Saito Y: Endocytoscopy: technology and clinical application in the lower GI tract. *Transl Gastroenterol Hepatol*. 2020 Jul 5; 5:40. doi: 10.21037/tgh.2019.12.04. eCollection 2020.
 22. Abe S, Saito Y, Tanaka Y, Ego M, Yanagisawa F, Kawashima K, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Goto O, Yahagi N: A novel endoscopic hand-suturing technique for defect closure after colorectal endoscopic submucosal dissection: a pilot study. *Endoscopy*. 2020

- Sep;52(9):780-785.
23. Inoki K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Matsuda T, Saito Y : The Diagnostic Performance for Colorectal Neoplasms Using Magnified Endoscopy Differs between Experts and Novice Endoscopists: A Post Hoc Analysis. *Digestion*. 2020;101(5):590-597. 2020年9月発行
 24. Okamura T, Hashimoto T, Naka T, Yoshida T, Tanabe N, Ogawa R, Yamada M, Saito Y, Yatabe Y, Sekine S: Clinicopathologic and Molecular Characteristics of Familial Adenomatous Polyposis-associated Traditional Serrated Adenoma. *Am J Surg Pathol*. 2020 Sep;44(9):1282-1289.
 25. Yachida T, Oda I, Abe S, Sekiguchi M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Masugata H, Masaki T, Daiko H, Saito Y: Risk of Lymph Node Metastasis in Patients with the Superficial Spreading Type of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Digestion*. 2020;101(3):239-244. 2020年5月発行
 26. Cho H, Budhathoki S, Kanehara R, Goto A, Yamaji T, Kakugawa Y, Saito Y, Matsuda T, Iwasaki M, Tsugane S: Association between dietary sugar intake and colorectal adenoma among cancer screening examinees in Japan. *Cancer Sci*. 2020 Oct;111(10):3862-3872.
 27. Kasuga K, Sakamoto T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Yamazaki N, Hashimoto T, Uraoka T, Saito Y: Endoscopic reduction of colocolonic intussusception due to metastatic malignant melanoma: A case report. *World J Clin Cases*. 2020 Nov 26;8(22):5816-5820.
 28. Itoh H, Nimura Y, Mori Y, Misawa M, Kudo SE, Hotta K, Ohtsuka K, Saito S, Saito Y, Ikematsu H, Hayashi Y, Oda M, Mori K: Robust endocytoscopic image classification based on higher-order symmetric tensor analysis and multi-scale topological statistics. *Int J Comput Assist Radiol Surg*. 2020 Dec;15(12):2049-2059.
 29. Pioche M, Saito Y: Considerable practice variation in use of pathological high-risk T1-CRC criteria: Why, and how to do better? *Endosc Int Open*. 2020 Oct;8(10): E1502-E1503.
 30. Mori Y, Kudo SE, East JE, Rastogi A, Bretthauer M, Misawa M, Sekiguchi M, Matsuda T, Saito Y, Ikematsu H, Hotta K, Ohtsuka K, Kudo T, Mori K: Cost savings in colonoscopy with artificial intelligence-aided polyp diagnosis: an add-on analysis of a clinical trial (with video). *Gastrointest Endosc*. 2020 Oct;92(4):905-911.e1.
 31. Bhandari P, Subramaniam S, Bourke MJ, Alkandari A, Chiu PWY, Brown JF, Keswani RN, Bisschops R, Hassan C, Raju GS, Muthusamy VR, Sethi A, May GR, Albéniz E, Bruno M, Kaminski MF, Alkhatry M, Almadi M, Ibrahim M, Emura F, Moura E, Navarrete C, Wulfson A, Khor C, Ponnudurai R, Inoue H, Saito Y, Yahagi N, Kashin S, Nikonov E, Yu H, Maydeo AP, Reddy DN, Wallace MB, Pochapin MB, Rösch T, Sharma P, Repici A: Recovery of endoscopy services in the era of COVID-19: recommendations from an international Delphi consensus. *Gut*. 2020 Nov;69(11):1915-1924.
 32. Maruki Y, Hijioka S, Wu SYS, Ohba A, Nagashio Y, Kondo S, Morizane C, Ueno H, Okusaka T, Saito Y: Novel endoscopic technique for trisegment drainage in patients with unresectable hilar malignant biliary strictures (with video). *Gastrointest Endosc*. 2020 Sep;92(3):763-769.
 33. Abe S, Wu SYS, Ego M, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Nonaka S, Sakamoto T, Suzuki H, Yoshinaga S, Matsuda T, Oda I, Saito Y: Efficacy of Current Traction Techniques for Endoscopic Submucosal Dissection. *Gut Liver*. 2020 Nov 15;14(6):673-684.
 34. Uraoka T, Tanaka S, Saito Y, Matsumoto T, Kuribayashi S, Hori K, Tajiri H: Computer-assisted detection of diminutive and small colon polyps by colonoscopy using an extra-wide-area-view colonoscope. *Endoscopy*. 2021 Mar;53(3):E102-E103. doi: 10.1055/a-1202-1277. PMID: 32659811
 35. Kudo SE, Ichimasa K, Villard B, Mori Y, Misawa M, Saito S, Hotta K, Saito Y, Matsuda T, Yamada K, Mitani T, Ohtsuka K, Chino A, Ide D, Imai K, Kishida Y, Nakamura K, Saiki Y, Tanaka M, Hoteya S, Yamashita S, Kinugasa Y, Fukuda M, Kudo T, Miyachi H, Ishida F, Itoh H, Oda M, Mori K: Artificial Intelligence System to Determine Risk of T1 Colorectal Cancer Metastasis to Lymph Node. *Gastroenterology*. 2021 Mar;160(4):1075-1084.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2020.09.027. PMID: 32979355
 36. Miyamoto Y, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Mano H, Saito Y: Safety and usefulness of endoscopic submucosal dissection for early esophageal cancers in elderly patients aged 80 years or older. *Esophagus*. 2021 Jan;18(1):81-89. doi: 10.1007/s10388-020-00750-9. PMID:

32472275

37. Kanamori J, Abe S, Kurita D, Ishiyama K, Hirano Y, Oguma J, Oda I, Saito Y, Daiko H: Minimally invasive hybrid surgery: A salvage tumor enucleation for local recurrence of thoracic esophageal carcinoma after definitive chemoradiotherapy. *Asian J Endosc Surg*. 2020 Jul 6. doi: 10.1111/ases.12830. 2021 Jan;14(1):77-80.
38. Abe S, Bhatt A, Saito Y: The journey to develop the ideal submucosal injection solution for endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc*. 2021 Feb;93(2):514-516.
39. 江郷茉衣、斎藤豊: 特集 ここまで治る 早期大腸がんの内視鏡治療 7. ESDのコツとピットフォー
ル、偶発症対策、消化器内科、2021(1月): 3(1): 65-72
40. 関口正宇、斎藤豊 (2番目)、松田尚久 (3番目)、他6名: [総論] 大腸内視鏡スクリーニングとサーベ
イランスガイドの要点、消化器内視鏡、2021(1月): 33(1): 25-32.
41. 角川康夫、高丸博之、斎藤豊: [小腸 観察] カプセル内視鏡読影—短期間で行うコツ、消化器内視鏡、
2021(2月): 33(2): 378-380.
42. 高丸博之、斎藤豊: [大腸 挿入] 左側臥位から仰臥位へのタイミングはいつがベスト? 消化器内視
鏡、2021(2月): 33(2): 388-389.
43. 高丸博之、角川康夫、斎藤豊: [大腸 挿入] 先端フードの長さはどのくらいがよいの? 消化器内視
鏡、2021(2月): 33(2): 390-393.
44. 坂本琢、松田尚久、斎藤豊: [大腸 診断] 拡大 NBI/BLI & pit pattern —どう診断?—、消化器内視
鏡、2021(2月): 33(2): 409-411.
45. 阿部清一郎、斎藤豊: [大腸 治療] 上部消化管メインの内視鏡医でもできる大腸 ESD、消化器内視鏡、
2021 (2月): 33(2): 418-419.
46. 斎藤豊、岡志郎、河村卓二、下田良、関口正宇、玉井尚人、堀田欣一、松田尚久、三澤将史、田中信
治、入口陽介、野崎良一、山本博徳、吉田雅博、藤本一眞、井上晴洋: 大腸内視鏡スクリーニングとサ
ーベイランスガイドライン、*Gastroenterological Endoscopy*、2020 : 62 (8) : 1519-1560.
47. 斎藤豊、阿部清一郎、高丸博之: ESD 後の経過観察—ESD 後のアフターケアは慎重に、消化器内視
鏡、2020 : 32 (9) : 1244-1247.
48. 上野秀樹、味岡洋一、池 秀之、斎藤豊 (16番目)、他全29名 (大腸癌研究会大腸癌取り扱い規約
改訂委員会): State of the art 大腸癌取り扱い規約 第9版 [大腸癌取り扱い規約 — 次期改訂に向け
て]、大腸がん perspective, 2020:4(4): (315)55-(321)61.
49. 斎藤豊、星原芳雄: 連載 「AI 内視鏡の現状」を終えて、消化器内視鏡、2020 : 32 (10) : 1617-1619.
50. 江郷茉衣、斎藤豊: 大腸の画像強調内視鏡診断法、消化器内視鏡、2020 : 32 (4) : 604-610.
51. 水口康彦、斎藤豊: 鋸歯状病変の Pit pattern 診断の基礎と実践、消化器内科、2020 : 2 (8) : 27-36.
52. 坂本琢、中村佳子、張萌琳、小田一郎、斎藤豊: 企業との AI 開発共同研究、消化器内視鏡、2020 : 32
(8) : 1226-1229.
53. 斎藤豊、阿部清一郎、高丸博之: 消化管早期癌の内視鏡治療の進歩 上部～下部、日本消化管学会雑
誌、2020 : 4 (1) : 6-14.

(1年次学会発表)

1. Saito Y. Endoscopic ESD - how to PCM or Tunneling -. Lecture, online keynote speech.
Oral Presentation by Web from NCCH, Tokyo. 8th West Lake Forum of Digestive Endoscopy 2020, 23rd
Jun, 2020, The Second Affiliated Hospital Zhejiang University School of Medicine, Hangzhou, Zhejiang,
China.
2. Saito Y. 1) Role of IEE for Colorectal polyp. 2) How to choose appropriate polyp removal technique:
Polypectomy EMR and ESD? 3) Case sharing and discussion: Lower GI. 1) & 2) Lectures at LGI
Session. 3) Case discussion. Oral Presentations by Zoom Webinar from NCCH, Tokyo. 5th
Thailand ANBIIG Workshop (Webinar), 1) & 2) 27th Jun, 3) 11th Jul, 2020, Webinar platform: Zoom,
Local Organizer: Thai Association for Gastrointestinal Endoscopy (TAGE).
3. Saito Y. 1) Challenging ESD/EMR in colon. 2) Difficult ESD: Tips and tricks.
1) Live demo video commentary. 2) Lecture and discussion at Session <Colon>, New Colonoscopy
Technologies. Oral Presentations from Tokyo. YES on AIR 2020, 20th International Endoscopy Workshop
(online), 1) 3rd, 2) 4th Jul, 2020, Yaroslavl, Russia.
4. Saito Y. 1) ESD in colon at the National Cancer Center, Tokyo. 2) The standards of the endoscopic

- diagnosis and treatment for early colon cancer. 3) Two experts talk on How to manage a big flow of cancer patients on a daily basis. 1) Live demo. 2) Lecture. 3) Experts' discussion. Oral Presentations from NCCH, Tokyo. Expert's webinar "Diagnosis and treatment of early gastrointestinal cancer", National Cancer Center, Tokyo and N.N. Blokhin National Medical Research Center of Oncology, Moscow. 8th Sep, 2020, N.N. Blokhin National Medical Research Center of Oncology, Moscow, Russia.
5. Saito Y. 1) Young GI Mentoring. 2) Anticoagulation and polypectomy. 1) Chair (Mentor) for Live Chat. 2) Lecture (IP068) at the session, Challenges in lower GI bleeding, Live Symposium. Oral Presentations from Tokyo. UEG Week Virtual 2020, 11th Oct, 2020, United European Gastroenterology (UEG), Vienna, Austria.
 6. Saito Y. MIS techniques in border early gastric cancer lesions. Lecture at the Session 4, Stomach and EGJ diseases and minimally invasive surgical approach. Oral Presentation from Tokyo. 2nd International Congress of Minimally Invasive Surgery (Virtual Meeting). 16th Oct, 2020, Medical University of Lublin, Lublin, Poland.
 7. Saito Y. 大腸腫瘍の内視鏡診断の基本と治療法選択 Endoscopic diagnosis and treatment strategy for colorectal tumors. Lecture. Oral Presentation from Tokyo. 早期癌診断・治療 日中国際交流プログラム 北京大学第三医院 Online Pre Meeting, 17th Oct, 2020, 北京大学第三医院, Beijing, China.
 8. Saito Y. Panel Discussion at the Session 3: Rapid Fire Session: Showcasing What is Here! Oral Presentation from Tokyo, ASGE Gastroenterology and Artificial Intelligence: 2nd Annual Artificial Intelligence Summit (Virtual), 17th Oct, 2020, American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), Downers Grove, IL, USA.
 9. Saito Y. How to Train Fellow of Endoscopy Center & Close Collaboration between Endoscopy Division & Pathology Division. Oral Presentation from NCCH, Tokyo. Almazov National Medical Research Centre 40th Anniversary Conference, 23rd Oct, 2020. Almazov National Medical Research Centre, Saint Petersburg, Russia.
 10. Saito Y. EMR vs ESD (Aihara vs Saito). Debate at the Session 1: Luminal Endoscopy. Oral Presentation from Tokyo. HITEC 2020, Hopkins International Therapeutic Endoscopy Course (Virtual). 31st Oct, 2020, Johns Hopkins School of Medicine, Baltimore, Maryland, USA.
 11. Saito Y. Colon (including management of perforation during and after ESD). Lecture at Questions and Answers. Oral Presentation from Tokyo. Virtual Courses, ASGE Advanced ESD Course. 31st Oct, 2020, American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), Downers Grove, IL, USA.
 12. Saito Y. Endoscopic submucosal dissection, indications, techniques and outcomes. Lecture and Live Q&A at Session, ENDOSCOPIC RESECTION OF COLORECTAL POLYPS. Oral Presentations from Tokyo. Kings' Live 2020 Virtual. 11th Nov, 2020, King's College Hospital, London, UK. < Online 開催 >
 13. Saito Y. Detection and Characterization of Colorectal Tumors. Lecture at the Session: "Innovative endoscopy in oncology of GI tract". Oral Presentation from Tokyo. The 24th Russian Oncological Congress (held online), 14th Nov, 2020, Russian Society of Clinical Oncology (RUSSCO), Russia.
 14. Saito Y. 大腸早期腫瘍性病変の診断治療. 講演 東京から日本語で講演 (通訳あり). 11th Tongde International Academic Week 同徳国際学術週間- 中医学・西洋医学統合 消化管癌予防治療に関する会議 (by web). 21st Nov, 2020, Tongde Hospital of Zhejiang Province, 浙江省立同徳醫院 (from Tokyo). 浙江省杭州市, China < Online 開催 >
 15. Saito Y. AI for GI cancer, ESD for colorectal LSTs (Standard methods with retroflex). Lecture at the Symposium, JGES-SOBED. Oral Presentation from Tokyo. XIX SBAD - Brazilian Digestive Disease Week (held online). 22nd Nov, 2020, SBAD Brazilian Digestive Disease Week. Brazil < Online 開催 >
 16. Saito Y. From Imaging to Resection: The Complete Roadmap in Handling Colorectal Lesions. Lecture at MSGH Special Lecture and University of Malaya 22nd Distinguished Endoscopy Lecture. Oral Presentation from Tokyo. Virtual GUT 2020 - Annual Scientific Meeting of Malaysian Society of Gastroenterology & Hepatology (MSGH). 27th Nov, 2020, The Malaysian Society of Gastroenterology and Hepatology. Kuala Lumpur, Malaysia < Online 開催 >
 17. Saito Y. 1) Characterisation of colorectal polyps using JNET and NICE clarifications: practical tips and tricks. 2) Colorectal ESD. 1) Lecture. 2) Case with live narration, at Live case 2. Oral

- Presentations from Tokyo. Kent Course 2020 (by web). 15th Dec, 2020, Queen Elizabeth The Queen Mother Hospital (from Tokyo). Kent, UK <Online 開催>
18. Saito Y. CRC management, early diagnosis and treatment in Japan. Lecture at Symposium: Exchange of Japan/Russia experiences on CRC management. Oral Presentation from Tokyo. Japan-Russia symposium on colorectal cancer management (held online). 19th Jan, 2021, 在ロシア日本国大使館／オリンパス・モスクワ事務所 (ロシア側会場)、コモレ四谷タワーコモレ四谷 タワーコンファレンス Room E (日本側会場) . <Online 開催: 公式言語 日本語／ロシア語 通訳あり>
 19. Saito Y. Colorectal ESD - Video Cases. Lecture at Online Video session. Oral Presentation from Tokyo. webinar II Giappone incontra l'Italia - Nuove tecniche in endoscopia. 26th Jan, 2021. Milano, Italy. <Online 開催>
 20. Saito Y. Characterization and ESD for laterally Spreading tumor. Lecture, Oral Presentation from Tokyo. XXVII Curso Internacional de Gastroenterología y Endoscopia Digestiva avanzada (Virtual, XXVII Endoscopy Course). 30th Jan, 2021, Bogotá – Colombia. <Online 開催>
 21. Saito Y. The endoscopy training for gastroenterology fellow in Japan. Lecture at Panel on how best to provide endoscopy training in our region and during this period of Covid-19 pandemic. Oral Presentation from Tokyo. 25th Endoscopy Club E-Conference (ECE) “Advances and Challenges in Endoscopy Training”. 3rd Feb, 2021, Bangkok, Thailand. <Online 開催>
 22. Saito Y. Endoscopic detection and characterization for colorectal laterally spreading tumors using LCI/BLI/AI. Lecture, Oral Presentation from Tokyo. New Era of Digestive Endoscopy with LCI and BLI. 25th Feb, 2021, Korea <Online 開催>
 23. Saito Y. Detection and characterization of early colorectal cancer. Lecture, Oral Presentation from Tokyo. Russia-Japan Oncology Education Project Early cancer diagnosis in Lower GI Webinar. 3rd Mar, 2021, 厚労省日露医療協力事業ウェビナー (プロヒン記念がん研究所対象) <Online 開催>
 24. Saito Y. Real-time endoscopic diagnosis using deep learning technology and ESD for lower GI neoplasms. Lecture at Session 5, Oral presentation from Tokyo. JAPAN HEALTHCARE UPDATE CONFERENCE (Virtual). 5th Mar, 2021, Abu Dhabi, UAE <Online 開催>
 25. Saito Y. Detection and characterization of early colorectal cancer. Lecture, Oral Presentation from Tokyo. Russia-Japan Oncology Educational Project Early cancer diagnosis in Lower GI (Webinar). 15th Mar, 2021, 厚労省日露医療協力事業ウェビナー (ゲルツェン記念モスクワがん研究所対象) <Online 開催>
 26. Saito Y. Prevention, diagnosis and treatment of adverse events and complications after the endoscopic interventions in the Lower-GI Tract. Lecture at Japanese Expert Session, Oral Presentation from Tokyo. XXII Japan-Russia/JRMEF Symposium (第 22 回日露内視鏡医療シンポジウム). 20th Mar, 2021, Saint-Petersburg, Russia <Online 開催>
 27. Saito Y. Detection and characterization of colorectal tumors using LCI/BLI/CAD-EYE technology. Lecture, Oral presentation from Tokyo. DEST&TDDW Satellite Symposium (2021 台湾消化系醫學會/台湾消化醫學週). 28th Mar, 2021, 台湾・中国医薬大学病院講堂 <Online 開催>
 28. 齋藤豊：講演 12 「大腸腫瘍に対する内視鏡診断と治療」、第 44 回日本消化器内視鏡学会セミナー (Web 開催)、配信期間：2020/9/30～10/28 事前収録 (リモート参加)
 29. 齋藤豊：教育シンポジウム I 講演「大腸腫瘍の発見・診断の現状と将来 ～AI によるリアルタイム内視鏡診断サポートシステム～」、AI 技術が切り拓く新たなリウマチ学に向けた教育シンポジウム (Web 開催)、2020/9/27 (当日はリモート参加)
 30. 齋藤豊、坂本琢、松田尚久：統合プログラム 1(W) 主題・指定演題「消化器内視鏡診療におけるパラダイムシフト：AI やロボットは内視鏡診療をどこまで変えるか?」、JDDW 2020, Kobe (第 28 回日本消化器関連学会週間)、ハイブリッド開催、2020/11/5 (会場参加)、神戸コンベンションセンター 第 8 会場、神戸市
 31. 齋藤豊：サテライトシンポジウム 74 演者「大腸内視鏡診療の現場で期待される AI とは」、JDDW 2020 Kobe 共催：ギリアド・サイエンシズ (株)、第 24 回日本肝臓学会大会、ハイブリッド開催、2020/11/5 (会場参加)、神戸コンベンションセンター 第 5 会場、神戸市
 32. 齋藤豊：高齢者における大腸内視鏡サーベイランス、高齢講演 4 (下部消化管・大腸癌)、日本高齢消化器病学会／日本がん検診・診断学会共催セミナー ～COVID-19 時代の高齢者消化器病対策とがん検診の展望～、2020/12/05、WEB 開催、ライブ配信：2020/12/5、オンデマンド配信期間：2020/12/14～

- 2021/1/8、※リモート参加（自宅）
33. 齋藤豊：教育シンポジウム I 演者「大腸腫瘍の発見・診断の現状と将来 ～AIによるリアルタイム内視鏡診断サポートシステム～」、AI 技術が切り拓く新たなリウマチ学に向けた教育シンポジウム（Web 開催）、2021/1/24、※リモート参加（自宅）
 34. 齋藤豊：大腸内視鏡診断・治療、AI、講演、第 32 回日本消化器内視鏡学会甲信越セミナー、2021/1/24、WEB 開催（オンデマンド方式）※リモート参加（自宅）
 35. 齋藤豊：講演 2：大腸内視鏡診療における人工知能(AI)の展望と期待、第 128 回日本消化器病学会北海道支部例会・第 122 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 ランチョンセミナーLS2、第 2 会場（TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通り）、2021/3/6、札幌市、（現地開催、および Web 開催・配信のハイブリッド形式）※現地参加
 36. 齋藤豊：国立がん研究センター中央病院内視鏡科における医療機器開発、講演、東京都医工連携 HUB 機構 令和 2 年度 医工連携セミナー、2021/3/16、オンライン開催、※リモート参加（院内）

（1 年次書籍）

1. Vikneswaran Namasivayam and Yutaka Saito: Colonic ESD. Editors: Mihir S. Wagh, Sachin B. Wani. Gastrointestinal Interventional Endoscopy – Advanced Techniques -. Springer Nature Switzerland AG 2020. (eBook) 2020 Dec; 107-125.
2. 小山洋平、松田尚久、齋藤豊：(VII 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸（下）；腫瘍 大腸腫瘍 悪性腫瘍)
平坦・陥凹型早期大腸癌、別冊 日本臨牀 領域別症候群シリーズ No.12 消化管症候群(第 3 版)(IV) –その他の消化管疾患を含めて、日本臨牀社、東京都、2020 年 5 月 31 日（第 3 版第 1 刷発行）：66-70.

（1 年次知的財産権）

1. 職務発明 整理番号：2020-20、発明の種類：医療機器等の保持具、国立がん研究センターにおける共同発明者：中央病院内視鏡科 齋藤 豊 100%、令和 2（2020）年 11 月 13 日付職務発明審査結果通知書
共同出願特許：国立がん研究センター 50%、MakeWay 合同会社 50%（出願費用全額負担）
発明の名称：医療機器等の保持具、出願特許：特開 2022-078919、出願日：2020 年 11 月 13 日

（1 年次政策提言（寄与した指針等））

1. 日本消化器内視鏡学会・大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン委員会 作成委員長 共著・全 16 名の筆頭著者、「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」
Gastroenterological Endoscopy Vol.62 No.8 page:1519-1560 2020 年 8 月 20 日発行

（1 年次その他）

記載なし

研究分担者：松田尚久

（1 年次雑誌論文）

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
1. Matsuda T, Fujii T, Sano Y, Kudo SE, Oda Y, Hotta K, Shimoda T, Saito Y, Kobayashi N, Sekiguchi M, Konishi K, Ikematsu H, Iishi H, Takeuchi Y, Igarashi M, Kobayashi K, Sada M, Yamaguchi Y, Hasuda K, Shinohara T, Ishikawa H, Murakami Y, Taniguchi H, Fujimori T, Ajioka Y, Yoshida S. Randomised comparison of postpolypectomy surveillance intervals following a two-round baseline colonoscopy: the Japan Polyp Study Workgroup. Gut. 2020 Nov 2;70(8):1469–78. (29-A-13, 30-A-16) 査読有
 2. Sekiguchi M, Matsuda T. Limited usefulness of serum carcinoembryonic antigen and carbohydrate antigen 19-9 levels for gastrointestinal and whole-body cancer screening. Sci Rep. 2020 Oct 23;10(1):18202. doi: 10.1038/s41598-020-75319-8. (30-A-16) 査読有
 3. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Matsumoto M, Nakamura K, Mizuguchi Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T. Prevalence of serrated lesions, risk factors, and their association

- with synchronous advanced colorectal neoplasia in asymptomatic screened individuals. *J Gastroenterol Hepatol.* 2020 Nov;35(11):1938-1944. (30-A-16) 査読有
4. Sekiguchi M, Igarashi A, Sakamoto T, Saito Y, Esaki M, Matsuda T. Cost-effectiveness analysis of colorectal cancer screening using colonoscopy, fecal immunochemical test, and risk score. *J Gastroenterol Hepatol.* 2020 Sep;35(9):1555-1561. 査読有
 5. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Nakamura K, Matsumoto M, Tomizawa Y, Murakami Y, Saito Y, Matsuda T. Family history of colorectal cancer and prevalence of advanced colorectal neoplasia in asymptomatic screened populations in different age groups. *Gastrointest Endosc.* 2020;91:1361-1370. 査読有
- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
1. Tang RSY, Lee JWJ, Chang LC, Ong DEH, Chiu HM, Matsuda T, Kim HS, Sekiguchi M, Leong RW, Ho AMY, Lam TYT, Tse YK, Lin L, Yeoh KG, Lau JYW, Sung JJY; Asia Pacific Working Group on Colorectal Cancer Screening. Two vs one forward view examination of right colon on adenoma detection: an international multicenter randomized trial. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2020 Oct 13:S1542-3565(20)31426-9. doi: 10.1016/j.cgh.2020.10.014. Epub ahead of print. 査読有
 2. Dekker E, Chiu HM, Lansdorp-Vogelaar I; Expert Working Group on COVID-19 of the WEO Colorectal Cancer Screening Committee, Caro LE, Dominitz JA, Halloran S, Hassan C, Ismael J, Jover R, Kaminski MF, Kortlever T, Kuipers EJ, Levin TR, Matsuda T, Mlakar DN, Oliveira LAR, Parry S, Rabeneck L, Rutter M, Sáenz R, Senore C, Young GP, Zhang N. Colorectal cancer screening in the COVID-19 era. *Gastroenterology.* 2020 Dec;159(6):1998-2003. 査読有
 3. Kudo SE, Ichimasa K, Villard B, Mori Y, Misawa M, Saito S, Hotta K, Saito Y, Matsuda T, Yamada K, Mitani T, Ohtsuka K, Chino A, Ide D, Imai K, Kishida Y, Nakamura K, Saiki Y, Tanaka M, Hoteya S, Yamashita S, Kinugasa Y, Fukuda M, Kudo T, Miyachi H, Ishida F, Itoh H, Oda M, Mori K. Artificial Intelligence System to Determine Risk of T1 Colorectal Cancer Metastasis to Lymph Node. *Gastroenterology.* 2021 Mar;160(4):1075-1084.e2. 査読有
 4. Hotta K, Matsuda T, Tanaka K. Large-scale questionnaire on the usage of cold snare polypectomy for colorectal polyps in Japanese clinical practice. *Dig Endosc.* 2020 Sep;32(6):993. 査読有
 5. Cho H, Budhathoki S, Kanehara R, Goto A, Yamaji T, Kakugawa Y, Saito Y, Matsuda T, Iwasaki M, Tsugane S. Association between dietary sugar intake and colorectal adenoma among cancer screening examinees in Japan. *Cancer Sci.* 2020 Aug 2;111(10):3862-3872. 査読有
 6. Misawa M, Kudo SE, Mori Y, Hotta K, Ohtsuka K, Matsuda T, Saito S, Kudo T, Baba T, Ishida F, Itoh H, Oda M, Mori K. Development of a computer-aided detection system for colonoscopy and a publicly accessible large colonoscopy video database (with video). *Gastrointest Endosc.* 2021 Apr;93(4):960-967.e3. 査読有
 7. Yokota T, Saito Y, Takamaru H, Sekine S, Nakajima T, Yamada M, Sakamoto T, Taniguchi H, Kushima R, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y, Matsuda T. Spontaneous Regression of Mismatch Repair-Deficient Colon Cancer: A Case Series. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2021 Aug;19(8):1720-1722.e3. 査読有
 8. Inoki K, Abe S, Tanaka Y, Yamamoto K, Hihara D, Ichijima R, Nakatani Y, Chen H, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Saito Y. Reduced Intravenous Fluorescein Dose for Upper and Lower Gastrointestinal Tract Probe-Based Confocal Laser Endomicroscopy. *Clin Endosc.* 2021 May;54(3):363-370. 査読有
 9. Takamaru H, Goto R, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y. Predicting and managing complications following colonoscopy: risk factors and management of advanced interventional endoscopy with a focus on colorectal ESD. *Expert Rev Med Devices.* 2020 Sep;17(9):929-936. 査読有
 10. Mori Y, Kudo SE, East JE, Rastogi A, Bretthauer M, Misawa M, Sekiguchi M, Matsuda T, Saito Y, Ikematsu H, Hotta K, Ohtsuka K, Kudo T, Mori K. Cost savings in colonoscopy with artificial intelligence-aided polyp diagnosis: an add-on analysis of a clinical trial (with video). *Gastrointest Endosc.* 2020;92(4):905-911.e1 査読有
 11. Abe S, Saito Y, Tanaka Y, Ego M, Yanagisawa F, Kawashima K, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Goto O, Yahagi N. A novel endoscopic hand-suturing technique for

defect closure after colorectal endoscopic submucosal dissection: a pilot study. *Endoscopy*. 2020;52:780-785. 査読有

12. Hotta K, Matsuda T, Tanaka K. Post-polypectomy colonoscopy surveillance in the real clinical practice: Nationwide survey of 792 board certified institutions of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society. *Dig Endosc*. 2020;32(5):824. 査読有
13. Wong MCS, Rerknimitr R, Lee Goh K, Matsuda T, Kim HS, Wu DC, Wu KC, Yeoh KG, Chong VH, Ahmed F, Sollano JD, Menon J, Chiu HM, Li J, Ching JYL, Sung JJY. Development and Validation of the Asia-Pacific Proximal Colon Neoplasia Risk Score. *Clin Gastroenterol Hepatol*. 2021 Jan;19(1):119-127.e1. 査読有

14.

(1年次学会発表)

1. Matsuda T, et al. Development and regulatory approval of an artificial intelligence-assisted detection system for colonoscopy. UEGW 2020, Oral session, Web presentation.
2. 松田尚久. 大腸がん検診における大腸カプセル内視鏡への期待. 第38回日本大腸検査学会総会. 2020/10/30, 東京
3. 松田尚久. 日本における大腸がん検診の現状と将来展望～新型コロナ時代を迎えて～. JDDW2020. 2020/11/5, 神戸

(1年次書籍)

1. 松田尚久, 佐野寧, 藤井隆広, Japan Polyp Study Workgroup. 大腸ポリープ切除後サーベイランスの現状と展望—Japan Polyp Studyを踏まえて. *医学のあゆみ*, Volume 273, Issue 3, 250-253 (2020)
2. 松田尚久, 関口正宇, 中村佳子, 松本美野里, 永田浩一, 角川康夫, 齋藤豊. 胃・大腸内視鏡検診への期待と課題, 日本消化器内視鏡学会総会 100回記念号, 2020年 62巻 Supplement3号 p. 2564-2573

(1年次知的財産権)

記載なし

(1年次政策提言(寄与した指針等))

1. 松田尚久. 「大腸ポリープ診療ガイドライン 2020 (第2版)」日本消化器病学会編, 田中信治, 他; 作成委員
2. 松田尚久. 「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」日本消化器内視鏡学会編, 齋藤豊, 他; 作成委員

(1年次その他)

記載なし

分担研究者: 松元祐司

(1年次雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの(全件査読あり)

1. Imabayashi T, Matsumoto Y, Tanaka M, Nakai T, Tsuchida T. Pleural staging using local anesthetic thoracoscopy in dry pleural dissemination and minimal pleural effusion. *Thorac Cancer*. 2021 2021;12(8):1195-1202.
2. Nishida T, Matsumoto Y, Sasada S, Tanaka M, Nakai T, Fukai R, Ohe Y, Watanabe SI, Motoi N. Feasibility study of cryobiopsy for practical pathological diagnosis of primary lung cancer including immunohistochemical assessment. *Jpn J Clin Oncol*. 2021;51(2):271-278.
3. Tateishi A, Matsumoto Y, Tanaka M, Nakai T, Sasada S, Aoshima M, Tsuchida T. The utility of transbronchial rebiopsy for peripheral pulmonary lesions in patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer. *BMC Pulm Med*. 2020;20(1):238.
4. 松元 祐司. 検体採取の基礎. *気管支学* (査読無) 42巻5号 465-469 2020.

(1年次学会発表)

1. Yuji Matsumoto: Photodynamic therapy in respiratory endoscopy. Symposium. WCBIP 2020. 20th November, 2020, Shanghai, China (online).
2. Yuji Matsumoto: Yuji Matsumoto: Photodynamic therapy in respiratory endoscopy. Symposium. WCBIP 2020. 21st November, 2020, Shanghai, China (online).
3. 土田 敬明, 松元 祐司, 他: 進行肺がんに対するタラポルフィンナトリウムを用いた光力学療法における治療条件に関する検討. シンポジウム. LASER WEEK IN KOCHI. オンデマンド配信、高知 (オンライン開催).
4. 松元 祐司, 他: 末梢肺病変に対するクライオ生検の留意点. シンポジウム. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2020/6/26、北海道 (紙上開催).
5. 田中 緑, 松元 祐司, 他: 末梢肺小型病変に対するBF-UC290Fの有用性. 口頭発表. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2020/6/26、北海道 (紙上開催).
6. 生嶋 一成, 松元 祐司, 他: 末梢肺病変に対する経気管支穿刺針吸引によるR-EBUS所見の変化についての検証. 口頭発表. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2020/6/26、北海道 (紙上開催).
7. 土田 敬明, 松元 祐司, 他: 日帰りによる中心型肺がん光線力学的治療における安全性の検討. 口頭発表. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2020/6/27、北海道 (紙上開催).
8. 笹田 真滋, 松元 祐司, 他: 呼吸器内視鏡の進歩に伴う気道出血マネジメントの実際. ワークショップ. 第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2020/6/27、北海道 (紙上開催).

(1年次書籍)

1. 松元 祐司: 検体採取の基礎. 気管支学. 42巻5号, 465-469, 日本呼吸器内視鏡学会, 2020.
2. 松元 祐司: 最新の呼吸器内視鏡インターベンション. 臨床画像. 36巻10号, 1174-1179, メジカルビュー社, 2020.

(1年次知的財産権)

記載なし

(1年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(1年次その他)

記載なし

研究分担者: 坂本琢

(1年次雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Takamaru H, Goto R, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y. Predicting and managing complications following colonoscopy: risk factors and management of advanced interventional endoscopy with a focus on colorectal ESD. Expert Rev Med Devices. 2020 Sep;17(9):929-936. 査読あり
2. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Matsumoto M, Nakamura K, Mizuguchi Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T. Prevalence of serrated lesions, risk factors, and their association with synchronous advanced colorectal neoplasia in asymptomatic screened individuals. J Gastroenterol Hepatol. 2020 Nov;35(11):1938-1944. 査読あり
3. Abe S, Saito Y, Tanaka Y, Ego M, Yanagisawa F, Kawashima K, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Goto O, Yahagi N. A novel endoscopic hand-suturing technique for defect closure after colorectal endoscopic submucosal dissection: a pilot study. Endoscopy. 2020 Sep;52(9):780-785. 査読あり

4. Sekiguchi M, Igarashi A, Sakamoto T, Saito Y, Esaki M, Matsuda T. Cost-effectiveness analysis of colorectal cancer screening using colonoscopy, fecal immunochemical test, and risk score. *J Gastroenterol Hepatol*. 2020 Sep;35(9):1555-1561. 査読あり

(1年次学会発表)

第99回日本消化器内視鏡学会総会 (2020年9月2日～3日)

坂本琢. 位相シフト法による内視鏡下3次元形状計測システムの開発, パネルディスカッション

(1年次書籍)

記載なし

(1年次知的財産権)

記載なし

(1年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(1年次その他)

記載なし

研究分担者: 小林 望

(1年次雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Matsuda T, Fujii T, Sano Y, Kudo SE, Oda Y, Hotta K, Shimoda T, Saito Y, Kobayashi N, Sekiguchi M, Konishi K, Ikematsu H, Iishi H, Takeuchi Y, Igarashi M, Kobayashi K, Sada M, Yamaguchi Y, Hasuda K, Shinohara T, Ishikawa H, Murakami Y, Taniguchi H, Fujimori T, Ajioka Y, Yoshida S. Randomised comparison of postpolypectomy surveillance intervals following a two-round baseline colonoscopy: the Japan Polyp Study Workgroup. *Gut*. 2020 Nov 2;70(8):1469-78. (29-A-13, 30-A-16) 査読有
2. Nakajima T, Sakamoto T, Hori S, Yamada S, Ikematsu H, Harada K, Chiu HM, Kiryama S, Michida T, Hotta K, Sakamoto N, Abe T, Chino A, Fukuzawa M, Kobayashi N, Fukase K, Matsuda T, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y. Optimal surveillance interval after piecemeal endoscopic mucosal resection for large colorectal neoplasia: a multicenter randomized controlled trial. *Surg Endosc*. 2022 Jan;36(1):515-25. (21-25, 29-A-13) 査読有

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. 小林 望, 小西 潤, 今野真己. 挿入困難例に対するトラブルシューティング ②S状結腸多発憩室症例への対処法. *INTESTINE*. 2020;24:151-153.

(1年次学会発表)

1. 小林 望, 大圃 研, 竹内洋司, 斎藤彰一, 辻 陽介, 堀田欣一, 原田馨太, 池松弘朗, 浦岡俊夫, 坂本直人, 土山寿志, 阿部 孝, 片桐 敦, 堀伸一郎, 道田知樹, 鈴木拓人, 福澤誠克, 斎藤 豊: ESD症例における直腸と結腸での診断精度と治療成績の違い—多施設共同前向き試験 (CREATE-J) の結果から— 第94回大腸癌研究会, 2021

(1年次書籍)

記載なし

(1年次知的財産権)

記載なし

(1年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(研究開始前その他)

記載なし

2年次

研究代表者：吉永繁高

(2年次雑誌論文)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Ego M, Abe S, Nakatani Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Kato K, Honma Y, Itami J, Daiko H, Saito Y, Boku N. Long-term outcomes of patients with recurrent squamous cell carcinoma of the esophagus undergoing salvage endoscopic resection after definitive chemoradiotherapy. *Surg Endosc*. 2021 Apr;35(4):1777. doi: 10.1007/s00464-020-07632-2.
2. Miyamoto Y, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Mano H, Saito Y. Safety and usefulness of endoscopic submucosal dissection for early esophageal cancers in elderly patients aged 80 years or older. *Esophagus*. 2021 Jan;18(1):81-89. doi: 10.1007/s10388-020-00750-9. Epub 2020 May 29.
3. Ego M, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Endoscopic Closure Utilizing Endoloop and Endoclips After Gastric Endoscopic Submucosal Dissection for Patients on Antithrombotic Therapy. *Dig Dis Sci*. 2021 Jul;66(7):2336-2344.
4. Kawashima K, Abe S, Koga M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Hikichi T, Ohira H, Saito Y. Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection versus endoscopic submucosal dissection according to lesion size. *Dis Esophagus*. 2021 May 22;34(5):doaa096. doi: 10.1093/dote/doaa096.
5. Nakazawa K, Saito Y, Yoshinaga S, Sekine S, Higuchi K. Endoscopic submucosal dissection for localized amyloidosis of the sigmoid colon. *Endoscopy*. 2022 Jan;54(1):E5-E6.
6. Okagawa Y, Yoshinaga S, Noguchi E, Sekine S. Gastric metastasis from primary leiomyosarcoma of the broad ligament. *Jpn J Clin Oncol*. 2021 Apr 30;51(5):846-847. doi: 10.1093/jjco/hyab009.
7. Kawamura R, Abe S, Ego M, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Precut esophageal endoscopic mucosal resection for cervical esophageal cancer to minimize mucosal defect. *Endoscopy*. 2022 Mar;54(3):E81-E82.
8. Abe S, Oguma J, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y, Daiko H. Novel hybrid endoscopy-assisted larynx-preserving esophagectomy for cervical esophageal cancer (with video). *Jpn J Clin Oncol*. 2021 Jul 1;51(7):1171-1175.
9. Katada C, Muto M, Fujii S, Yokoyama T, Yano T, Watanabe A, Iizuka T, Yoshinaga S, Tateya I, Mitani H, Shimizu Y, Takahashi A, Kamijo T, Hanaoka N, Abe M, Shiotani A, Kano K, Asada Y, Matsuhashi T, Umeno H, Okami K, Goda K, Hori S, Ono Y, Terai S, Nagami Y, Takemura K, Kawada K, Ando M, Shimeno N, Arai A, Sakamoto Y, Ichinoe M, Nemoto T, Fujita M, Watanabe H, Shimoda T, Ochiai A, Kato T, Hayashi R. Transoral surgery for superficial head and neck cancer: National Multi-Center Survey in Japan. *Cancer Med*. 2021 Jun;10(12):3848-3861.
10. Nishida T, Yoshinaga S, Takahashi T, Naito Y. Recent Progress and Challenges in the Diagnosis and Treatment of Gastrointestinal Stromal Tumors. *Cancers (Basel)*. 2021 Jun 24;13(13):3158. doi: 10.3390/cancers13133158.
11. Kasuga K, Abe S, Oda I, Yoshinaga S, Suzuki H, Uraoka T, Saito Y. Guidewire-assisted technique for gastroscop insertion through stricture of Zenker's diverticulum for esophageal endoscopic submucosal dissection. *Endoscopy*. 2022 Jun;54(6):E279-E280.
12. Abe S, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y. Emerging texture and color enhancement imaging in early gastric cancer. *Dig Endosc*. 2022 May;34(4):714-720.
13. Makiguchi ME, Abe S, Okagawa Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Ryuta O, Saito Y.

- Preclinical Efficacy and Clinical Feasibility of a Novel Aerosol-Exposure Protection Mask for Esophagogastroduodenoscopy. Clin Endosc 2022;55 :226-233.
14. Abe S, Hirai Y, Uozumi T, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma: Current indications and treatment outcomes. DEN open. 2021 Sep 20;2(1):e45. doi: 10.1002/deo2.45. eCollection 2022 Apr.
 15. Abe S, Yamazaki T, Hisada IT, Makiguchi ME, Yoshinaga S, Sato T, Nonaka S, Suzuki H, Oda I, Saito Y. Visibility of early gastric cancer in texture and color enhancement imaging. DEN open. 2021 Aug 24;2(1):e46. doi: 10.1002/deo2.46. eCollection 2022 Apr.
 16. 脇岡 範, 久田 裕也, 池田 剛, 丸木 雄太, 大場 彬博, 永塩 美邦, 森実 千種, 吉永 繁高, 斎藤 豊, 奥坂 拓志. 【進化する EUS】 診断的 EUS EUS-FNA サンプルを用いた precision medicine. 消化器内視鏡 32 巻 11 号 Page1665-1670, 2020.
 17. 吉永 繁高, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 斎藤 豊. 【咽喉頭・頸部食道癌を見逃すな-拾い上げから治療まで】 ハイリスク群に対する咽喉頭・頸部食道の精密観察 拡大内視鏡を用いた咽喉頭精密診断. 消化器内視鏡 32 巻 12 号 Page1848-1853, 2020.
 18. 吉永 繁高, 小田 一郎, 斎藤 豊. 手技の解説 上部消化管の色素内視鏡(動画付き). Gastroenterological Endoscopy 62 巻 12 号 Page3085-3089, 2020.
 19. 春日 健吾, 吉永 繁高, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 関根 茂樹, 斎藤 豊. 早期胃癌内視鏡治療・適応の UPDATE】 特殊型胃癌 pT1b の臨床病理学的取扱い. 胃と腸 56 巻 1 号 Page 89-95, 2021.
 20. 吉永 繁高, 小田 一郎. 【食道胃接合部癌の診断と治療】 食道胃接合部の内視鏡診断基準. 消化器内科 3 巻 5 号 Page32-38, 2021.
 21. 脇岡 範, 吉永 繁高. 【消化管診断・治療手技のすべて 2021】 胃 診断 EUS-FNA(SMT 診断). 胃と腸 56 巻 5 号 Page626-627, 2021.
 22. 坂本 琢, 吉永 繁高. 【消化管診断・治療手技のすべて 2021】 大腸 治療 EBD. 胃と腸 56 巻 5 号 Page778-779, 2021.
 23. 江郷 茉衣, 小田 一郎, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. 【消化管悪性リンパ腫のすべて】 頻度の高い消化管原発悪性リンパ腫 消化管原発びまん性大細胞型 B 細胞悪性リンパ腫 胃原発びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫. 消化器内視鏡 33 巻 5 号 Page877-883, 2021.
 24. 谷本 泉, 吉永 繁高, 高丸 博之, 河村 玲央奈, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 斎藤 豊, 吉川 貴己, 大幸 宏幸, 関根 茂樹. 【食道胃接合部腺癌の診断 2021】 食道胃接合部腺癌の深達度診断超音波内視鏡の立場から. 胃と腸 56 巻 7 号 Page939-946, 2021.
 25. 水口 康彦, 野中 哲, 牧口 茉衣, 阿部 清一郎, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎, 斎藤 豊. 【内視鏡検査で胃癌見落としゼロを目指して】 早期胃癌内視鏡治療前後のスクリーニング,サーベイランスで胃癌を見落とさないための工夫. 臨床消化器内科 36 巻 10 号 Page1303-1314, 2021.
 26. 中沢 啓, 吉永 繁高, 米丸 隼平, 河村 玲央奈, 岡村 卓真, 福士 剛蔵, 山崎 嵩之, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 小田 一郎, 橋本 大輝, 関根 茂樹, 斎藤 豊. 【胃上皮性腫瘍・組織分類・内視鏡診断の新展開】 手つなぎ・横這い型癌の新展開 手つなぎ・横這い型胃癌の内視鏡診断. 胃と腸 56 巻 10 号 Page1330-1337, 2021.
 27. 阿部 清一郎, 高丸 博之, 山田 真善, 野中 哲, 坂本 琢, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎, 松田 尚久, 斎藤 豊. 【最新の内視鏡を使いこなす】 注目の画像強調内視鏡を使いこなす TXI(Texture and Color Enhancement Imaging) その原理と臨床応用. 消化器内視鏡巻 8 号 Page1227-1231, 2021.
 28. 江郷 茉衣, 小田 一郎, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 斎藤 豊. 【消化管内視鏡治療-基本から高難度まで】 ポリペクトミー・EMR・ESD 胃 胃 ESD 困難例の治療戦略. 消化器内視鏡 33 巻増刊 Page146-150, 2021.
 29. 阿部 清一郎, 江郷 茉衣, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 小田 一郎, 斎藤 豊. 【消化管内視鏡治療-基本から高難度まで】 消化管狭窄に対する内視鏡治療 Radial Incision and cutting(RIC). 消化器内視鏡 33 巻増刊 Page327-329, 2021.
 30. 吉永 繁高. 【早期胃癌診断 2022-明日から役立つ実践ガイド-】 癌のリスク層別化 検査前にリスクは層別できるか. 消化器内科 4 巻 Page4-7, 2022.

(2 年次学会発表)

1. 吉永 繁高, 斎藤 豊, 関根 茂樹. 診断に苦慮した食道腫瘍の 1 例. 2021.5.14, 第 101 回日本消化器内視

鏡学会総会

2. Yoshinaga Shigetaka, Kenshi Yao. Clinical Practice Guidelines for Endoscopic Diagnosis of Early Gastric Cancer (Japan). IDEN2021, 2021.6.25, Seoul(Web 参加)

(2年次書籍)

記載なし

(2年次知的財産権)

記載なし

(2年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(2年次その他)

記載なし

研究分担者：斎藤 豊

(2年次雑誌論文) ※2021年度(2021年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの(全件査読あり)

1. Saito Y, Abe S, Inoue H, Tajiri H: How to Perform a High-Quality Endoscopic Submucosal Dissection. *Gastroenterology*. 2021 Aug;161(2):405-410. doi: 10.1053/j.gastro.2021.05.051. (2020-A-4 and 2020-A-12)
2. Matsuda T, Fujii T, Sano Y, Kudo SE, Oda Y, Hotta K, Shimoda T, Saito Y, Kobayashi N, Sekiguchi M, Konishi K, Ikematsu H, Iishi H, Takeuchi Y, Igarashi M, Kobayashi K, Sada M, Yamaguchi Y, Hasuda K, Shinohara T, Ishikawa H, Murakami Y, Taniguchi H, Fujimori T, Ajioka Y, Yoshida S: Randomised comparison of postpolypectomy surveillance intervals following a two-round baseline colonoscopy: the Japan Polyp Study Workgroup. *Gut*. 2021 Aug;70(8):1469-1478. doi:10.1136/gutjnl-2020-321996 (29-A-13 and 30-A-16)
3. Takamaru H, Kawaguchi Y, Oda I, Sekiguchi M, Yamada M, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y: A new reliable acoustic respiratory monitoring technology during upper gastrointestinal tract therapeutic endoscopy with CO2 insufflation. *J Clin Monit Comput*. 2021 Aug;35(4):877-884. doi: 10.1007/s10877-020-00547-2. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A13)
4. Yokota T, Saito Y, Takamaru H, Sekine S, Nakajima T, Yamada M, Sakamoto T, Taniguchi H, Kushima R, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y, Matsuda T: Spontaneous Regression of Mismatch Repair-Deficient Colon Cancer: A Case Series. *Clin Gastroenterol Hepatol*. 2021 Aug;19(8):1720-1722.e3. doi: 10.1016/j.cgh.2020.08.051. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A-13).
5. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T: Risk of metachronous neoplastic lesions during post-polypectomy surveillance in individuals with advanced colorectal neoplasia at initial screening colonoscopy. *J Gastroenterol Hepatol*. 2021 Aug;36(8):2230-2238. doi: 10.1111/jgh.15471. (30-A-16 and 31-A-25)
6. Ego M, Abe S, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y: Endoscopic Closure Utilizing Endoloop and Endoclips After Gastric Endoscopic Submucosal Dissection for Patients on Antithrombotic Therapy. *Dig Dis Sci*. 2021 Jul;66(7):2336-2344. doi: 10.1007/s10620-020-06508-8. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A-12)←正) 29-A-13
7. Kawashima K, Abe S, Koga M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Hikichi T, Ohira H, Saito Y: Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection versus endoscopic submucosal dissection according to lesion size. *Dis Esophagus*. 2021 May 22;34(5):doaa096. doi: 10.1093/dote/doaa096. (28-K-1 and 29-A-13)
8. Takamaru H, Saito Y, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Sekine S, Ochiai H, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y: Endoscopic Resection Before Surgery Does Not Affect the Recurrence Rate in Patients With High-Risk T1 Colorectal Cancer. *Clin Transl Gastroenterol*. 2021 Apr 12;12(4):e00336. doi: 10.14309/ctg.0000000000000336. (25-A-12, 28-K-1, and 29-A-13)

9. Noguchi M, Shitara K, Kawazoe A, Yamamoto D, Takii Y, Saito Y, Sato T, Horimatsu T, Ishikawa H, Ito Y, Ito M, Ikematsu H: Short-term safety of adjuvant chemoradiotherapy after local resection for patients with high-risk submucosal invasive rectal cancer: a single-arm, multicenter phase II trial. *Jpn J Clin Oncol*. 2021 Apr 30;51(5):707-712. doi: 10.1093/jco/hyaa260. (25-A-12)
10. Kitamura H, Hijioka S, Maruki Y, Ohba A, Nagashio Y, Okusaka T, Saito Y: Novel double endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy for two-hole benign anastomotic stenosis with difficult gastrointestinal approach. *Endoscopy*. 2021 Apr;53(4):E140-E142. doi: 10.1055/a-1216-1083. (31-A-13)
11. Koga T, Hijioka S, Ishikawa Y, Ito K, Harai S, Okusaka T, Saito Y: Duckbill-type antireflux self-expandable metal stent placement for post-choledochojejunostomy reflux cholangitis. *Endoscopy*. 2021 May;53(5):E174-E176. doi: 10.1055/a-1216-1220. (31-A-13)
12. Koga T, Hijioka S, Hisada Y, Maruki Y, Nagashio Y, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy without fistula dilation using a novel fully covered metallic stent with a 5.9-Fr ultra-thin delivery system. *Endoscopy*. 2021 Jun;53(6):E223-E225. doi: 10.1055/a-1244-9651. (31-A-13)
13. Maehara K, Hijioka S, Sakamoto T, Maruki Y, Tamada K, Okusaka T, Saito Y: Novel biliary drainage of a choledochojejunal anastomotic stenosis using a double-balloon endoscope and forward-viewing endoscopic ultrasound. *Endoscopy*. 2021 Jul;53(7):E242-E244. doi: 10.1055/a-1247-4469. (31-A-13)
14. Yamada M, Saito Y, Yamada S, Kondo H, Hamamoto R: Detection of flat colorectal neoplasia by artificial intelligence: A systematic review. *Best Pract Res Clin Gastroenterol*. 2021 Jun-Aug;52-53:101745. doi: 10.1016/j.bpg.2021.101745. (30-A-9)
15. Hisada Y, Hijioka S, Ohba A, Nagashio Y, Kanai Y, Okusaka T, Saito Y: Novel endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy using a forward-viewing echoendoscope for altered anatomy. *Endoscopy*. 2021 Sep;53(9):E340-E342. doi: 10.1055/a-1290-6561 (31-A-13)
16. Sekiguchi M, Oda I, Matsuda T, Saito Y: Epidemiological Trends and Future Perspectives of Gastric Cancer in Eastern Asia. *Digestion*. 2022;103(1):22-28. doi: 10.1159/000518483. PMID: 34515086. Review. (30-A-16) Jan 2022 発行
17. Nakazawa K, Saito Y, Yoshinaga S, Sekine S, Higuchi K: Endoscopic submucosal dissection for localized amyloidosis of the sigmoid colon. *Endoscopy*. 2022 Jan;54(1):E5-E6. doi: 10.1055/a-1346-8645. PMID: 33592648 (29-A-13 and 2020-A-12)
18. Saito Y, Kodashima S, Matsuda T, Matsuda K, Fujishiro M, Tanaka K, Kobayashi K, Katada C, Horimatsu T, Muto M, Ohtsuka K, Oda I, Kato M, Kida M, Hoteya S, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Iishi H, Ogata H, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H, Inoue H: Current status of diagnostic and therapeutic colonoscopy in Japan: The Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc*. 2022 Jan;34(1):144-152. doi: 10.1111/den.13980. PMID: 33774877 (29-A-13 and 2020-A-12)
19. Mizuguchi Y, Tanaka Y, Cho H, Sekiguchi M, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Hashimoto T, Sekine S, Saito Y: Endoscopic features of isolated and traditional serrated adenoma-associated superficially serrated adenomas of the colorectum. *Dig Endosc*. 2022 Jan;34(1):153-162. doi: 10.1111/den.13992. PMID: 33871900 (29-A-13)
20. Nakajima T, Sakamoto T, Hori S, Yamada S, Ikematsu H, Harada K, Chiu HM, Kiriya S, Michida T, Hotta K, Sakamoto N, Abe T, Chino A, Fukuzawa M, Kobayashi N, Fukase K, Matsuda T, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y: Optimal surveillance interval after piecemeal endoscopic mucosal resection for large colorectal neoplasia: a multicenter randomized controlled trial. *Surg Endosc*. 2022 Jan;36(1):515-525. doi: 10.1007/s00464-021-08311-6. PMID: 33569725 (29-A-13)
21. Sekiguchi M, Igarashi A, Mizuguchi Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Maltzman H, Falkén Y, Esaki M, Matsuda T, Saito Y: Cost-effectiveness analysis of endoscopic resection for colorectal laterally spreading tumors: Endoscopic submucosal dissection versus piecemeal endoscopic mucosal resection. *Dig Endosc*. 2022 Mar;34(3):553-568. doi: 10.1111/den.14058. PMID: 34101915 (31-A-25)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの（全件査読あり）

22. Saito Y, Ono A: Underwater Endoscopic Mucosal Resection for Colorectal Lesions: A Bridge Between Conventional Endoscopic Mucosal Resection and Endoscopic Submucosal Dissection. *Gastroenterology*. 2021 Nov;161(5):1369-1371. doi: 10.1053/j.gastro.2021.08.039.
23. Saito Y, Oka S, Tamai N, Kudo T, Kuniyoshi N, Shirakura T, Omae Y, Hamahata Y, Arai T, Tanaka S, Uedo N, Shimizu S, Fukuzawa M, Uraoka T, Ichinose S, Ogata H, Kobayashi K, Saito S, Tajiri H: Efficacy and safety of oral sulfate solution for bowel preparation in Japanese patients undergoing colonoscopy: Noninferiority-based, randomized, controlled study. *Dig Endosc*. 2021 Nov;33(7):1131-1138. doi: 10.1111/den.13930.
24. Kasuga K, Yamada M, Shida D, Tagawa T, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Uraoka T, Sekine S, Kanemitsu Y, Saito Y: Treatment outcomes of endoscopic submucosal dissection and surgery for colorectal neoplasms in patients with ulcerative colitis. *United European Gastroenterol J*. 2021 Oct;9(8):964-972. doi: 10.1002/ueg2.12118.
25. Tagawa T, Yamada M, Minagawa T, Sekiguchi M, Konda K, Tanaka H, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Matsuda T, Kuchiba A, Yoshida H, Saito Y: Endoscopic characteristics influencing postpolypectomy bleeding in 1147 consecutive pedunculated colonic polyps: a multicenter retrospective study. *Gastrointest Endosc*. 2021 Oct;94(4):803-811.e6. doi: 10.1016/j.gie.2021.03.996.
26. Kamba S, Tamai N, Saitoh I, Matsui H, Horiuchi H, Kobayashi M, Sakamoto T, Ego M, Fukuda A, Tonouchi A, Shimahara Y, Nishikawa M, Nishino H, Saito Y, Sumiyama K: Reducing adenoma miss rate of colonoscopy assisted by artificial intelligence: a multicenter randomized controlled trial. *J Gastroenterol*. 2021 Aug;56(8):746-757. doi: 10.1007/s00535-021-01808-w.
27. Sakamoto T, Cho H, Saito Y: Clinical Applications of Linked Color Imaging and Blue Laser/Light Imaging in the Screening, Diagnosis, and Treatment of Superficial Colorectal Tumors. *Clin Endosc*. 2021 Jul;54(4):488-493. doi: 10.5946/ce.2021.157.
28. Mori Y, Kudo SE, Misawa M, Hotta K, Kazuo O, Saito S, Ikematsu H, Saito Y, Matsuda T, Kenichi T, Kudo T, Nemoto T, Itoh H, Mori K: Artificial intelligence-assisted colonic endocytoscopy for cancer recognition: a multicenter study. *Endosc Int Open*. 2021 Jul;9(7):E1004-E1011. doi: 10.1055/a-1475-3624.
29. Wada Y, Shimada M, Murano T, Takamaru H, Morine Y, Ikemoto T, Saito Y, Balaguer F, Bujanda L, Pellise M, Kato K, Saito Y, Ikematsu H, Goel A: A Liquid Biopsy Assay for Noninvasive Identification of Lymph Node Metastases in T1 Colorectal Cance. *Gastroenterology*. 2021 Jul;161(1):151-162.e1. doi: 10.1053/j.gastro.2021.03.062.
30. Abe S, Matsuzaki J, Sudo K, Oda I, Katai H, Kato K, Takizawa S, Sakamoto H, Takeshita F, Niida S, Saito Y, Ochiya T: A novel combination of serum microRNAs for the detection of early gastric cancer. *Gastric Cancer*. 2021 Jul;24(4):835-843. doi: 10.1007/s10120-021-01161-0.
31. Abe S, Oguma J, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y, Daiko H: Novel hybrid endoscopy-assisted larynx-preserving esophagectomy for cervical esophageal cancer (with video). *Jpn J Clin Oncol*. 2021 Jul 1;51(7):1171-1175. doi: 10.1093/jjco/hyab045.
32. Mehta N, Abushahin A, Sadaps M, Alomari M, Vargo J, Patil D, Lopez R, Kalady M, Delaney CP, Gorgun E, Church J, Saito Y, Burke CA, Bhatt A: Recurrence with malignancy after endoscopic resection of large colon polyps with high-grade dysplasia: incidence and risk factors. *Surg Endosc*. 2021 Jun;35(6):2500-2508. doi: 10.1007/s00464-020-07660-y.
33. Saito Y, Oka S, Kawamura T, Shimoda R, Sekiguchi M, Tamai N, Hotta K, Matsuda T, Misawa M, Tanaka S, Iriguchi Y, Nozaki R, Yamamoto H, Yoshida M, Fujimoto K, Inoue H: Colonoscopy screening and surveillance guidelines. *Dig Endosc*. 2021 May;33(4):486-519. doi: 10.1111/den.13972. PMID: 33713493 Review.
34. Nakazawa K, Nouda S, Kakimoto K, Kinoshita N, Tanaka Y, Tawa H, Koshiha R, Naka Y, Hirata Y, Ota K, Kawakami K, Takeuchi T, Inoue T, Miyazaki T, Sanomura M, Nakamura S, Saito Y, Higuchi K: The Differential Diagnosis of Colorectal Polyps Using Colon Capsule Endoscopy. *Intern Med*. 2021 Jun 15;60(12):1805-1812. doi: 10.2169/internalmedicine.6446-20.
35. Bhatt A, Mehta NA, Abe S, Saito Y: A novel curved wire retraction device for endoscopic submucosal dissection. *VideoGIE*. 2021 Aug 26;6(8):342-343. doi: 10.1016/j.vgie.2021.04.006.
36. Okagawa Y, Abe S, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y: A novel technique

- for adjusting traction direction during colorectal endoscopic submucosal dissection using S-O clip. *Endoscopy*. 2021 May;53(5):E177-E178. doi: 10.1055/a-1216-1167.
37. Inoki K, Abe S, Tanaka Y, Yamamoto K, Hihara D, Ichijima R, Nakatani Y, Chen H, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Saito Y: Reduced Intravenous Fluorescein Dose for Upper and Lower Gastrointestinal Tract Probe-Based Confocal Laser Endomicroscopy. *Clin Endosc*. 2021 May;54(3):363-370. doi: 10.5946/ce.2020.058.
 38. Ego M, Abe S, Nakatani Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Kato K, Honma Y, Itami J, Daiko H, Saito Y, Boku N: Long-term outcomes of patients with recurrent squamous cell carcinoma of the esophagus undergoing salvage endoscopic resection after definitive chemoradiotherapy. *Surg Endosc*. 2021 Apr;35(4):1766-1776. doi: 10.1007/s00464-020-07571-y.
 39. Ego M, Abe S, Nakatani Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Kato K, Honma Y, Itami J, Daiko H, Saito Y, Boku N: Correction to: Long-term outcomes of patients with recurrent squamous cell carcinoma of the esophagus undergoing salvage endoscopic resection after definitive chemoradiotherapy. *Surg Endosc*. 2021 Apr;35(4):1777. doi: 10.1007/s00464-020-07632-2.
 40. Fujimoto A, Saito Y, Abe S, Hoteya S, Nomura K, Yasuda H, Matsuo Y, Uraoka T, Kuribayashi S, Tsuji Y, Ohki D, Maehata T, Kato M, Yahagi N: Clinical usefulness of red dichromatic imaging in hemostatic treatment during endoscopic submucosal dissection: First report from a multicenter, open-label, randomized controlled trial. *Dig Endosc*. 2022 Jan;34(2):379-390. doi: 10.1111/den.14191. PMID: 34775648
 41. Akiyama S, Sakamoto T, Steinberg JM, Saito Y, Tsuchiya K: Evolving roles of magnifying endoscopy and endoscopic resection for neoplasia in inflammatory bowel diseases. *World J Gastrointest Oncol*. 2022 Mar 15;14(3):646-653. doi: 10.4251/wjgo.v14.i3.646. PMID: 35321277. Review.
 42. Tsuchiya T, Itoi T, Ishii K, Tonozuka R, Mukai S, Nagai K, Yamamoto K, Honma T, Minami H, Saito Y: Impact of using scope holder on Interventional Endoscopy (with video). *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2022 Feb;29(2): e3-e4. doi: 10.1002/jhbp.1031. PMID: 34411459
 43. Kawamura R, Abe S, Ego M, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y: Precut esophageal endoscopic mucosal resection for cervical esophageal cancer to minimize mucosal defect. *Endoscopy*. 2022 Mar;54(3): E81-E82. doi: 10.1055/a-1388-6348. PMID: 33723841
 44. Kurosawa S, Yamaguchi T, Mori A, Tsukagoshi M, Okuda I, Ikeda M, Ueno T, Saito Y, Aihara Y, Matsuba Y, Fuji S, Yamashita T, Ogawa C, Ito A, Tanaka T, Inamoto Y, Kim SW, Fukuda T: Feasibility and usefulness of recommended screenings at long-term follow-up clinics for hematopoietic cell transplant survivors. *Support Care Cancer*. 2022 Mar;30(3):2767-2776. doi: 10.1007/s00520-021-06698-5. PMID: 34837539
 45. Makiguchi ME, Abe S, Okagawa Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Ryuta O, Saito Y: Preclinical Efficacy and Clinical Feasibility of a Novel Aerosol-Exposure Protection Mask for Esophagogastroduodenoscopy. *Clin Endosc*. 2022 Mar;55(2):226-233. doi: 10.5946/ce.2021.178-IDEN. PMID: 34905818
 46. 齋藤豊 (1 番目)、坂本琢 (3 番目)、松田尚久 (6 番目)、他 9 名 : [主題] 大腸疾患における AI 診断、胃と腸、2021(4 月)、56(4): 462-471.
 47. 齋藤豊、高丸博之 : [大腸 治療] ESD(IT-nano)、胃と腸、2021(5 月)、56(5): 760-761.
 48. 齋藤豊、関口正宇、松田尚久 : [序説] 「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」の紹介、INTESTINE、2021(5 月)、25(1): 5-8.
 49. 江郷茉衣、齋藤豊、阿部清一郎 : 1.内視鏡治療、消化器外科、2021(5 月)、44(6): 598-603.
 50. 坂本琢、齋藤豊 : [手技の解説] 内視鏡診断支援機能「CAD EYE」の使用経験から、臨牀消化器内科、2021(7 月)、789-794.
 51. 齋藤豊、井上晴洋 : [司会者総括 ビデオシンポジウム 2] 日常生活に役立つ拡大併用画像強調観察の進歩、Progress of Digestive endoscopy、2021(6 月)、98(1): 4-5.
 52. 浦岡俊夫、滝沢耕平、田中信治、樫田博史、齋藤豊、矢作直久、山野泰穂、齋藤彰一、久部高司、八尾隆史、渡邊昌彦、吉田雅博、鶴田修、五十嵐正広、豊永高史、味岡洋一、藤本一眞、井上晴洋 : 大腸 cold polypectomy ガイドライン (大腸 ESD/EMR ガイドライン追補)、Gastroenterological Endoscopy、2021(5 月)、63(5): 1147-1158.
 53. 齋藤豊 (1 番目)、坂本琢 (9 番目)、松田尚久 (10 番目)、他 8 名 : [最新のスコープを使いこなす 大

- 腸内視鏡] 大腸拡大内視鏡専用機—オリンパス社内視鏡—の使用経験、消化器内視鏡、2021(8月)、33(8): 1310-1316.
54. 坂本琢、中村佳子、齋藤豊 : [AI内視鏡] 大腸内視鏡診断支援機能 “CAD EYE™” —そのスペックと使いこなすコツ—、消化器内視鏡、2021(8月)、33(8): 1347-1352.
 55. 坂本琢、金光幸秀、齋藤豊 : 早期大腸癌に対する内視鏡切除の適応と限界、Current Therapy、2021(10月)、39(10): 25-30.
 56. 齋藤豊 (1番目)、坂本琢 (6番目)、松田尚久 (9番目)、他6名 : [総論]大腸内視鏡挿入法・診断法のスキルアップ、消化器内視鏡、2021(10月)、33(10) : 1502-1507.
 57. 牧口茉衣、齋藤豊 : ワンポイントアドバイス 挿入法べからず集、消化器内視鏡、2021(10月)、33(10) : 1562-1564.
 58. 平井悠一郎、豊嶋直也、齋藤豊 : 大腸癌の内視鏡診断と内視鏡治療、医学と薬学、2022 (3月)、79(3): 321-330.
 59. 高丸博之、齋藤豊 : 大腸 ESD におけるバイポーラデバイスの安全な使用法、Gastroenterological Endoscopy、2022 (3月)、64(3): 285-295.
 60. 吉永繁高、高丸博之、齋藤豊 : [各論] 胃・十二指腸 診断「粘膜下腫瘍を認めた」、消化器内視鏡、2022 (3月)、34(3): 370-371.

(2年次学会発表)

1. Saito Y: Opening remarks & Keynote lecture. Chairman for the Session 3. NBI Diagnosis and Classification of Early Colorectal Neoplasia. Oral Presentation from Tokyo. ANBIIG Clinical Case Marathon 2021. 23rd Apr, 2021, ANBIIG(The Asian Novel Bio-Imaging and Intervention Group), Hong Kong <Online 開催>
2. Saito Y: Update: New Approach to Colonic ESD. Lecture for the ESD Special Interest Group Networking Event. Oral Presentation from Tokyo. ESD SIG Networking Session. 25th May, 2021, ASGE (American Society for Gastrointestinal Endoscopy), Downers Grove, IL, USA <Online 開催>
3. Saito Y: ESD in colonic lesions, how and what extent? Lecture. Oral Presentation from Tokyo. International Virtual Conferences. 7th June, 2021, Flexible Endoscopy Commission of the Argentinian Association of Surgery, Buenos Aires, Argentina <Online 開催>
4. Saito Y: 1) Ergonomics and Safety in Endoscopy. 2) ESD for early colonic cancer. 3) Ergonomics and Safety in Endoscopy. 1) Lecture and 2) video demonstration, 3) Lecture for JGES Summer Session. Oral Presentations from Tokyo. Yaroslavl Endoscopy Symposium (YES on Air 2021). 1)& 2) 25th Jun, 2021, 3) 26th Jun, 2021, Yaroslavl, Russia <Online 開催>
5. Saito Y: 1) Optical Diagnosis for Colorectal Neoplasia, What's New? 2) [LGI 6] Innovation and Expansion of Endoscopy in Lower GI Disorders. 1) Lecture at [LGI 6] Innovation and Expansion of Endoscopy in Lower GI Disorders. 2) Moderator. Oral Presentations from Tokyo. International Digestive Endoscopy Network 2021 (IDEN 2021). 26th Jun, 2021, Seoul, Korea <Online 開催>
6. Saito Y: Artificial intelligence. Lecture at Session 2: "Mega trends transforming the future of Endo-Lap". Oral Presentation from Tokyo. APELS Lower GI Webinar. 10th Jul, 2021, APELS (Asia Pacific Endo-Lap Surgery Group), Hong Kong <Online 開催>
7. Saito Y: 1) Colorectal Endoscopy. 2) Colorectal Lesions - Which Type Needs ESD? 1) Chair at Symposium E2. 2) Lecture at Symposium E4: Quick Answers to Hot Questions in ESD. Oral Presentations from Tokyo. APDW 2021 (Virtual). 1) 20th Aug, 2021, 2) 21st Aug, 2021, APDW (Asian Pacific Digestive Week), Kuala Lumpur, Malaysia <Online 開催>
8. Saito Y: Detection & characterization of colorectal tumors using LCI/BLI/CAD-EYE technology. Lecture. Oral Presentation from Tokyo. China-Japan Endoscopy Forum on Early Gastrointestinal Cancer Diagnosis & Treatment. 25th Aug, 2021, 上海交通大学医学院附属瑞金病院 (大腸診断篇), Shanghai, China <Online 開催>
9. Saito Y: 1) The New Progress of PEOM. 2) The Endoscopic diagnosis and Treatment of Early Esophageal Cancer. 3) The New Progress of Acid Inhibition Drug. Chair and Discussion for 1) 2) 3). Oral Presentation from Tokyo. Asia Voice International Digestive Disease Forum (Webinar). 27th Aug, 2021, Beijing Life Oasis Public Service Center, Beijing, China <Online 開催>
10. Saito Y: 1) Prevention and management of colorectal ESD associated adverse events. 2) LIVE

CASES from Policlinico Universitario A. Gemelli. 1) Lecture. 2) Discussant. Oral Presentations from Tokyo. Japanese Master for Colorectal Lesions (Virtual), 14th Sep, 2021, (Online)Course Director: Lucio Petruzzello, Fondazione Policlinico Universitario A. Gemelli – Roma, Rome, Italy.

11. Saito Y: Getting Started with AI in GI and Endoscopy. Panel Discussion and Q&A at Session 1. Oral Presentations from Tokyo. ASGE 3rd Annual Artificial Intelligence Summit (Virtual), 25th Sep, 2021, (Online)Organized by American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), Downers Grove, Illinois, USA.

12. Saito Y: 1) Characterisation of colorectal polyps using JNET and NICE clarifications and the role of new technology. 2) Colorectal ESD. 1) Lecture. 2) Live case from NCCH, Japan. Oral Presentations from Tokyo. The 5th Kent Endoscopy Training course (KENT 2021) (Virtual), 29th ~30th Sep, 2021, (Online)Organized by Dr. Zacharias Tsiamoulos (Course Convenor), Queen Elizabeth the Queen Mother Hospital. Kent, UK.

13. Saito Y: 大腸腫瘍の内視鏡診断と治療 -How to perform High-quality ESD-. Lecture.

Oral Presentation from Tokyo. 携手同"鏡"“奥” 視未来 拡大病理連合フォーラムシリーズ活動—嘉会日中早期大腸がんフォーラム(Online), 16th Oct,2021, 上海,中国

14. Saito Y: Traction Method - High quality ESD and indication for colorectal tumors. Lecture and Discussion at ADVANCED THERAPEUTIC ENDOSCOPY; SIED – Japan. Oral Presentations from Tokyo. (Online) ENDO SKILLS 2021, 31th Oct,2021, Organized by SIED (Interamerican Society of Digestive Endoscopy)

15. Saito Y: Change the future! Innovative system creates a new future. Lecture at Keynote Lecture III. Oral Presentation from Tokyo. 7th Annual Congress of the Digestive Endoscopy Society of Taiwan (DEST 2021), 7th Nov, 2021, Taichung, Taiwan.

16. Saito Y: How a Japanese gastroenterologist performs lower endoscopy? Lecture. Oral Presentation from Tokyo. Turkish National Gastroenterology Week. (Online), Susesi Hotel, Antalya, Turkey,18th Nov,2021.

17. Saito Y: Artificial Intelligence in Colorectal Cancer Screening, Diagnosis and Treatment. A New Era. Lecture at Japan-Russia Session “AI in Endoscopy and beyond”. Oral Presentation from Tokyo. 10th Jubilee Congress of Plastic Surgeons of Russia. (Online), Moscow, Russia, 1st Dec, 2021.

18. Saito Y: Diagnosis using JNET classification and ESD indication. Lecture and discussion at the Colonoscopy Symposium. Oral Presentation from Tokyo. London Live Endoscopy 2021. (Online), University College Hospital in London, London, UK, 9th Dec, 2021.

19. Saito Y: The recent advance of Image enhanced endoscopic diagnosis and treatment. Lecture. Oral Presentation from Tokyo (pre-recorded). Chinese Conference of Digestive Endoscopy (CCDE 2021), (Changsha Hunan Province, China) , 17th Dec, 2021.

20. Saito Y: Large colon polyps, EMR, U-EMR or ESD? Lecture. Oral Presentation from Tokyo. XIV Course Advances in Gastroenterology and Hepatology "Retaking Post Pandemic Gastroenterology" (Online). Santiago, Chile, 17th Mar, 2022.

21. 齋藤豊：ハンズオンセミナー「2. 大腸の挿入」の講師、第107回日本消化器病学会総会、2021/4/17 (ハイブリッド開催) ※会場参加、京王プラザホテル3F グレース、東京都

22. 齋藤豊：サテライトセミナー1「ESD治療のこれから」特別発言、第101回日本消化器内視鏡学会総会、2021/5/14 (ハイブリッド開催) ※会場参加、リーガロイヤルホテル広島4F ロイヤルホール1、広島市

23. 齋藤豊：サテライトセミナー4「大腸内視鏡診療における人工知能(AI)の現状と期待」演者、第101回日本消化器内視鏡学会総会、2021/5/15 (ハイブリッド開催) ※会場参加、リーガロイヤルホテル広島4F ロイヤルホール3、広島市

24. 齋藤豊：ランチョンセミナー19 講演2「今日から役に立つ、大腸内視鏡治療のコツ」演者、第101回日本消化器内視鏡学会総会、2021/5/16 (ハイブリッド開催) ※会場参加、リーガロイヤルホテル広島4F ロイヤルホール1、広島市

25. 齋藤豊：特別講演4「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドラインについて」演者、第60回日本消化器がん検診学会総会、2021/6/5 (完全オンライン開催) ※自宅から参加、ステーションコン

ファレンス東京、東京都

26. 齋藤豊：ランチョンセミナー9「ESDを攻略する新しい戦術～2本の索引糸を内蔵した新規フードの使用報告～」特別発言、第112回日本消化器内視鏡学会 関東支部例会、2021/6/13（完全WEB配信）※会場参加、シェーンバッハ・サボー 3F、東京都
27. 齋藤豊：講演11「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」講師、第45回日本消化器内視鏡学会セミナー、2021/9/12、※Web開催（都内にてオンライン収録）、配信：2021年10月1日～10日
28. 齋藤豊：イブニングセミナー2 講演【「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」と大腸内視鏡検査のquality indicator (QI)】、第39回日本大腸検査学会総会、2021/10/1 ※ハイブリッド開催（会場参加）、シェーンバッハ・サボー、東京都
29. 齋藤豊：会長企画シンポジウム1 講演【内視鏡診断におけるAIの活用と今後の展開】、第59回日本癌治療学会学術集会、2021/10/21 ※ハイブリッド開催、パシフィコ横浜 第1会場（会議センター1Fメインホール）（会場参加）、横浜市
30. 齋藤豊：講演【医療現場におけるAIとの上手な付き合い方～AI内視鏡は日常診療に何をもたらすか～】、日経クロスヘルス EXPO 2021、2021/10/21 ※オンライン開催、配信会場：浜松町コンベンションホール&Hybrid スタジオ（会場参加）、東京都
31. 齋藤豊：WS6-1 基調講演「大腸腫瘍内視鏡診断の新たな展開—JNET/AIの今後の展望」、第76回日本大腸肛門病学会学術集会、2021/11/13、※ハイブリッド開催（会場参加）、リーガロイヤルホテル広島・ロイヤルホール2、広島市
32. 齋藤豊：JGES-Kanto Cup-伝統と革新- 基調講演【一伝統のある関東支部例会から革新的な発信を一】、第113回日本消化器内視鏡学会関東支部例会(WEB開催)、東京医科大学病院 9階講堂 第1会場、東京都(会場参加)、2021/12/5
33. 齋藤豊：特別講演【大腸内視鏡スクリーニングと精密診断の現状と将来～人工知能(AI)の最新の知見も含めて～】、日本消化器病学会東北支部第212回例会／第167回日本消化器内視鏡学会東北支部例会、2022/2/4、第1会場（フォレスト仙台 2F 第1フォレストホール）、仙台市（会場参加）

（2年次書籍）

1. 小山洋平、齋藤豊：V. 大腸 C. 平坦または陥凹性病変、診断力UP! アルゴリズムで読み解く消化管内視鏡、(株)南江堂、東京都、2021年11月15日発行：240-250.
2. 齋藤豊：Legend Tips No.113「ESDの縁の下の力持ち CO₂送気」、教科書では教えてくれない！私の消化器内視鏡 Tips Vol.2+ レジェンドTips、編者：小野敏嗣、医学書院、東京都、2021年11月15日発行：132-133.

（2年次知的財産権）

記載なし

（2年次政策提言（寄与した指針等））

1. 日本消化器内視鏡学会・大腸 cold polypectomy ガイドライン委員会（大腸 ESD/EMR ガイドライン追補）の作成委員、共著・全18名の3番目（筆頭著者：浦岡俊夫）、「大腸 cold polypectomy ガイドライン（大腸 ESD/EMR ガイドライン追補）」、Gastroenterological Endoscopy、2021(5月)、63(5): 1147-1158.

（2年次その他）

記載なし

研究分担者：松田尚久

（2年次雑誌論文）※2021年度（2021年4月以降）のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Matsuda T. Risk of metachronous neoplastic lesions during post-polypectomy surveillance in individuals with advanced colorectal neoplasia at initial screening colonoscopy. J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2230-2238. (30-A-16) 査読有

2. Saito Y, Kodashima S, Matsuda T, Matsuda K, Fujishiro M, Tanaka K, Kobayashi K, Katada C, Horimatsu T, Muto M, Ohtsuka K, Oda I, Kato M, Kida M, Hoteya S, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Iishi H, Ogata H, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H, Inoue H. Current status of diagnostic and therapeutic colonoscopy in Japan: The Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc.* 2022 Jan;34(1):144-152. (29-A-13, 2020-A-12) 査読有
 3. Takamaru H, Saito Y, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Sekine S, Ochiai H, Tsukamoto S, Shida D, Kanemitsu Y. Endoscopic Resection Before Surgery Does Not Affect the Recurrence Rate in Patients With High-Risk T1 Colorectal Cancer. *Clin Transl Gastroenterol.* 2021 Apr 12;12(4):e00336.(25-A-12, 28-K-1, and 29-A-13) 査読有
 4. Mizuguchi Y, Tanaka Y, Cho H, Sekiguchi M, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Hashimoto T, Sekine S, Saito Y. Endoscopic features of isolated and traditional serrated adenoma-associated superficially serrated adenomas of the colorectum. *Dig Endosc.* 2022 Jan;34(1):153-162. (29-A-13) 査読有
 5. Sekiguchi M, Kakugawa Y, Ikematsu H, Hotta K, Konda K, Tanaka Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Saito Y, Imai K, Ito S, Koga Y, Iwasaki M, Murakami Y, Matsuda T. Risk Stratification Score Improves Sensitivity for Advanced Colorectal Neoplasia in Colorectal Cancer Screening: The Oshima Study Workgroup. *Clin Transl Gastroenterol.* 2021 Mar;12(3):e00319. (27-A-5, 30-A-16) 査読有
 6. Sekiguchi M, Igarashi A, Mizuguchi Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Maltzman H, Falkén Y, Esaki M, Matsuda T, Saito Y. Cost-effectiveness analysis of endoscopic resection for colorectal laterally spreading tumors: endoscopic submucosal dissection versus piecemeal endoscopic mucosal resection. *Dig Endosc.* 2022 Mar;34(3):553-568. (31-A-25) 査読有
 7. Iwasaki M, Kanehara R, Yamaji T, Katagiri R, Mutoh M, Tsunematsu Y, Sato M, Watanabe K, Hosomi K, Kakugawa Y, Ikematsu H, Hotta K, Kunisawa J, Wakabayashi K, Matsuda T. Association of *Escherichia coli* containing polyketide synthase in the gut microbiota with colorectal neoplasia in Japan. *Cancer Sci.* 2022 Jan;113(1):277-286. (25-A-14, 27-A-5, 30-A-16) 査読有
- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
1. Medina-Prado L, Hassan C, Dekker E, Bisschops R, Alfieri S, Bhandari P, Bourke MJ, Bravo R, Bustamante-Balen M, Dominitz J, Ferlitsch M, Fockens P, van Leerdam M, Lieberman D, Herráiz M, Kahi C, Kaminski M, Matsuda T, Moss A, Pellisé M, Pohl H, Rees C, Rex DK, Romero-Simó M, Rutter MD, Sharma P, Shaukat A, Thomas-Gibson S, Valori R, Jover R. When and How To Use Endoscopic Tattooing in the Colon: An International Delphi Agreement. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2021 May;19(5):1038-1050. 査読有
 2. Tanaka S, Saitoh Y, Matsuda T, Igarashi M, Matsumoto T, Iwao Y, Suzuki Y, Nozaki R, Sugai T, Oka S, Itabashi M, Sugihara KI, Tsuruta O, Hirata I, Nishida H, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K. Evidence-based clinical practice guidelines for management of colorectal polyps. *J Gastroenterol* 56:323-335, 2021. 査読有
 3. Saito Y, Oka S, Kawamura T, Shimoda R, Sekiguchi M, Tamai N, Hotta K, Matsuda T, Misawa M, Tanaka S, Iriguchi Y, Nozaki R, Yamamoto H, Yoshida M, Fujimoto K, Inoue H. Colonoscopy Screening and Surveillance Guidelines. *Dig Endosc.* 2021 May;33(4):486-519. 査読有
 4. Tagawa T, Yamada M, Minagawa T, Sekiguchi M, Konda K, Tanaka H, Takamaru H, Sekiguchi M, Sakamoto T, Matsuda T, Kuchiba A, Yoshida H, Saito Y. Endoscopic characteristics influencing postpolypectomy bleeding in consecutive 1147 pedunculated colonic polyps: a multicenter retrospective study. *Gastrointest Endosc.* 2021 Oct;94(4):803-811.e6. 査読有
 5. Yoshida N, Mano Y, Matsuda T, Sano Y, Inoue K, Hirose R, Dohi O, Itoh Y, Goto A, Sobue T, Takeuchi Y, Nakayama T, Muto M, Ishikawa H. Complications of colonoscopy in Japan: An analysis using large-scale health insurance claims data. *J Gastroenterol Hepatol.* 2021 Oct;36(10):2745-2753. doi: 10.1111/jgh.15531. 査読有
 6. Mori Y, Kudo SE, Misawa M, Hotta K, Kazuo O, Saito S, Ikematsu H, Saito Y, Matsuda T, Kenichi T, Kudo T, Nemoto T, Itoh H, Mori K. Artificial intelligence-assisted colonic endocytoscopy for cancer recognition: a multicenter study. *Endosc Int Open.* 2021 Jul;9(7):E1004-E1011. 査読有

(2年次学会発表)

1. Matsuda T. Appearance of Malignant/ Nonresectable Lesions. INTERNATIONAL EXPERT APPROACH TO RECOGNITION AND MANAGEMENT OF MALIGNANT COLORECTAL POLYPS. DDW 2021, Oral session, Web presentation.
2. Matsuda T. Mastering the left colon: the recto-sigmoid and sigmoid-descending junctions. Virtual WEO LIVE High-Quality Course in Colonoscopy, Oral session, Web presentation.
3. Matsuda T. Current Status and Future Perspective of Colorectal Cancer Screening and Surveillance in Japan, Tokyo Live 2021. Oral session, Web presentation.
4. 松田尚久. 大腸腫瘍に対する内視鏡治療後サーベイランス. 第76回日本大腸肛門病学会学術集会. 2021/11/12, 広島
5. 松田尚久. 大腸がん検診における内視鏡の有効活用に向けて. 第59回日本消化器がん検診学会大会. 2021/11/4, 神戸
6. 松田尚久. 大腸がん検診の最前線—海外の現状と日本の将来展望. 第101回日本消化器内視鏡学会総会. 2021/5/14, 広島
7. 松田尚久. リスク層別スコアを用いた大腸がん検診の可能性: 大島スタディによる検証. 第60回日本消化器がん検診学会総会. 2021/6/4, 東京
8. 松田尚久. 大腸がん検診の現状と将来展望. 第49回日本消化器がん検診学会近畿地方会. 2021/3/20, web 発表.
9. 松田尚久. 内視鏡を大腸がん検診の modality として用いるには. 第50回日本消化器がん検診学会 東海北陸地方会. 2021/9/25, web 発表.

(2年次書籍)

1. 松田尚久, 藤井隆広, 佐野寧. 内視鏡的大腸ポリプ切除後のサーベイランス間隔に関するランダム化比較試験: Japan Polyp Study. 『消化器病学サイエンス』 vol.5 no.2 (2021)

(2年次知的財産権)

記載なし

(2年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(2年次その他)

記載なし

研究分担者: 小田一郎

(2年次雑誌論文) ※2021年度(2021年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Abe S, Yamazaki T, Hisada IT, Makiguchi ME, Yoshinaga S, Sato T, Nonaka S, Suzuki H, Oda I, Saito Y. Visibility of early gastric cancer in texture and color enhancement imaging. DEN open. 2021 Aug 24;2(1):e46. doi: 10.1002/deo2.46. 査読有
2. Hayashi S, Takenaka M, Kogure H, Yakushijin T, Maruyama H, Hori Y, Yoshio T, Ikezawa K, Takagi T, Asai S, Matsunaga K, Matsumoto K, Tsumura H, Yamaguchi S, Sumiyoshi T, Nagaike K, Tamaru Y, Hara K, Fujisawa T, Oda I, Ohnita K, Kato M, Nebiki H, Mikami T, Nishihara A, Egawa S, Minami R, Hosono M, Nishida T. A questionnaire survey on radiation protection among 282 medical staff from 26 endoscopy-fluoroscopy departments in Japan. DEN open. 2021 Apr 21;1(1):e5. doi:10.1002/deo2.5. 査読有
3. Cho H, Hashimoto T, Naka T, Yatabe Y, Oda I, Saito Y, Yoshikawa T, Sekine S. Activating KRAS and GNAS mutations in heterotopic submucosal glands of the stomach. J Gastroenterol. 2022;57(5):333-

343. doi: 10.1007/s00535-022-01863-x. 査読有
4. Yoshida M, Takizawa K, Hasuike N, Ono H, Boku N, Kadota T, Mizusawa J, Oda I, Yoshida N, Horiuchi Y, Hirasawa K, Morita Y, Yamamoto Y, Muto M; Gastrointestinal Endoscopy Group of the Japan Clinical Oncology Group. Second gastric cancer after curative endoscopic resection of differentiated-type early gastric cancer: post-hoc analysis of a single-arm confirmatory trial. *Gastrointest Endosc.* 2022 Apr;95(4):650-659. doi: 10.1016/j.gie.2021.11.050 査読有
 5. Makiguchi ME, Abe S, Okagawa Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Ryuta O, Saito Y. Preclinical Efficacy and Clinical Feasibility of a Novel Aerosol-Exposure Protection Mask for Esophagogastroduodenoscopy. *Clin Endosc.* 2022;55(2):226-233. doi: 10.5946/ce.2021.178-IDEN.
 6. Watanabe Y, Oikawa R, Agawa S, Matsuo Y, Oda I, Futagami S, Yamamoto H, Tada T, Itoh F. Combination of artificial intelligence-based endoscopy and miR148a methylation for gastric indefinite dysplasia diagnosis. *J Clin Lab Anal.* 2022 Jan;36(1):e24122. doi: 10.1002/jcla.24122. 査読有
 7. Ishizu K, Hashimoto T, Naka T, Yatabe Y, Kojima M, Kuwata T, Nonaka S, Oda I, Esaki M, Kudo M, Gotohda N, Yoshida T, Yoshikawa T, Sekine S. APC mutations are common in adenomas but infrequent in adenocarcinomas of the non-ampullary duodenum. *J Gastroenterol.* 2021 Nov;56(11):988-998. doi:10.1007/s00535-021-01823-x. 査読有
 8. Kato M, Takeuchi Y, Hoteya S, Oyama T, Nonaka S, Yoshimizu S, Kakushima N, Ohata K, Yamamoto H, Hara Y, Doyama H, Dohi O, Yamasaki Y, Ueyama H, Takimoto K, Kurahara K, Tashima T, Abe N, Nakayama A, Oda I, Yahagi N. Outcomes of endoscopic resection for superficial duodenal tumors: 10 years' experience in 18 Japanese high-volume centers. *Endoscopy.* 2022;54(7):663-670. doi: 10.1055/a-1640-3236. 査読有
 9. Ueyama H, Yao T, Akazawa Y, Hayashi T, Kurahara K, Oshiro Y, Yamada M, Oda I, Fujioka S, Kusumoto C, Fukuda M, Uchita K, Kadota T, Oono Y, Okamoto K, Murakami K, Matsuo Y, Kato M, Maehata T, Yahagi N, Yasuhara Y, Yada T, Uraushihara K, Yamane T, Matsuo T, Ito M, Maruyama Y, Osako A, Ono S, Kato M, Yagi K, Hashimoto T, Tomita N, Tsuyama S, Saito T, Matsumoto K, Matsumoto K, Watanabe S, Uemura N, Chiba T, Nagahara A. Gastric epithelial neoplasm of fundic-gland mucosa lineage: proposal for a new classification in association with gastric adenocarcinoma of fundic-gland type. *J Gastroenterol.* 2021 Sep;56(9):814-828. doi:10.1007/s00535-021-01813-z. 査読有
 10. Abe S, Oguma J, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y, Daiko H. Novel hybrid endoscopy-assisted larynx-preserving esophagectomy for cervical esophageal cancer (with video). *Jpn J Clin Oncol.* 2021;51(7):1171-1175. doi:10.1093/jcco/hyab045. 査読有
 11. Abe S, Takizawa K, Oda I, Mizusawa J, Kadota T, Ono H, Hasuike N, Yano T, Yamamoto Y, Horiuchi Y, Nagata S, Yoshikawa T, Terashima M, Muto M. Incidence and treatment outcomes of metachronous gastric cancer occurring after curative endoscopic submucosal dissection of undifferentiated-type early gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group study-post hoc analysis of JCOG1009/1010. *Gastric Cancer.* 2021;24(5):1123-1130. doi: 10.1007/s10120-021-01183-8. 査読有
 12. Saito Y, Kodashima S, Matsuda T, Matsuda K, Fujishiro M, Tanaka K, Kobayashi K, Katada C, Horimatsu T, Muto M, Ohtsuka K, Oda I, Kato M, Kida M, Hoteya S, Yamamoto H, Ryozaawa S, Iwakiri R, Kutsumi H, Kato M, Haruma K, Fujimoto K, Iishi H, Ogata H, Uemura N, Kaminishi M, Tajiri H, Inoue H. Current status of diagnostic and therapeutic colonoscopy in Japan: The Japan Endoscopic Database Project. *Dig Endosc.* 2022 Jan;34(1):144-152. doi: 10.1111/den.13980. 査読有
 13. Abe S, Matsuzaki J, Sudo K, Oda I, Katai H, Kato K, Takizawa S, Sakamoto H, Takeshita F, Niida S, Saito Y, Ochiya T. A novel combination of serum microRNAs for the detection of early gastric cancer. *Gastric Cancer.* 2021;24(4):835-843. doi:10.1007/s10120-021-01161-0. 査読有
 14. Kadota T, Minashi K, Wakabayashi M, Yano T, Ezoe Y, Tsuchida T, Ono H, Iizuka T, Matsuura N, Oda I, Takizawa K, Katayama H, Fukuda H, Muto M. Diagnostic yield of conventional endoscopy with endoscopic ultrasonography for submucosal invasion of superficial esophageal squamous cell carcinoma: a post hoc analysis of multicenter prospective confirmatory study (JCOG0508). *Esophagus.* 2021;18(3):604-611. doi: 10.1007/s10388-021-00815-3. 査読有
 15. Takizawa K, Ono H, Hasuike N, Takashima A, Minashi K, Boku N, Kushima R, Katayama H, Ogawa G, Fukuda H, Fujisaki J, Oda I, Yano T, Hori S, Doyama H, Hirasawa K, Yamamoto Y,

Ishihara R, Tanabe S, Niwa Y, Nakagawa M, Terashima M, Muto M: Gastrointestinal Endoscopy Group (GIESG) and the Stomach Cancer Study Group (SCSG) of Japan Clinical Oncology Group. A nonrandomized, single-arm confirmatory trial of expanded endoscopic submucosal dissection indication for undifferentiated early gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG1009/1010). *Gastric Cancer*. 2021 Mar;24(2):479-491. doi: 10.1007/s10120-020-01134-9. 査読有

(2年次学会発表)

なし

(2年次書籍)

記載なし

(2年次知的財産権)

記載なし

(2年次政策提言(寄与した指針等))

胃癌に対するESD・EMRガイドライン委員会作成委員(日本消化器内視鏡学会 2010年～)
ガイドライン評価委員会委員(日本胃癌学会 2014年～)

(2年次その他)

記載なし

研究分担者:坂本琢

(2年次雑誌論文) ※2021年度(2021年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Koyama Y, Fukuzawa M, Kono S, Madarame A, Morise T, Uchida K, Yamaguchi H, Sugimoto A, Nagata N, Kawai T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y, Itoi T. Diagnostic efficacy of the Japan NBI Expert Team classification with dual-focus magnification for colorectal tumors. *Surg Endosc*. 2022 Jul;36(7):5032-5040. 査読有
2. Sakamoto T, Nakashima H, Nakamura K, Nagahama R, Saito Y. Performance of Computer-Aided Detection and Diagnosis of Colorectal Polyps Compares to That of Experienced Endoscopists. *Dig Dis Sci*. 2022 Aug;67(8):3976-3983. 査読有
3. Sakamoto T, Cho H, Saito Y. Clinical Applications of Linked Color Imaging and Blue Laser/Light Imaging in the Screening, Diagnosis, and Treatment of Superficial Colorectal Tumors. *Clin Endosc*. 2021 Jul;54(4):488-493. 査読有
4. Inoki K, Abe S, Tanaka Y, Yamamoto K, Hihara D, Ichijima R, Nakatani Y, Chen H, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Matsuda T, Saito Y: Reduced Intravenous Fluorescein Dose for Upper and Lower Gastrointestinal Tract Probe-Based Confocal Laser Endomicroscopy. *Clin Endosc*. 2021 May;54(3):363-370. doi: 10.5946/ce.2020.058.

(2年次学会発表)

1. 坂本琢, 齋藤豊, 吉田茂昭: JNET 第2次国内 Validation study-JNET 分類の信頼性に関する検討. 第101回日本消化器内視鏡学会総会, 2021.

(2年次書籍)

記載なし

(2年次知的財産権)

記載なし

(2年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(2年次その他)

記載なし

研究分担者：松元祐司

(2年次雑誌論文) ※2021年度(2021年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの(全件査読有)

1. Matsumoto Y, Nakai T, Tanaka M, Imabayashi T, Tsuchida T, Ohe Y. Diagnostic Outcomes and Safety of Cryobiopsy Added to Conventional Sampling Methods: An Observational Study. *Chest*. 2021;160(5):1890-1901. (29-A-13)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの(全件査読有)

1. Okubo Y, Matsumoto Y, Tanaka M, Imabayashi T, Uezono Y, Watanabe SI, Tsuchida T. Clinical validity of 25-gauge endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle in lymph node staging of lung cancer. *J Thorac Dis*. 2021;13(5):3033-3041.
2. Aoki H, Uchimura K, Imabayashi T, Matsumoto Y, Higashiyama M, Watanabe SI, Tsuchida T. Nodular-type central squamous cell lung carcinoma cured by intraluminal bronchoscopic treatment: A case report. *Thorac Cancer*. 2021;12(17):2411-2414.
3. Uchimura K, Imabayashi T, Matsumoto Y, Tsuchida T. Intravascular Lymphoma Diagnosed by "Hot Lung" Sign. *Intern Med*. 2022;61(5):761-762.
4. Nogawa H, Matsumoto Y, Tanaka M, Tsuchida T. Diagnostic usefulness of bronchoscopy for peripheral pulmonary lesions in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *J Thorac Dis*. 2021;13(11):6304-6313.
5. Uchimura K, Yanase K, Imabayashi T, Takeyasu Y, Furuse H, Tanaka M, Matsumoto Y, Sasada S, Tsuchida T. The impact of core tissues on successful next-generation sequencing analysis of specimens obtained through endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration. *Cancers (Basel)*. 2021;13(23):5879.
6. Suzuki M, Matsumoto Y, Imabayashi T, Teishikata T, Tsuchida T, Asamura H, Yatabe Y. Cryobiopsy as a reliable technique for the preoperative identification of micropapillary/solid components in early-stage lung adenocarcinoma. *Lung Cancer*. 2021;162:147-153.
7. Tsujimoto Y, Matsumoto Y, Tanaka M, Imabayashi T, Uchimura K, Tsuchida T. Diagnostic value of bronchoscopy for peripheral metastatic lung tumors. *Cancers (Basel)*. 2022;14(2):375.
8. 生島 弘彬, 平石 尚久, 田宮 浩之, 天野 陽介, 鹿毛 秀宣, 田中 剛, 佐藤 雅昭, 松元 祐司, 土田 敬明, 長瀬 隆英. 2回の気管支ステント挿入と photodynamic therapy を含む集学的治療により全身状態の低下を伴わずに 9th-line までの化学療法を継続しえた肺扁平上皮癌の1例. *気管支学*. 43巻5号, 473-479, 日本呼吸器内視鏡学会, 2021.

(2年次学会発表)

1. Matsumoto Y, et al: Validation of factors make cryobiopsy more effective for peripheral pulmonary lesions: results of the MINERVA registry. Oral presentation. 25th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. 21st November, 2021, Kyoto International Conference Hall, Japan.
2. Furuse H, Matsumoto Y, et al: Diagnostic efficacy of cryobiopsy for peripheral pulmonary lesions with ground-glass opacity: a propensity score matching analysis. Poster presentation. 25th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. On-demand broadcasting, 2021, Kyoto International Conference Hall, Japan.
3. Matsumoto Y, et al. Sampling eligibility of respiratory endoscopy for comprehensive genome profile. Mini-oral presentation. 第19回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2022/2/17, 京都.

4. 松元 祐司, 他: 多施設共同レジストリを用いた, クライオ生検が有効な末梢肺病変の因子に関する検討. ワークショップ. 第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2021/6/25, 名古屋.
5. 柳瀬 恒明, 松元 祐司, 他: EBUS-TBNA 検体のオンコマイン Dx Target Test マルチ解析の成否に関わる臨床的要因の検討. 口頭発表. 第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2021/6/24-25, 名古屋 (オンデマンド配信).
6. 中込 貴博, 松元 祐司, 他: EBUS-TBNA を用いたリンパ節 staging の適切な症例選択に関する検討. 口頭発表. 第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2021/6/24-25, 名古屋 (オンデマンド配信).
7. 今林 達哉, 松元 祐司, 他: 無水胸膜播種と少量胸水貯留に対する局所麻酔下胸腔鏡検査による胸膜ステージングの有用性. 口頭発表. 第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2021/6/24-25, 名古屋 (オンデマンド配信).

(2年次書籍)

1. 松元 祐司: 末梢肺病変の気管支鏡診断. 呼吸器ジャーナル. 69巻2号, 205-213, 医学書院, 2021.
2. 松元 祐司: 検体採取. 気管支学. 43巻5号, 548-552, 日本呼吸器内視鏡学会, 2021.
3. 品川 尚文, 浅野 文祐, 今林 達哉, 沖 昌英, 栗本 典昭, 中島 崇裕, 西井 洋一, 丹羽 崇, 姫路 大輔, 松元 祐司. クライオ生検指針—安全にクライオ生検を行うために—. 気管支学. 43巻4号, 355-364, 日本呼吸器内視鏡学会, 2021.
4. 古瀬 秀明, 松元 祐司: 肺癌生検技術の進歩と検体採取方法の工夫. 肺癌. 61巻7号, 924-931, 日本肺癌学会, 2021.

(2年次知的財産権)

記載なし

(2年次政策提言 (寄与した指針等))

記載なし

(2年次その他)

記載なし

研究分担者: 小林 望

(2年次雑誌論文) ※2021年度 (2021年4月以降) のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Kobayashi N, Takeuchi Y, Ohata K, Igarashi M, Yamada M, Kodashima S, Hotta K, Harada K, Ikematsu H, Uraoka T, Sakamoto N, Doyama H, Abe T, Katagiri A, Hori S, Michida T, Yamaguchi T, Fukuzawa M, Kiriya S, Fukase K, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y. Outcomes of endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms: Prospective, multicenter, cohort trial. Dig Endosc. 2022 Jul;34(5):1042-51.(21-25, 29-A-13, 2020-A-12)査読有

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
記載なし

(2年次学会発表)

1. DDW2021, Washington, USA(Virtual), (2021/5/21-23)
Three-year prognosis survey after colorectal ESD -Multicenter prospective study among Japanese forefront-. Keita Harada, Nozomu Kobayashi, Ken Ohata, Yoji Takeuchi, Akiko Chino, Masayoshi Yamada, Yosuke Tsuji, Kinichi Hotta, Hiroaki Ikematsu, Toshio Uraoka, Takashi Murakami, Hisashi Doyama, Takashi Abe, Atsushi Katagiri, Shinichiro Hori, Tomoki Michida, Takuto Suzuki, Masakatsu Fukuzawa, Shinsuke Kiriya, Kazutoshi Fukase, Yoshitaka Murakami, Hideki Ishikawa, Yutaka Saito
2. 第95回大腸癌研究会、旭川 (Virtual)、(2021/7/1-2)
大腸 ESD 後の局所再発と異時性多発癌—多施設共同前向き研究 (CREATE-J) より—
村上 敬、坂本 直人、原田 馨太、小林 望、大圃 研、竹内 洋司、斎藤 彰一、辻 陽介、堀田 欣

一、池松 弘朗、浦岡 俊夫、土山 寿志、阿部 孝、片桐 敦、堀 伸一郎、道田 知樹、石川 秀樹、齋藤 豊

(2年次書籍)
記載なし

(2年次知的財産権)
記載なし

(2年次政策提言 (寄与した指針等))
記載なし

(2年次その他)
記載なし

研究分担者：蓑田洋介

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
1. Y Minoda, Y Hisamatsu, E Ihara. Usefulness of preoperative site marking with an indocyanine green fluorescent clip for gastrointestinal stromal tumor. *Dig Endosc.* 2021 Jul;33(5):e95-e96. 査読あり
 2. Y Minoda, S Nagatomo, N Fujimori, K Nishioka, S Kakehashi, K Teramatsu, Y Takamatsu, H Ogino, E Ihara. Usefulness of a gel immersion-assisted EUS-guided fine-needle aspiration/biopsy for ampullary lesions (with videos). *Endosc Ultrasound.* 2022 Mar-Apr;11(2):143-144. 査読あり

- (2年次学会発表)
1. 蓑田洋介, 長友周三郎, 藤森尚, 荻野治栄, 伊原栄吉, 十二指腸粘膜下腫瘍に対する人工知能併用超音波内視鏡画像診断の有用性, 第111回消化器病支部例会、2021年6月, 福岡

(2年次書籍)
記載なし

(2年次知的財産権)
記載なし

(2年次政策提言 (寄与した指針等))
記載なし

(2年次その他)
記載なし

3年次

研究代表者：吉永 繁高

(3年次雑誌論文)
・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

- ・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
- 1. Makiguchi ME, Abe S, Okagawa Y, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Ryuta O, Saito Y. Preclinical Efficacy and Clinical Feasibility of a Novel Aerosol-Exposure Protection Mask for Esophagogastroduodenoscopy. Clin Endosc 2022;55 :226-233.
- 2. Abe S, Hirai Y, Uozumi T, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma: Current indications and treatment outcomes. DEN open. 2021 Sep 20;2(1):e45. doi: 10.1002/deo2.45. eCollection 2022 Apr.
- 3. Abe S, Yamazaki T, Hisada IT, Makiguchi ME, Yoshinaga S, Sato T, Nonaka S, Suzuki H, Oda I, Saito Y. Visibility of early gastric cancer in texture and color enhancement imaging. DEN open. 2021 Aug 24;2(1):e46. doi: 10.1002/deo2.46. eCollection 2022 Apr.
- 4. Koizumi E, Goto O, Yoshinaga S, Yabuuchi Y, Yoshida M, Akimoto T, Noda H, Onda T, Kirita K, Umeda T, Higuchi K, Omori J, Kaise M, Iwakiri K. Circularity Is a Potential Noninvasive Diagnostic Indicator to Differentiate Gastric Submucosal Tumors. Digestion. 2022;103(4):287-295.
- 5. 吉永 繁高, 鈴木 晴久, 高丸 博之, 牧口 茉衣, 阿部 清一郎, 野中 哲, 齋藤 豊, 山形 幸徳, 吉川 貴己, 魚住 健志, 橋本 大輝, 関根 茂樹, 小田 一郎. 【予後不良な早期消化管癌】予後不良な早期胃癌の画像診断・病理. 胃と腸 57 巻 4 号 Page397-405, 2022.
- 6. 鶴木 絵里子, 吉永 繁高. 【内視鏡データリファレンスブック 2022】臓器別 咽頭・食道 咽頭・食道癌リスク因子とスクリーニング・サーベイランス. 消化器内視鏡 34 巻 4 号 Page527-531, 2022.
- 7. 平井 悠一郎, 吉永 繁高, 関根 茂樹. 【図説「胃と腸」画像診断用語集 2022】疾患 胃 腸型腺腫. 胃と腸 57 巻 5 号 Page601, 2022.
- 8. 魚住 健志, 吉永 繁高, 関根 茂樹. 【図説「胃と腸」画像診断用語集 2022】疾患 胃 幽門腺腫 (胃型腺腫). 胃と腸 57 巻 5 号 Page602, 2022.
- 9. 吉永 繁高, 牧口 茉衣, 高丸 博之, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 齋藤 豊, 吉川 貴己, 魚住 健志, 平井 悠一郎, 橋本 大輝, 関根 茂樹, 小田 一郎. 【特殊型胃癌-組織発生と内視鏡診断】希少な特殊型胃癌の内視鏡診断. 胃と腸 57 巻 7 号 Page949-958, 2022.
- 10. 阿部 清一郎, 牧口 茉衣, 野中 哲, 鈴木 晴久, 吉永 繁高, 齋藤 豊. 【ゲノムからロボットまでこれ一冊でわかる!最新の胃癌診療】内視鏡治療の適応と手技. 消化器外科 45 巻 6 号, 2022.
- 11. 久田 泉, 吉永 繁高, 小田 一郎. 【徹底解説! 食道胃接合部癌《最新版》】総論 食道胃接合部癌の診断. 臨床外科 77 巻 7 号 Page780-784, 2022.
- 12. 吉永 繁高, 高丸 博之, 牧口 茉衣, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 齋藤 豊. 【食道疾患の診療】その他の食道疾患の診療 食道粘膜下腫瘍. 臨床消化器内科 37 巻 9 号 Page1251-1255, 2022.
- 13. 吉永 繁高, 高丸 博之, 齋藤 豊. 【消化管 EUS のすべて】上部消化管疾患の EUS 診療 食道・胃粘膜下腫瘍に対する EUS 診断. 消化器内視鏡 34 巻 9 号 Page1491-1496, 2022.
- 14. 吉永 繁高, 高丸 博之, 牧口 茉衣, 阿部 清一郎, 野中 哲, 鈴木 晴久, 齋藤 豊, 橋本 大輝, 関根 茂樹. 【表在型食道扁平上皮癌-内視鏡診断と治療 update-】表在型食道扁平上皮癌の内視鏡診断 超音波細径プローブを用いた表在型食道扁平上皮癌の深達度診断. 消化器内視鏡 34 巻 11 号 Page1831-1835, 2022.

(3年次学会発表)

記載なし

(3年次書籍)

記載なし

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(3年次その他)

特記なし

研究分担者：齋藤 豊

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの(全件査読あり)

1. Saito Y, Ono A, Garcia VAJ, Mizuguchi Y, Hisada I, Takamaru H, Yamada M, Sekiguchi M, Makiguchi M, Sekine S, Abe S: Diagnosis and treatment of colorectal tumors: Differences between Japan and the West and future prospects. DEN Open. 2022 Apr;2(1): e66. doi: 10.1002/deo2.66. eCollection 2022 Apr. PMID: 35310722. Review. (29-A-13 and 2020-A-12)
2. Abe S, Hirai Y, Uozumi T, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y: Endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma: Current indications and treatment outcomes. DEN Open. 2022 Apr;2(1): e45. doi: 10.1002/deo2.45. eCollection 2022 Apr. PMID: 35310709. Review. (2020-A-4 and 2020-A-12)
3. Abe S, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y: Emerging texture and color enhancement imaging in early gastric cancer. Dig Endosc. 2022 May;34(4):714-720. doi: 10.1111/den.14182. PMID: 34716942 Review. (2020-A-4 and 2020-A-12)
4. Shiroma H, Shiba S, Erawijantari PP, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Kanemitsu Y, Mizutani S, Soga T, Saito Y, Shibata T, Fukuda S, Yachida S, Yamada T: Surgical Treatment for Colorectal Cancer Partially Restores Gut Microbiome and Metabolome Traits. mSystems. 2022 Apr 26;7(2): e0001822. doi: 10.1128/msystems.00018-22. PMID: 35311577. (2020-A-4)
5. Kobayashi N, Takeuchi Y, Ohata K, Igarashi M, Yamada M, Kodashima S, Hotta K, Harada K, Ikematsu H, Uraoka T, Sakamoto N, Doyama H, Abe T, Katagiri A, Hori S, Michida T, Yamaguchi T, Fukuzawa M, Kiriyama S, Fukase K, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y: Outcomes of endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms: Prospective, multicenter, cohort trial. Dig Endosc. 2022 Jul;34(5):1042-1051. doi: 10.1111/den.14223. PMID: 34963034. (29-A-13 and 2020-A-12)
6. Takamaru H, Stammers M, Yanagisawa F, Mizuguchi Y, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y: Conditional inference tree models to perceive depth of invasion in T1 colorectal cancer. Surg Endosc. 2022 Dec;36(12):9234-9243. doi: 10.1007/s00464-022-09414-4. PMID: 35915186. (25-A-12, 28-K-1 and 29-A-13)
7. Ohata K, Kobayashi N, Sakai E, Takeuchi Y, Chino A, Takamaru H, Kodashima S, Hotta K, Harada K, Ikematsu H, Uraoka T, Murakami T, Tsuji S, Abe T, Katagiri A, Hori S, Michida T, Suzuki T, Fukuzawa M, Kiriyama S, Fukase K, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y: Long-term Outcomes After Endoscopic Submucosal Dissection for Large Colorectal Epithelial Neoplasms: A Prospective, Multicenter, Cohort Trial From Japan. Gastroenterology. 2022 Nov;163(5):1423-1434.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2022.07.002. PMID: 35810779. (29-A-13 and 2020-A-12)
8. Sekiguchi M, Matsuda T, Hotta K, Saito Y: Post-polypectomy surveillance: the present and the future. Clin Endosc. 2022 Jul;55(4):489-495. doi: 10.5946/ce.2022.097. PMID: 35811404 Review. (2021-A-18)
9. Harai S, Hijioka S, Maruki Y, Ohba A, Nagashio Y, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy with antegrade stenting for recurrent hepatic hilar obstruction. Endoscopy. 2022 Aug;54(8): E398-E400. doi: 10.1055/a-1559-1550. PMID: 34450662. (31-A-13)
10. Koga T, Hijioka S, Nagashio Y, Ohba A, Maruki Y, Yoshinari M, Hisada Y, Harai S, Kitamura H, Maehara K, Murashima Y, Kawasaki Y, Kawahara S, Takeshita K, Yamada N, Satake T, Kondo S, Morizane C, Ueno H, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy without fistula dilation using a stent with a 5.9-Fr delivery system: Comparison to a conventional procedure with fistula dilation. DEN Open. 2022 Apr;2(1): e56. doi: 10.1002/deo2.56. eCollection 2022 Apr. PMID: 35310726. (31-A-13)
11. Kawasaki Y, Hijioka S, Nagashio Y, Ohba A, Maruki Y, Maehara K, Yoshinari M, Hisada Y, Harai S, Kitamura H, Murashima Y, Koga T, Kawahara S, Kondo S, Morizane C, Ueno H, Ushio J, Tamada K, Sugawara S, Sone M, Takamoto T, Nara S, Ban D, Esaki M, Arai Y, Shimada K, Saito Y, Okusaka T: A novel endoscopic technique using fully covered self-expandable metallic stents for benign strictures after hepaticojejunostomy: the saddle-cross technique (with video).

- Surg Endosc. 2022 Dec;36(12):9001-9010. doi: 10.1007/s00464-022-09358-9. PMID: 35817882. (31-A-13)
12. Kitamura H, Hijioka S, Nagashio Y, Ban D, Esaki M, Okusaka T, Saito Y: A case of high grade pancreatic intraepithelial neoplasia diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration. *Endoscopy*. 2022 Nov;54(11): E628-E630. doi: 10.1055/a-1730-3973. PMID: 35120388. (31-A-13)
 13. Yoshinari M, Hijioka S, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasonography-guided hepaticogastrostomy with parenchymal metal stent placement. *Endoscopy*. 2022 Dec;54(12): E719-E721. doi: 10.1055/a-1759-2479. PMID: 35255523. (31-A-13 and 2021-S-5)
 14. Hisada Y, Hijioka S, Ikeda G, Maehara K, Hashimoto T, Kitamura H, Harai S, Yoshinari M, Kawasaki Y, Murashima Y, Koga T, Takeshita K, Maruki Y, Ohba A, Nagashio Y, Kondo S, Morizane C, Ueno H, Saito Y, Yatabe Y, Okusaka T: Proportion of unresectable pancreatic cancer specimens obtained by endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition meeting the OncoGuide™ NCC Oncopanel System analysis suitability criteria: a single-arm, phase II clinical trial. *J Gastroenterol*. 2022 Dec;57(12):990-998. doi: 10.1007/s00535-022-01926-z. PMID: 36190682. (2022-A-16)
 15. Kawasaki Y, Hijioka S, Maehara K, Tamada K, Okusaka T, Saito Y: Endoscopic ultrasound-guided intra-afferent loop entero-enterostomy using a forward-viewing echoendoscope and insertion of a metal stent. *Endoscopy*. 2022 Dec;54(S 02):E815-E817. doi: 10.1055/a-1816-7943. PMID: 35523215. (2022-A-16)
 16. Fukushi G, Yamada M, Kaku Gawa Y, Gotoh M, Tanabe N, Ushiyama M, Watanabe T, Yamazaki T, Matsumoto M, Hirata M, Nakajima T, Sugano K, Yoshida T, Matsuda T, Igarashi Y, Saito Y: Genotype-phenotype correlation of small intestinal polyps on small-bowel capsule endoscopy in familial adenomatous polyposis. *Gastrointest Endosc*. 2023 Jan;97(1):59-68. e7. doi: 10.1016/j.gie.2022.08.042. Epub 2022 Sep 7. PMID: 36084716. (25-A-1, 31-A-2)
 17. Ikeda G, Hijioka S, Nagashio Y, Maruki Y, Ohba A, Hisada Y, Yoshinari M, Harai S, Kitamura H, Koga T, Murashima Y, Maehara K, Okada M, Yamashige D, Okamoto K, Hara H, Hagiwara Y, Agarie D, Takasaki T, Takeshita K, Kawasaki Y, Kondo S, Morizane C, Ueno H, Hiraoka N, Yatabe Y, Saito Y, Iwakiri K, Okusaka T: Fine-needle biopsy with 19G needle is effective in combination with endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition for genomic profiling of unresectable pancreatic cancer. *Dig Endosc*. 2023 Jan;35(1):124-133. doi: 10.1111/den.14423. Epub 2022 Sep 13. PMID: 35993898. (2022-A-16)
 18. Saito Y: Pathologic sm2 carries a moderate risk of metastases even without other unfavorable factors, but positive horizontal margins have low local recurrence risk after en bloc resection. *Endoscopy*. 2023 Mar;55(3):252-254. doi: 10.1055/a-1996-0826. Epub 2023 Jan 11. PMID: 36630975. (29-A-13 and 2020-A-12)
 19. Takamaru H, Saito Y, Toyoshima N, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T: Polyglycolic acid sheet with clipping for closing delayed perforation after colonic endoscopic submucosal dissection. *Endoscopy*. 2023 Dec;55(S 01): E211-E213. doi: 10.1055/a-1956-2046. Epub 2022 Nov 18. PMID: 36400051. (29-A-13)
 20. Hirata S, Toyoshima N, Takamaru H, Yamada M, Kobayashi N, Kozu T, Saito Y: Underwater endoscopic mucosal resection with submucosal injection. *Endoscopy*. 2023 Dec;55(S 01): E70-E71. doi: 10.1055/a-1930-6373. Epub 2022 Sep 30. PMID: 36179711 (29-A-13 and 2020-A-4)
 21. Hijioka S, Sakamoto Y, Nagashio Y, Maruki Y, Okusaka T, Saito Y: Troubleshooting for endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy stent migration: Additional stenting by the partial stent-in-stent method. *Endoscopy*. 2023 Dec;55(S 01): E122-E124. doi: 10.1055/a-1941-8357. Epub 2022 Oct 14. PMID: 36241177 (2022-A-16)
 22. Hijioka S, Sakamoto Y, Nagashio Y, Maruki Y, Okusaka T, Saito Y: Novel and safe plastic stent exchange method after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy with incomplete fistula (side hole method). *Endoscopy*. 2023 Dec;55(S 01): E24-E25. doi: 10.1055/a-1930-6319. Epub 2022 Sep 16. PMID: 36113486 (2022-A-16)
- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの（全件査読あり）
23. Okagawa Y, Abe S, Yamada M, Oda I, Saito Y: Artificial Intelligence in Endoscopy. *Dig Dis Sci*. 2022

- May;67(5):1553-1572. doi: 10.1007/s10620-021-07086-z. PMID: 34155567 Review.
24. Abe S, Makiguchi ME, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Saito Y: Emerging texture and color enhancement imaging in early gastric cancer. *Dig Endosc.* 2022 May;34(4):714-720. doi: 10.1111/den.14182. PMID: 34716942. Review.
 25. Saito Y, Takamaru H, Toyoshima N: Resection depth: a very important advantage for underwater EMR. *Endosc Int Open.* 2022 Jun 10;10(6): E729-E730. doi: 10.1055/a-1795-7635. eCollection 2022 Jun. PMID: 35692916
 26. Nakamura K, Hernández G, Sharma GG, Wada Y, Banwait JK, González N, Perea J, Balaguer F, Takamaru H, Saito Y, Toiyama Y, Kodera Y, Boland CR, Bujanda L, Quintero E, Goel A: A Liquid Biopsy Signature for the Detection of Patients With Early-Onset Colorectal Cancer. *Gastroenterology.* 2022 Nov;163(5):1242-1251.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2022.06.089. PMID: 35850198
 27. Abe S, Tomizawa Y, Saito Y: Can artificial intelligence be your angel to diagnose early gastric cancer in real clinical practice? *Gastrointest Endosc.* 2022 Apr;95(4):679-681. doi: 10.1016/j.gie.2021.12.042. PMID: 35177258
 28. Kuriki Y, Yoshioka T, Kamiya M, Komatsu T, Takamaru H, Fujita K, Iwaki H, Nanjo A, Akagi Y, Takeshita K, Hino H, Hino R, Kojima R, Ueno T, Hanaoka K, Abe S, Saito Y, Nakajima J, Urano Y: Development of a fluorescent probe library enabling efficient screening of tumour-imaging probes based on discovery of biomarker enzymatic activities. *Chem Sci.* 2022 Apr 20;13(16):4474-4481. doi: 10.1039/d1sc06889j. eCollection 2022 Apr 20. PMID: 35656140
 29. Sakamoto T, Akiyama S, Narasaka T, Suzuki H, Sekine S, Saito Y, Tsuchiya K: Anal Intraepithelial Neoplasia: Precursor of Anal Squamous Cell Carcinoma. *J Anus Rectum Colon.* 2022 Apr 27;6(2):92-99. doi: 10.23922/jarc.2021-077. eCollection 2022. PMID: 35572484 Review.
 30. Toyoshima N, Saito Y, Yamada M, Takamaru H, Sekine S, Kasuga K, Kudo SE: Early colorectal lesion (depressed type) detected using artificial intelligence. *Endoscopy.* 2022 Nov;54(11): E648-E649. doi: 10.1055/a-1732-7197. PMID: 35120394
 31. Saito Y, Yamada M, Mori Y: Although depth prediction of colorectal cancer with artificial intelligence is clinically relevant, standardization of histopathologic diagnosis should also be taken care of. *Gastrointest Endosc.* 2022 Jun;95(6):1195-1197. doi: 10.1016/j.gie.2022.02.008. PMID: 35365318
 32. Toyoshima N, Abe S, Saito Y: In addition to free deep margins, R0 resection should be required for T1 colorectal cancers to inform further surgical resection. *Endosc Int Open.* 2022 Apr 14;10(4): E291-E292. doi: 10.1055/a-1776-7729. eCollection 2022 Apr. PMID: 35433198
 33. Yachida T, Matsuda T, Sakamoto T, Nakajima T, Kakugawa Y, Maeshima AM, Taniguchi H, Kushima R, Tobinai K, Kobara H, Masugata H, Masaki T, Saito Y: Endoscopic features of colorectal lymphoma according to histological type. *JGH Open.* 2022 Apr 6;6(4):257-262. doi: 10.1002/jgh.3.12738. eCollection 2022 Apr. PMID: 35475204
 34. Uraoka T, Takizawa K, Tanaka S, Kashida H, Saito Y, Yahagi N, Yamano HO, Saito S, Hisabe T, Yao T, Watanabe M, Yoshida M, Saitoh Y, Tsuruta O, Igarashi M, Toyonaga T, Ajioka Y, Fujimoto K, Inoue H: Guidelines for Colorectal Cold Polypectomy (supplement to "Guidelines for Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection/Endoscopic Mucosal Resection"). *Dig Endosc.* 2022 May;34(4):668-675. doi: 10.1111/den.14250. PMID: 35113465 Review.
 35. Pecere S, Antonelli G, Dinis-Ribeiro M, Mori Y, Hassan C, Fuccio L, Bisschops R, Costamagna G, Jin EH, Lee D, Misawa M, Messmann H, Iacopini F, Petruzzello L, Repici A, Saito Y, Sharma P, Yamada M, Spada C, Frazzoni L: Endoscopists performance in optical diagnosis of colorectal polyps in artificial intelligence studies. *United European Gastroenterol J.* 2022 Oct;10(8):817-826. doi: 10.1002/ueg.2.12285. PMID: 35984903. Review.
 36. Kawamura T, Saito Y, Tanaka K: Structuring pathologic reports containing Japanese language for integration into an endoscopy database. *Dig Endosc.* 2022 Sep;34(6):1259. doi: 10.1111/den.14392. PMID: 35765764
 37. Sakamoto T, Nakashima H, Nakamura K, Nagahama R, Saito Y: Performance of Computer-Aided Detection and Diagnosis of Colorectal Polyps Compares to That of Experienced Endoscopists. *Dig Dis Sci.* 2022 Aug;67(8):3976-3983. doi: 10.1007/s10620-021-07217-6. PMID: 34403031
 38. Abe S, Yamazaki T, Hisada IT, Makiguchi ME, Yoshinaga S, Sato T, Nonaka S, Suzuki H, Oda

- I, Saito Y: Visibility of early gastric cancer in texture and color enhancement imaging. *DEN Open*. 2022 Apr; 24;2(1): e46. doi: 10.1002/deo2.46. eCollection 2022 Apr. PMID: 35310718
39. Kawasaki Y, Hijioka S, Saito Y: Modified double-guidewire technique using a new double-lumen catheter and 0.018-inch guidewire for difficult biliary cannulation. *Dig Endosc*. 2022 May;34(4): e71-e72. doi: 10.1111/den.14264. PMID: 35352854
 40. Kasuga K, Abe S, Oda I, Yoshinaga S, Suzuki H, Uraoka T, Saito Y: Guidewire-assisted technique for gastroscope insertion through stricture of Zenker's diverticulum for esophageal endoscopic submucosal dissection. *Endoscopy*. 2022 Jun;54(6): E279-E280. doi: 10.1055/a-1512-8278. PMID: 34215004
 41. Harai S, Hijioka S, Nagashio Y, Ohba A, Maruki Y, Sone M, Saito Y, Okusaka T, Fukasawa M, Enomoto N: Usefulness of the laser-cut, fully covered, self-expandable metallic stent for endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2022 Sep;29(9):1035-1043. doi: 10.1002/jhbp.1165. PMID: 35561015
 42. Cho H, Hashimoto T, Naka T, Yatabe Y, Oda I, Saito Y, Yoshikawa T, Sekine S: Activating KRAS and GNAS mutations in heterotopic submucosal glands of the stomach. *J Gastroenterol*. 2022 May;57(5):333-343. doi: 10.1007/s00535-022-01863-x. PMID: 35188590
 43. Kasuga K, Oda I, Nonaka S, Abe S, Suzuki H, Uraoka T, Saito Y: Endoscopic complete closure of duodenal mucosal defects using a clip with a looped thread after endoscopic resection. *Endoscopy*. 2022 Apr;54(4): E135-E136. doi: 10.1055/a-1443-4585. PMID: 33878791
 44. Ma X, Kawashima K, Saito Y: Using the string-clip method to retrieve the resected specimen allowed a clear observation of the colon and detection of a new lesion. *Dig Endosc*. 2022 May;34(4): e77-e78. doi: 10.1111/den.14276. PMID: 35318721
 45. Kasuga K, Saito Y, Takamaru H, Yamada M, Sakamoto T, Sekine S, Uraoka T: Optical real-time biopsy by endocytoscopy: a case of sessile serrated lesion with dysplasia. *Endoscopy*. 2022 May;54(5): E249-E251. doi: 10.1055/a-1443-4276. PMID: 34144615
 46. Takamaru H, Saito Y, Hammoud GM, Mizuguchi Y, Cho H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T: Comparison of postpolypectomy bleeding events between cold snare polypectomy and hot snare polypectomy for small colorectal lesions: a large-scale propensity score-matched analysis. *Gastrointest Endosc*. 2022 May;95(5):982-989.e6. doi: 10.1016/j.gie.2021.12.017. PMID: 34971668
 47. Ainechi D, Misawa M, Barua I, Larsen SLV, Paulsen V, Garborg KK, Aabakken L, Tønnesen CJ, Løberg M, Kalager M, Kudo SE, Hotta K, Ohtsuka K, Saito S, Ikematsu H, Saito Y, Matsuda T, Itoh H, Mori K, Bretthauer M, Mori Y: Impact of artificial intelligence on colorectal polyp detection for early-career endoscopists: an international comparative study. *Scand J Gastroenterol*. 2022 Oct;57(10):1272-1277. doi: 10.1080/00365521.2022.2070436. PMID: 35605150
 48. Koyama Y, Fukuzawa M, Kono S, Madarame A, Morise T, Uchida K, Yamaguchi H, Sugimoto A, Nagata N, Kawai T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y, Itoi T: Diagnostic efficacy of the Japan NBI Expert Team classification with dual-focus magnification for colorectal tumors. *Surg Endosc*. 2022 Jul;36(7):5032-5040. doi: 10.1007/s00464-021-08863-7. PMID: 34845549
 49. Hoshino Y, Hanaoka K, Sakamoto K, Yasunaga M, Kojima T, Kotani D, Nomoto A, Sasaki E, Komatsu T, Ueno T, Takamaru H, Saito Y, Seto Y, Urano Y: Molecular design of near-infrared (NIR) fluorescent probes targeting exopeptidase and application for detection of dipeptidyl peptidase 4 (DPP-4) activity. *RSC Chem Biol*. 2022 Jul 6;3(7):859-867. doi: 10.1039/d1cb00253h. eCollection 2022 Jul 6. PMID: 35866167
 50. Suto S, Matsuzaka M, Sawaya M, Sakuraba H, Mikami T, Matsuda T, Fujii T, Saito Y, Hotta K, Ikematsu H, Hanabata N, Saito H, Yoshida S, Fukuda S: Clinical Features of Fecal Immunochemical Test-Negative Colorectal Lesions based on Colorectal Cancer Screening among Asymptomatic Participants in Their 50s. *Asian Pac J Cancer Prev*. 2022 Jul 1;23(7):2325-2332. doi: 10.31557/APJCP.2022.23.7.2325. PMID: 35901338
 51. Sekiguchi M, Hotta K, Takeuchi Y, Tanaka S, Yamamoto H, Shinmura K, Harada K, Uraoka T, Hisabe T, Sano Y, Kondo H, Horimatsu T, Kikuchi H, Kawamura T, Nagata S, Yamamoto K, Tajika M, Tsuji S, Kusaka T, Okuyama Y, Yoshida N, Moriyama T, Hasebe A, So S, Kobara H, Kashida H,

- Miyanaga R, Kato S, Hayashi Y, Sada M, Fukuzawa M, Kato H, Takayama T, Konishi J, Matsushita HO, Narasaka T, Ohata K, Togashi K, Nakamura H, Moriichi K, Oda Y, Kanda N, Kuwai T, Terai S, Sanomura M, Kitamura S, Miyamoto H, Kiriyama S, Mizuno C, Saito Y, Sekine S, Ito S, Nakahira H, Oka S, Hayashi Y, Yoshimura K, Ishikawa H, Matsuda T; C-NET STUDY Group: Characteristics of colorectal neuroendocrine tumors in patients prospectively enrolled in a Japanese multicenter study: a first report from the C-NET STUDY. *J Gastroenterol.* 2022 Aug;57(8):547-558. doi: 10.1007/s00535-022-01877-5. PMID: 35554678
52. Koyama Y, Yamada M, Makiguchi ME, Sekiguchi M, Takamaru H, Sakamoto T, Kono S, Fukuzawa M, Sylvia Wu SY, Sugumaran A, Kawai T, Matsuda T, Itoi T, Saito Y: New scoring system to distinguish deep invasive submucosal and muscularis propria colorectal cancer during colonoscopy: a development and global multicenter external validation study (e-T2 Score). *Gastrointest Endosc.* 2022 Aug;96(2):321-329.e2. doi: 10.1016/j.gie.2022.03.002. PMID: 35271864
 53. Yamada M, Shino R, Kondo H, Yamada S, Takamaru H, Sakamoto T, Bhandari P, Imaoka H, Kuchiba A, Shibata T, Saito Y, Hamamoto R: Robust automated prediction of the revised Vienna Classification in colonoscopy using deep learning: development and initial external validation. *J Gastroenterol.* 2022 Nov;57(11):879-889. doi: 10.1007/s00535-022-01908-1. PMID: 35972582
 54. Hossain E, Abdelrahim M, Tanasescu A, Yamada M, Kondo H, Yamada S, Hamamoto R, Marugame A, Saito Y, Bhandari P: Performance of a novel computer-aided diagnosis system in the characterization of colorectal polyps, and its role in meeting Preservation and Incorporation of Valuable Endoscopic Innovations standards set by the American Society of Gastrointestinal Endoscopy. *DEN Open.* 2023 Apr; 3(1): e178. doi: 10.1002/deo2.178. eCollection 2023 Apr. PMID: 3632093
 55. Messmann H, Bisschops R, Antonelli G, Libânio D, Sinonquel P, Abdelrahim M, Ahmad OF, Areia M, Bergman JJGHM, Bhandari P, Boskoski I, Dekker E, Domagk D, Ebigbo A, Eelbode T, Eliakim R, Häfner M, Haidry RJ, Jover R, Kaminski MF, Kuvaev R, Mori Y, Palazzo M, Repici A, Rondonotti E, Rutter MD, Saito Y, Sharma P, Spada C, Spadaccini M, Veitch A, Gralnek IM, Hassan C, Dinis-Ribeiro M: Expected value of artificial intelligence in gastrointestinal endoscopy: European Society of Gastrointestinal Endoscopy (ESGE) Position Statement. *Endoscopy.* 2022 Dec;54(12):1211-1231. doi: 10.1055/a-1950-5694. Epub 2022 Oct 21. PMID: 36270318
 56. Uozumi T, Saito Y, Toyoshima N, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Abe S: Effective use of image-enhanced endoscopy and endoscopic submucosal dissection for multiple flat non-polypoid colorectal neoplasms. *Endoscopy.* 2022 Dec;54(12): E684-E685. doi: 10.1055/a-1753-9294. Epub 2022 Feb 18. PMID: 35180795.
 57. Uozumi T, Saito Y, Toyoshima N, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Abe S: Correction: Effective use of image-enhanced endoscopy and endoscopic submucosal dissection for multiple flat non-polypoid colorectal neoplasms. *Endoscopy.* 2022 Dec;54(12):C20. doi: 10.1055/a-1799-1644. Epub 2022 Mar 24. PMID: 35325932
 58. Hiki K, Ogata D, Hisada I, Sakamoto T, Hiroyuki T, Yamakawa K, Namikawa K, Takahashi A, Saito Y, Yamazaki N: Minimally invasive surgery combined with excision and endoscopic submucosal dissection for anorectal melanoma. *J Dermatol.* 2023 Jan;50(1): e26-e27. doi: 10.1111/1346-8138.16581. Epub 2022 Sep 16. PMID: 36111554
 59. Uraoka T, Uedo N, Oyama T, Saito Y, Yahagi N, Fujimoto A, Kawahara Y, Mabe K, Hikichi T, Yamamoto Y, Tajiri H: Efficacy and Safety of a Novel Hemostatic Peptide Solution During Endoscopic Submucosal Dissection: A Multicenter Randomized Controlled Trial. *Am J Gastroenterol.* 2023 Feb 1;118(2):276-283. doi: 10.14309/ajg.0000000000002060. Epub 2022 Nov 30. PMID: 36449784. Clinical Trial.
 60. Mori Y, Wang P, Løberg M, Misawa M, Repici A, Spadaccini M, Correale L, Antonelli G, Yu H, Gong D, Ishiyama M, Kudo SE, Kamba S, Sumiyama K, Saito Y, Nishino H, Liu P, Glissen Brown JR, Mansour NM, Gross SA, Kalager M, Bretthauer M, Rex DK, Sharma P, Berzin TM, Hassan C: Impact of Artificial Intelligence on Colonoscopy Surveillance After Polyp Removal: A Pooled Analysis of Randomized Trials. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2023 Apr;21(4):949-959.e2. doi: 10.1016/j.cgh.2022.08.022. Epub 2022 Aug 28. PMID: 36038128

61. 山田真善、齋藤豊 (2 番目)、他 3 名 (全 5 名) : (1) 大腸内視鏡 AI 診断のトピックス—自動診断時代の幕開け、臨牀消化器内科、2022 年 (4 月)、37(4):433-440.
62. 久田泉、山田真善、齋藤豊 : 大腸腫瘍の EMR/ESD、消化器内視鏡、2022 年 (4 月)、34(4): 713-718.
63. 齋藤豊 : 特集 大腸鋸歯状病変のすべて 序説、消化器内視鏡、2022 年 (5 月)、34(5): 858-859.
64. 齋藤豊(1 番目)、松田尚久 (3 番目)、他 6 名 (全 8 名) : (2) 大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドラインにおけるポイント—見落としゼロの観点から、臨牀消化器内科、2022 年 (6 月)、37(6): 615-622.
65. 牧口茉衣、齋藤豊 (2 番目)、他 3 名 (全 5 名) : 術前予測が困難であった SM 浸潤癌を伴う SSL の 1 例、消化器内視鏡、2022 年 (5 月)、34(5): 944-945.
66. 水口康彦、小林望 (7 番目)、齋藤豊 (Last 9 番目)、他 6 名 (全 9 名) : Superficially serrated adenoma (SuSA)の特徴と意義、消化器内視鏡、2022 年 (5 月)、34(5): 950-955.
67. 豊嶋直也、齋藤豊 (2 番目)、小林望 (13 番目)、他 11 名 (全 14 名) : 消化器内視鏡への AI 導入の現状、消化器病学サイエンス、2022 年 (6 月)、16(2): (90)22-27(95).
68. 齋藤豊 : 特集 消化管 EUS のすべて 序説、消化器内視鏡、2022 年 (9 月)、34(9): 1462.
69. 吉永繁高、高丸博之、齋藤豊 : 食道・胃粘膜下腫瘍に対する EUS 診断、消化器内視鏡、2022 年 (9 月)、34 (9) : 1491-1496.
70. 牧口茉衣、齋藤豊、関根茂樹 : 早期胃癌 (0-1, 未分化型腺癌)、消化器内視鏡、2022 年(10 月)、34(増刊号): 70-71.
71. 齋藤豊 : 特集 大腸 T1 癌の診断と治療—内視鏡医・外科医・病理医のクロストーク 序説、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 10-11.
72. 齋藤豊、高丸博之、豊嶋直也、山田真善、関口正宇 : [各論 大腸 ESD を安全確実にを行う基本ストラテジー] 通常法 (反転操作を含む)、消化器内視鏡、2022 年 (10 月)、34 (10) : 1615-1618.
73. 高丸博之、齋藤豊 : [総論 大腸 T1 癌の診断と治療] 大腸 T1 癌の内視鏡診断変遷—SM1(200~300 μ m)から T1a(<1,000 μ m)への診断学、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 12-14.
74. 豊嶋直也、齋藤豊、関口正宇、高丸博之、山田真善 : [各論 診断 : 大腸 T1 癌の内視鏡診断] 超拡大エンドサイト/AI、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 36-42.
75. 小林望、辻重継、村上敬、竹内洋司、齋藤豊 : [各論 追加治療—予後を考慮した追加治療の判断 : 大腸 T1 癌のリンパ節転移と再発—短期・長期予後の観点から] 内視鏡医の立場から—慎重派 (CREATE-J の結果もふまえて)、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 87-92.
76. 樫田博史、齋藤豊、岡志郎、須並英二、小林清典、加藤元彦、下田将之、河内洋 : 座談会 大腸 T1 癌の診断と治療—内視鏡医・外科医・病理医のクロストーク、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 109-129.
77. 池松弘朗、齋藤豊、伊藤雅昭 : [コラム] JCOG1612 の紹介、消化器内視鏡、2023 年 (1 月)、35 (1) : 130-133.
78. 魚住健志、阿部清一郎、鈴木晴久、吉永繁高、齋藤豊 : [各論 胃 ESD] 術中に穿孔をきたした場合の対応、消化器内視鏡、2023 年 (2 月)、35 (2) : 222-224.
79. 豊嶋直也、齋藤豊、小林望 (9 番目)、他 6 名 (全 9 名) : [各論 IEE を使いこなす] 大腸内視鏡 早期大腸癌の深達度診断 : 拡大 IEE を活用する、消化器内視鏡、2023 年 (3 月)、35 (3) : 385-390.

(3 年次学会発表)

1. Saito Y: AI in colon polyps and cancer. Lecture at AI in endoscopy (JGES-ESGE joint session). Oral Presentation from Tokyo. ESGE DAYS 2022. (Hybrid), Prague Congress Centre, Prague, Czech Republic, 30th Apr, 2022. *ESGE (European Society of Gastrointestinal Endoscopy)
2. Saito Y: LS04: Lunch Industry Symposium - Erbe: Entering the new age: Advances in third space endoscopy. Chair at Industry Symposia. Oral Presentation. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy. (Hybrid), Kyoto International Conference Center (Track 4/Room 4 KICC), Kyoto, Japan, 13th May, 2022.
3. Saito Y. SS02: Indication for colorectal EMR/ESD. Chair at Symposium. Oral Presentation. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy. (Hybrid), Kyoto International Conference Center (Track 2/ Room 2 KICC), Kyoto, Japan, 13th May, 2022.
4. Saito Y: Potential of a New Colonoscope for JNET and Pit pattern classification. "Lecture at Evening Industry Symposium 1; Elevating the Standard of Colonoscopy with Cutting Edge Technologies."

- Oral Presentation. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy. (Hybrid), Kyoto International Conference Center (Track 1/Room 1 KICC). Kyoto, Japan, 13th May, 2022.
5. Saito Y: IS03: JGES-ESGE-WEO Joint Symposium: The current situation and future perspective for Image-Enhanced Endoscopy (IEE): From polyp detection to characterization - including AI technology - (Lower GI session). Chair at Society Symposium. Oral Presentation. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy. (Hybrid), Kyoto International Conference Center (Track 2/ Room 2 KICC), Kyoto, Japan, 14th May, 2022.
 6. Saito Y. LS09: Lunch Industry Symposium - Covidien Japan Inc.: Innovations in counter traction: ProdiGI Traction Wire. Chair at Industry Symposia. Oral Presentation. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy (Hybrid). Kyoto International Conference Center (Track 1/Room 1 KICC), Kyoto, Japan, 15th May, 2022.
 7. Saito Y: OP040: INTERNATIONAL EVALUATION OF ENDOSCOPIC CLASSIFICATION JNET BETWEEN ESGE AND JGES: A FIRST INTERNATIONAL MULTICENTER WEB TRIAL. Chair/Speaker at Abstracts Presentations, OP13: Oral Abstracts: Endoscopic Ultrasound, ERCP: Biliary, Esophagus, Pediatric Endoscopy. Oral Presentations. ENDO 2022 -3rd World Congress of GI Endoscopy. (Hybrid), Kyoto International Conference Center (Track 5 Oral Abstracts). Kyoto, Japan, 15th May, 2022.
 8. Saito Y: 81: LONG-TERM OUTCOMES AFTER ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION FOR COLORECTAL EPITHELIAL NEOPLASMS: A JAPANESE PERSPECTIVE MULTICENTER COHORT TRIAL. Lecture at ASGE Session Number: 2110, ASGE Presidential Plenary: An Update for All Endoscopists. Oral Presentation. DDW 2022. (Hybrid), San Diego Convention Center (Room: 6DE), San Diego, CA + Virtual, USA, 21st May, 2022. *DDW (Digestive Disease Week 米国消化器病週間)
 9. Saito Y: 362: LONG-TERM OUTCOMES AFTER ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION FOR COLORECTAL EPITHELIAL NEOPLASMS: A JAPANESE PERSPECTIVE MULTICENTER COHORT TRIAL. Lecture at ASGE Session Number: 3140, An Update on Endoscopic Resection of Colorectal Neoplasms. Oral Presentation. DDW 2022. (Hybrid), San Diego Convention Center (Room: 26), San Diego, CA + Virtual USA, 22nd May, 2022. *DDW (Digestive Disease Week 米国消化器病週間)
 10. Saito Y: Sp535: LIVE ENDOSCOPY FROM TOKYO, JAPAN. Presentation at ASGE Session Number: 3485, An Update on Endoscopic Resection of Colorectal Neoplasms. Oral Presentation. DDW 2022. (Hybrid), San Diego Convention Center (Room: 6AB), San Diego, CA + Virtual USA, 22nd May, 2022. *DDW (Digestive Disease Week 米国消化器病週間)
 11. Saito Y: IEE-JNET and UEMR/ESD. Pre-recorded keynote video lecture at Expert seminar. Oral Presentation from Tokyo. The 10th West Lake Forum of Digestive Endoscopy (2022), The Second Affiliated Hospital Zhejiang University School of Medicine, Hangzhou, Zhejiang, China, 25th Jun, 2022.
 12. Saito Y: Potential of New Colonoscope for JNET & Pit pattern classification. Pre-recorded video lecture and live discussion at Symposium-Yuan Yu. Oral Presentations from Tokyo. DEST 2022 (The Digestive Endoscopy Society of Taiwan), NTUH International Convention Center, Taipei, Taiwan, 30th Jul, 2022.
 13. Saito Y: 1) Colon polyp management: what is the optimal strategic approach? 2) The New Technologies to Elevate The Standard of Endoscopy. 3) VI. Video forum. 1) Lecture and Q&A at I. Luminal cancer screening and management. 2) Lecture at Symposium I: Olympus. 3) Judge for video forum. Oral Presentations from Tokyo. Annual Meeting TAGE 2022: TAGE 20th Years Anniversary, MYTT Beach Hotel Pattaya, Pattaya, Chonburi, Thailand, (Hybrid) 19th-20th Aug, 2022. *TAGE (Thai Association for Gastrointestinal Endoscopy)
 14. Saito Y and Ngamruengphong S: 1) Live Case Demonstration #2 ESD. 2) Live Case Demonstration #5 EMR/Hybrid EMR & ESD (Difficult case). 1) & 2) Live demonstrations. Oral Presentations from Johns Hopkins University, Baltimore, MD, USA. ASGE Endoscopy Live: Colonoscopy Symposium. (Virtual), Location: Virtual, Johns Hopkins University, Baltimore, MD, USA, 1st Sep 2022,

*ASGE (American Society for Gastrointestinal Endoscopy)

15. Saito Y and Ngamruengphong S: Live Endoscopy Session Two. ESD Live demonstration. Oral Presentation from Room 2: The Johns Hopkins Hospital. Sixth Annual Hopkins International Therapeutic Endoscopy Course (HITEC), HITEC 2022. (Hybrid), Johns Hopkins University School of Medicine, Turner Bldg., Baltimore, MD, USA, 2nd Sep 2022.
16. Saito Y: Detection, characterization & treatment for early cancer in lower GI. Lecture. Oral Presentation (pre-recorded), 2022 Qilu Summit on Digestive and Endoscopy. 2022 Qilu Summit on Digestive and Endoscopy, Qilu Hospital of Shandong University, Jinan, Shandong Province, China, 3rd Sep 2022.
17. Saito Y: Development & Clinical Application of AI in colorectal Tumor diagnosis. Lecture. Oral Presentation from Tokyo. 2022 台日科学技術フォーラム, 台北会場 (中華經濟研究院蔣碩傑國際會議序)・オンライン (YouTube 視聴) 同時開催, Taipei, Taiwan, (Online), 7th Sep 2022.
18. Saito Y: 1) Polyp assessment: Paris, Kudo's, JNET. 2) Colorectal ESD: Technical tips. Lecture and Discussion. Oral Presentations from Tokyo. Advancing your Resection Practice: EMR to ESD. (Virtual Education). Virtual Event (Platform: Zoom), (Online), 9th ~10th Sep 2022.
19. 1) Saito Y: State of the art lecture from Discovery Park: Colorectal ESD; Japanese guidance for optimal submucosal dissections. 2) Tsiamoulos Z and Saito Y: 1st live case QEQM Theatres: Colorectal SSD. 3) Saito Y and Tsiamoulos Z: 2nd live case or video lecture, QEQM Theatres: Colorectal ESD. 4) Saito Y: Lecture from Discovery Park: Artificial Intelligence to determine lymph node metastasis. 1) & 4) Lectures. 2) & 3) Live demos. Oral Presentations. The 6th Kent Endoscopy Training course (KENT 2022), 4th ~6th Oct, 2022, East Kent Hospitals University Foundation NHS Trust Discovery Park, Sandwich, Kent & Barcroft Lab, Cambridge. Kent, UK.
20. 1) Saito Y: Characterisation of superficial colorectal neoplasia: Is JNET the final answer? Lecture at East meets West: Towards common management for colorectal neoplasia. Oct 11, 2022. 2) Saito Y: Chair for Endoscopic submucosal dissection: Technique and outcomes. Oct 10, 2022. Oral Presentations. UEG Week 2022, Oct. 8-11. 2022, Messe Wien, Austria. *UEG (United European Gastroenterology)
21. Saito Y: IEE-JNET and EMR/ESD. Lecture(pre-recorded). Oral Presentation from Tokyo. Chinese Conference of Digest Endoscopy (CCDE) 2022, 11th Nov, 2022, Beijing, China. Organized by Chinese Medical Association.
22. Saito Y: 1) Management of Anorectal Diseases for the Practicing Gastroenterologist. Lecture at Symposium E2: Colorectal Endoscopy. Nov 18, 2022. 2) Best Practice in ESD for Colorectal Lesions. Lecture at Symposium E4: ESD. Nov 19, 2022. 3) Moderator for Symposium E2: Colorectal Endoscopy. Nov 18, 2022. Oral Presentations from Tokyo. Asia Pacific Digestive Disease Week 2022 (APDW 2022), 17-20, November 2022, (Virtual Conference Online), Beijing, China.
23. Saito Y: 大腸腫瘍の診断と治療-Update、日中医学交流フォーラム 記念講座 (消化器内科) での講演、日本からオンライン参加、江蘇省衛生健康委員会・JICE 医療交流 10 周年 日中医学交流フォーラム記念講座、2022 年 11 月 18 日 (金)、江蘇省、中国 *JICE (Japan International Cooperation Center)
24. Saito Y: 1) Colorectal ESD as I do it. Lecture at Session 1: General plenary session. Nov 23, 2022. 2) Image Enhanced Endoscopy for Colorectal tumors including Sessile serrated Lesions. Lecture at Session 6B: Endoscopy. Nov 24, 2022. Oral presentations. New Zealand Society of Gastroenterology Annual Scientific Meeting 2022, 23-25 Nov 2022, Cordis Hotel, Auckland, Auckland, New Zealand.
25. Saito Y: 1) Diagnosis of lower GI neoplasia made easy: chromo and magnifying endoscopy. 2) ESD - Indications. 1) Lecture at Meeting SOBED & International Societies: WEO. 2) Lecture at Treatment of colorectal lesions controversies. Oral presentations from Tokyo. XXI SBAD - Brazilian Digestive Disease Week, 2nd and 4th, Dec 2022, Participation remotely through Zoom, Brasilia, Brazil.
26. Saito Y: 1) Live demonstrations II. 2) C) Optimizing ESD and submucosal endoscopy: techniques, tips, results. 3) Colorectal ESD – update on devices, techniques and teaching. 1) Live demo. 2) Lecture & discussion at SNACK WITH THE EXPERTS reloaded. 3) Lecture at 4th Mini-Symposium, New Technologies. Oral Presentations. 25th Dusseldorf International Endoscopy Symposium, 2-4 Feb 2023, Maritim Hotel Dusseldorf, Airport City. Dusseldorf, Germany.

27. Saito Y: Indications and Techniques for Endoscopic Submucosal Dissection. Lecture at Session 2. International Gastroenterology and GI Endoscopy: Present and Future. Oral Presentation. 4th The Korean Society of Gastrointestinal Endoscopy · The Korean Society of Gastroenterology, Gyeonggi-Incheon Branch Joint Symposium. 12th Feb, 2023, Suwon Convention Center, Suwon, Korea.
28. Saito Y: 大腸病変の内視鏡 診療 1 症例 (録画) . 講演・症例討論. 東京よりオンライン参加 (通訳あり) . 上海交通大学医学院附属瑞金病院 (オンライン形式) . 2023 年 3 月 22 日. 上海市、中国
29. 斎藤豊: 【WISE VISION®内視鏡画像解析 AI の現状と未来】 演者、: 第 103 回日本消化器内視鏡学会 総会 ランチョンセミナー6、2022/5/13、国立京都国際会館 別館アネックスホール 2 (第 7 会場)、京都市 (会場参加)、(ハイブリッド開催)
30. 斎藤豊: 【大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドラインと大腸内視鏡検査の quality indicator (QI) 一前処置の重要性一】 演者、第 103 回日本消化器内視鏡学会総会 コーヒーブレイクセミナー13、2022/5/14、国立京都国際会館 別館アネックスホール 1 (第 6 会場)、京都市 (会場参加)、(ハイブリッド開催)
31. 斎藤豊:教育講演【大腸内視鏡 IEE 診断と AI の開発ならびに臨床応用】、第 118 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会、 2022/7/3、第 1 会場 (大ホール)・福井県民ホール AOSSA 福井 8F、福井市
32. 斎藤豊: 【ESD デバイス -up to date-】 演者、JDDW 2022 Fukuoka 第 104 回日本消化器内視鏡学会総会 サテライトシンポジウム 81、2022/10/27、第 11 会場 (福岡国際会議場 502+503)、福岡市 (会場参加)、(ハイブリッド開催)
33. 斎藤豊: 【大腸内視鏡スクリーニング検査の新境地～IEE/AI がもたらす可能性～】 演者、JDDW 2022 Fukuoka 第 64 回日本消化器病学会大会 ランチョンセミナー55、2022/10/28、第 8 会場 (福岡国際会議場 411+412)、福岡市 (会場参加)、(ハイブリッド開催)
34. 斎藤豊: 【大腸腫瘍の診断と治療】 シンポジウム 1 の基調講演、第 40 回日本大腸検査学会総会、2022/11/4、ベルサール神田、東京都 (会場参加)、(ハイブリッド開催)
35. 斎藤豊: 【IEE: When and How to Use?】 主題 9-基調講演、第 115 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会、2022/12/11、シェーンバツハ・サボー 1F 信濃 (千代田区)、現地開催 (会場参加)、共催: オリンパスマーケティング (株)
36. 斎藤豊: 特別講演 II 【大腸腫瘍の内視鏡診断と治療の最前線—海外での経験と、新処置具を用いた縫縮術など—】 (オンライン講演)、第 80 回近畿消化器内視鏡技師学会、2023/02/12、大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 10 階 (大阪市)、現地開催 (海外よりオンライン参加)

(3 年次書籍) (2023.5.22 更新)

1. 牧口茉衣、斎藤豊: 各種フード、ナイフの特徴、安全に施行するための ESD テクニック [Web 動画付]、編者: 宮澤光男・大西俊介、(株) 医学書院、東京都、2022 年 4 月発行 (第 1 版第 1 刷)、133-134.
2. 斎藤豊: d 消化管の治療内視鏡、消化器内視鏡検査・周術管理の標準化ハンドブック、編集: 内視鏡検査・周術管理の標準化に向けた研究会 (代表世話人 藤城光弘)、(株) 日本メディカルセンター、東京都、2022 年 6 月発行 (第 1 版第 1 刷)、48-51.
3. 斎藤豊: 第 1 章 大腸腫瘍に対する内視鏡治療の適応 1 内視鏡治療の適応、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者: 田中信治、編者: 斎藤豊・岡志郎、(株) 文光堂、東京都、2022 年 10 月発行 (第 1 版第 1 刷)、2-3.
4. 牧口茉衣、斎藤豊: 1 章 大腸腫瘍に対する内視鏡治療の適応 4 介助・治療トレーニング、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者: 田中信治、編者: 斎藤豊・岡志郎、(株) 文光堂、東京都、2022 年 10 月発行 (第 1 版第 1 刷)、11-13.
5. 高丸博之、斎藤豊: 2 章 内視鏡治療に必用な機器・器具 5 ESD 用ナイフの種類と選択、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者: 田中信治、編者: 斎藤豊・岡志郎、(株) 文光堂、東京都、2022 年 10 月発行 (第 1 版第 1 刷)、28-31.
6. 久田泉、斎藤豊: 4 章 EMR 5 切除後潰瘍底の観察と処置、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者: 田中信治、編者: 斎藤豊・岡志郎、(株) 文光堂、東京都、2022 年 10 月発行 (第 1 版第 1 刷)、83-84.
7. 山崎嵩之、関口正宇、斎藤豊: 4 章 EMR One Point Advice ESMR-L/EMR-C、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者: 田中信治、編者: 斎藤豊・岡志郎、(株) 文光堂、東京都、2022 年 10 月発行 (第 1 版第 1 刷)、100-102.

8. 牧口茉衣、齋藤豊：5章 ESD 5 切除後潰瘍底の縫縮、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、128-130.
9. 豊嶋直也、齋藤豊、工藤進英：5章 ESD 6 高度線維例に対するコツとピットフォール、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、131-134.
10. 坂本琢、齋藤豊：6章 内視鏡的全層切除術 1 各種全層切除術の特徴とピットフォール、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、164-166.
11. 阿部清一郎、齋藤豊：6章 内視鏡的全層切除術 2 各種縫縮手技の特徴とピットフォール、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、167-170.
12. 高丸博之、齋藤豊：7章 偶発症の予防と対策 1 穿孔の予防と対策・処置、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、176-180.
13. 水口康彦、齋藤豊：8章 最新トピックス 1 20mmを超える sessile serrated lesion (SSL)、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、200-202.
14. 魚住健志、齋藤豊：Case study 病変が複数あった症例、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、223-227.
15. 平井悠一郎、齋藤豊：Case study ESD 撤退・中止となった症例、Knack & Pitfalls 大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点、監修者：田中信治、編者：齋藤豊・岡志郎、(株)文光堂、東京都、2022年10月発行(第1版第1刷)、232-235.
16. 玉井尚人、齋藤豊：事例編 下部AI Chapter 11 下部拡大内視鏡(NBI) AI ①、内視鏡画像AI、監修：藤田広志、編集：森健策・工藤進英・森悠一・三澤将史、東京都、2022年11月発行(第1版第1刷)、117-120.

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(3年次その他)

記載なし

研究分担者：小田一郎

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Suzuki H, Ono H, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Toya Y, Nakagawa M, Toyonaga T, Takemura K, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Tsuji Y, Hashimoto S, Yuki M, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Yamamoto K, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Koizumi S, Hori S, Tajika M, Hikichi T, Yao K, Yokoi C, Ohnita K, Hisanaga Y, Sumiyoshi T, Kitamura S, Tanaka H, Shimoda R, Shimazu T, Takizawa K, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; J-WEB/EGC group. Long-term survival after endoscopic resection for gastric cancer: Real-world evidence from a multicenter prospective cohort. Clin Gastroenterol Hepatol. 2023 Feb;21(2):307-318. doi:10.1016/j.cgh.2022.07.029. PMID: 35948182. 査読有 (25-A-12, 28-K-1, 29-A-13)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Kadota T, Hasuike N, Ono H, Boku N, Mizusawa J, Oda I, Oyama T, Horiuchi Y, Hirasawa K, Yoshio T, Minashi K, Takizawa K, Nakamura K, Muto M. Clinical factors associated with non-curative endoscopic submucosal dissection for the expanded indication of intestinal-type early gastric cancer: a post hoc analysis of a multi-institutional, single-arm, confirmatory trial (JCOG0607). *Dig Endosc.* 2022 Oct 26. doi: 10.1111/den.14460. Epub ahead of print. PMID: 36286956. 査読有
2. Nihei K, Minashi K, Yano T, Shimoda T, Fukuda H, Muto M; JCOG-GIESG Investigators, Mizuaswa J, Takizawa K, Aoyama I, Ishiyama A, Kawata N, Kikuchi D, Hanaoka N, Oda I, Morita Y, Tajika M, Fujiwara J, Yamamoto Y, Katada C, Hori S, Doyama H, Oyama T, Nebiki H, Amagai K, Kubota Y, Inokuchi Y, Kobayashi N, Suzuki T, Hirasawa K, Takeuchi T, Kadota T. Final analysis of diagnostic endoscopic resection followed by selective chemoradiotherapy for stage I esophageal cancer: JCOG0508. *Gastroenterology.* 2022 Oct 11:S0016-5085(22)01158-1. doi: 10.1053/j.gastro.2022.10.002. Epub ahead of print. PMID: 36240951. 査読有
3. Esaki M, Yoshida M, Takizawa K, Notsu A, Nonaka S, Shichijo S, Suzuki S, Sato C, Komori H, Minagawa T, Oda I, Uedo N, Hirasawa K, Matsumoto K, Sumiyoshi T, Abe S, Gotoda T, Ono H. Comparison of treatment outcomes between endoscopic submucosal dissection with the needle-type knife and insulated-tip knife for superficial esophageal neoplasms. *Dis Esophagus.* 2022 Oct 3:doac067. doi: 10.1093/dote/doac067. Epub ahead of print. PMID: 36190185. 査読有
4. Kasuga K, Abe S, Oda I, Yoshinaga S, Suzuki H, Uraoka T, Saito Y. Guidewire-assisted technique for gastroscope insertion through stricture of Zenker's diverticulum for esophageal endoscopic submucosal dissection. *Endoscopy.* 2022 Jun;54(6):E279-E280. doi: 10.1055/a-1512-8278. 査読有
5. Kasuga K, Oda I, Nonaka S, Abe S, Suzuki H, Uraoka T, Saito Y. Endoscopic complete closure of duodenal mucosal defects using a clip with a looped thread after endoscopic resection. *Endoscopy.* 2022 Apr;54(4):E135-E136. doi: 10.1055/a-1443-4585. 査読有
6. Kawamura R, Abe S, Ego M, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Saito Y. Precut esophageal endoscopic mucosal resection for cervical esophageal cancer to minimize mucosal defect. *Endoscopy.* 2022 Mar;54(3):E81-E82. doi: 10.1055/a-1388-6348. 査読有

(3年次学会発表)

記載なし

(3年次書籍)

記載なし

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

胃癌に対するESD・EMRガイドライン委員会作成委員(日本消化器内視鏡学会 2010年～)
ガイドライン評価委員会委員(日本胃癌学会 2014年～)

(3年次その他)

記載なし

研究分担者: 松田 尚久

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Matsuda T. Expectations for and challenges in population-based endoscopic gastric and colorectal cancer screening. *Dig Endosc.* 2022 May;34 Suppl 2:15-19. (2021-A-18) 査読有
2. Sekiguchi M, Oda I, Matsuda T, Saito Y. Epidemiological Trends and Future Perspectives of Gastric Cancer in Eastern Asia. *Digestion.* 2022;103(1):22-28. (30-A-16) 査読有

- ・ 国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
- 1. Higurashi T, Ashikari K, Tamura S, Takatsu T, Misawa N, Yoshihara T, Ninomiya Y, Okamoto Y, Taguri M, Sakamoto T, Oka S, Nakajima A, Tanaka S, Matsuda T. Comparison of the diagnostic performance of NBI, Laser-BLI and LED-BLI: a randomized controlled noninferiority trial. *Surg Endosc.* 2022 Oct;36(10):7577-7587. 査読有
- 2. Koyama Y, Fukuzawa M, Kono S, Madarame A, Morise T, Uchida K, Yamaguchi H, Sugimoto A, Nagata N, Kawai T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y, Itoi T. Diagnostic efficacy of the Japan NBI Expert Team classification with dual-focus magnification for colorectal tumors. *Surg Endosc.* 2022 Jul;36(7):5032-5040. 査読有
- 3. Takamaru H, Saito Y, Hammoud GM, Mizuguchi Y, Cho H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T. Comparison of postpolypectomy bleeding events between cold snare polypectomy and hot snare polypectomy for small colorectal lesions: a large-scale propensity score-matched analysis. *Gastrointest Endosc.* 2022 May;95(5):982-989.e6. 査読有
- 4. Koyama Y, Yamada M, Makiguchi ME, Sekiguchi M, Takamaru H, Sakamoto T, Kono S, Fukuzawa M, Sylvia Wu SY, Sugumaran A, Kawai T, Matsuda T, Itoi T, Saito Y. New scoring system to distinguish deep invasive submucosal and muscularis propria colorectal cancer during colonoscopy: a development and global multicenter external validation study (e-T2 Score). *Gastrointest Endosc.* 2022 Aug;96(2):321-329.e2. 査読有
- 5. Matsui T, Nagai H, Amanuma M, Kobayashi K, Ogino Y, Mukozu T, Wakui N, Okano N, Kikuchi Y, Matsuda T, Igarashi Y. Usefulness of partial splenic embolization for left-sided portal hypertension in a patient with a pancreatic neuroendocrine neoplasm: a case report and review of the literature. *Clin J Gastroenterol.* 2022 Aug;15(4):796-802. 査読有
- 6. Yachida T, Matsuda T, Sakamoto T, Nakajima T, Kakugawa Y, Maeshima AM, Taniguchi H, Kushima R, Tobinai K, Kobara H, Masugata H, Masaki T, Saito Y. Endoscopic features of colorectal lymphoma according to histological type. *JGH Open.* 2022 Apr 6;6(4):257-262. doi: 10.1002/jgh3.12738. 査読有
- 7. Sekiguchi M, Hotta K, Takeuchi Y, Tanaka S, Yamamoto H, Shinmura K, Harada K, Uraoka T, Hisabe T, Sano Y, Kondo H, Horimatsu T, Kikuchi H, Kawamura T, Nagata S, Yamamoto K, Tajika M, Tsuji S, Kusaka T, Okuyama Y, Yoshida N, Moriyama T, Hasebe A, So S, Kobara H, Kashida H, Miyanaga R, Kato S, Hayashi Y, Sada M, Fukuzawa M, Kato H, Takayama T, Konishi J, Matsushita HO, Narasaka T, Ohata K, Togashi K, Nakamura H, Moriichi K, Oda Y, Kanda N, Kuwai T, Terai S, Sanomura M, Kitamura S, Miyamoto H, Kiriyama S, Mizuno C, Saito Y, Sekine S, Ito S, Nakahira H, Oka S, Hayashi Y, Yoshimura K, Ishikawa H, Matsuda T; C-NET STUDY Group. Characteristics of colorectal neuroendocrine tumors in patients prospectively enrolled in a Japanese multicenter study: a first report from the C-NET STUDY. *J Gastroenterol.* 2022 Aug;57(8):547-558. 査読有
- 8. Ainechi D, Misawa M, Barua I, Larsen SLV, Paulsen V, Garborg KK, Aabakken L, Tønnesen CJ, Løberg M, Kalager M, Kudo SE, Hotta K, Ohtsuka K, Saito S, Ikematsu H, Saito Y, Matsuda T, Itoh H, Mori K, Bretthauer M, Mori Y. Impact of artificial intelligence on colorectal polyp detection for early-career endoscopists: an international comparative study. *Scand J Gastroenterol.* 2022 Oct;57(10):1272-1277. 査読有
- 9. Fukushi G, Fujimoto A, Hara K, Nishikawa Y, Matsuno T, Matsuda T, Igarashi Y. Fluoroscopic balloon dilatation with antegrade and retrograde endoscopes is useful for complete pharyngoesophageal obstruction after radiation therapy. *Endoscopy.* 2022 Dec;54(S 02):E931-E932. 査読有
- 10. Sekiguchi M, Matsuda T, Hotta K, Saito Y. Post-polypectomy surveillance: the present and the future. *Clin Endosc.* 2022 Jul;55(4):489-495. 査読有
- 11. Mizutani S, Okano N, Nakagawa H, Watanabe K, Yamada Y, Kimura Y, Yoshimoto K, Iwasaki S, Hara S, Takuma K, Kishimoto Y, Ito K, Matsuda T, Igarashi Y. Endoscopic therapy for recurrent pancreatitis complicated with pancreatolithiasis in a case of annular pancreas. *DEN open.* 2022 Apr 21;2(1):e122. doi: 10.1002/deo2.122. 査読有
- 12. Takamaru H, Stammers M, Yanagisawa F, Mizuguchi Y, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T,

- Matsuda T, Saito Y. Conditional inference tree models to perceive depth of invasion in T1 colorectal cancer. *Surg Endosc*. 2022 Dec;36(12):9234-9243. 査読有
13. Suto S, Matsuzaka M, Sawaya M, Sakuraba H, Mikami T, Matsuda T, Fujii T, Saito Y, Hotta K, Ikematsu H, Hanabata N, Saito H, Yoshida S, Fukuda S. Clinical Features of Fecal Immunochemical Test-Negative Colorectal Lesions based on Colorectal Cancer Screening among Asymptomatic Participants in Their 50s. *Asian Pac J Cancer Prev*. 2022 Jul 1;23(7):2325-2332. 査読有
 14. Hojo A, Kobayashi T, Matsubayashi M, Morikubo H, Miyatani Y, Fukuda T, Asonuma K, Sagami S, Nakano M, Matsuda T, Hibi T. Usefulness of colestimide for diarrhea in postoperative Crohn's disease. *JGH Open*. 2022 Jul 14;6(8):547-553. 査読有
 15. Yoshida N, Ishikawa H, Otani T, Goto C, Matsuda T, Takeuchi Y, Sano Y, Itoh Y, Suzuki S, Mutoh M. Aspirin-mediated prevention of colorectal adenomas recurrence is affected by blood biochemistry and nutritional intake. *Cancer Prev Res (Phila)*. 2022 Dec 1;15(12):837-846. 査読有
 16. Asokkumar R, Chiu HM, Kaltenbach T, Matsuda T, Soetikno R. Proximal serrated polyp detection rate and interval post-colonoscopy colorectal cancer risk. *Lancet Gastroenterol Hepatol*. 2022 Oct;7(10):907. doi: 10.1016/S2468-1253(22)00237-0. 査読有
 17. Matsui T, Nagai H, Watanabe G, Mouri K, Yoshimine N, Amanuma M, Kobayashi K, Ogino Y, Mukozu T, Matsukiyo Y, Daidou Y, Wakui N, Nakano S, Momiyama K, Matsuda T, Igarashi Y. Measurement of skeletal muscle volume is useful for predicting prognosis in patients with liver cirrhosis. *Eur J Gastroenterol Hepatol*. 2022 Nov 1;34(11):1151-1157. 査読有
 18. Takuma K, Okano N, Ito K, Ujita W, Iwata S, Mizutani S, Nakagawa H, Watanabe K, Yamada Y, Kimura Y, Yoshimoto K, Iwasaki S, Hara S, Kishimoto Y, Igarashi Y, Matsuda T, Amemiya K. Focal pancreatic ductal change induced by 10-Fr S-type plastic stent in chronic pancreatitis. *J Gastroenterol Hepatol*. 2023 Jan;38(1):112-118. 査読有
 19. Kawamura T, Sekiguchi M, Takamaru H, Mizuguchi Y, Horiguchi G, Kato M, Kobayashi K, Sada M, Oda Y, Yokoyama A, Utsumi T, Tsuji Y, Ohki D, Takeuchi Y, Shichijo S, Ikematsu H, Matsuda K, Teramukai S, Kobayashi N, Matsuda T, Saito Y, Tanaka K. "Endoscopic" adenoma detection rate as a quality indicator of colonoscopy: the first report from the J-SCOUT study. *Dig Endosc*. 2022 Nov 26. doi: 10.1111/den.14483. 査読有
 20. Nagai H, Mukozu T, Kobayashi K, Nogami A, Nagumo H, Mohri K, Watanabe G, Amanuma M, Yoshimine N, Ogino Y, Matsui D, Daido Y, Matsukiyo Y, Matsui T, Wakui N, Momiyama K, Higai K, Matsuda T. Lenvatinib Might Induce Activation of Host Immunity in Patients with Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*. 2023;101(1):32-40. 査読有
 21. Fukushi G, Yamada M, Kakugawa Y, Gotoh M, Tanabe N, Ushiyama M, Watanabe T, Yamazaki T, Matsumoto M, Hirata M, Nakajima T, Sugano K, Yoshida T, Matsuda T, Igarashi Y, Saito Y. Genotype-phenotype correlation of small-intestinal polyps on small-bowel capsule endoscopy in familial adenomatous polyposis. *Gastrointest Endosc*. 2023 Jan;97(1):59-68.e7. 査読有
 22. Ito K, Okano N, Takuma K, Iwasaki S, Watanabe K, Kimura Y, Yamada Y, Yoshimoto K, Hara S, Kishimoto Y, Matsuda T, Igarashi Y. Are Newer Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy Models Truly Improving Pancreatolithiasis Lithotripsy Performance? A Japanese Single-Center Study Using Endoscopic Adjunctive Treatment. *Gut Liver*. 2022 Dec 13. doi: 10.5009/gnl220204. 査読有
 23. Sato Y, Kaneko R, Yano Y, Kamada K, Kishimoto Y, Ikehara T, Sato Y, Matsuda T, Igarashi Y. Volume-Outcome Relationship in Cancer Survival Rates: Analysis of a Regional Population-Based Cancer Registry in Japan. *Healthcare (Basel)*. 2022 Dec 21;11(1):16. doi: 10.3390/healthcare11010016. 査読有
 24. Hayashi Y, Kaneko R, Ogino H, Uekusa T, Kitajima M, Ikehara T, Nagai H, Matsuda T. A case of multiple hepatocellular carcinoma experiencing complete responses to sorafenib and atezolizumab-bevacizumab and developing severe, refractory venous congestive cutaneous ulcers on either regimen. *Clin J Gastroenterol*. 2023 Apr;16(2):229-236. 査読有
 25. Yamada Y, Sasaki T, Takeda T, Okamoto T, Mie T, Yonekura C, Furukawa T, Kasuga A, Matsuyama M, Ozaka M, Matsuda T, Igarashi Y, Sasahira N. Removal of Duckbill-type laser-cut anti-reflux metal stents: Clinical evaluation and in vitro study. *DEN Open*. 2023 Feb 23;3(1):e217. doi:

- 10.1002/deo2.217. 査読有
26. Kimura Y, Okano N, Hoshi K, Iwata S, Ujita W, Yamada Y, Iwasaki S, Takuma K, Ito K, Igarashi Y, Matsuda T. Identification of bleeding points after bile duct biopsy using red dichromatic imaging during peroral cholangioscopy: A case report. DEN Open. 2023 Feb 22;3(1):e215. doi: 10.1002/deo2.215. 査読有
 27. Ogino Y, Wakui N, Nagai H, Matsuda T. Comparison of strain elastography and shear wave elastography in diagnosis of fibrosis in nonalcoholic fatty liver disease. J Med Ultrason (2001). 2023 Feb 18. doi: 10.1007/s10396-023-01293-z. 査読有
 28. Hihara D, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T, Saito Y. Factors associated with increased duration of endoscopic submucosal dissection for rectal tumors: A 22-year retrospective analysis. Gastrointest Endosc. 2023 Apr 13:S0016-5107(23)00391-7. doi: 10.1016/j.gie.2023.04.005. 査読有
 29. Manta R, Zito FP, Pugliese F, Caruso A, Mangiafico S, D'Alessandro A, Castellani D, Germani U, Mutignani M, Conigliaro RL, Bonetti LR, Matsuda T, De Francesco V, Zullo A, Galloro G. Endoscopic Submucosal Dissection for Subepithelial Tumor Treatment in the Upper Digestive Tract: A Western, Multicenter Study. GE Port J Gastroenterol. 2022 Sep 6;30(2):115-120. doi: 10.1159/000525993. 査読有
 30. Toba T, Ikegami R, Nogami A, Watanabe N, Fujii K, Ogawa Y, Hojo A, Fujimoto A, Matsuda T. Multiple ulcerative colitis-associated aseptic abscesses successfully treated with infliximab: a case report. Clin J Gastroenterol. 2023 Apr 25. doi: 10.1007/s12328-023-01807-9. 査読有

(3年次学会発表)

1. Matsuda T. Are conventional, underwater, and cold EMR equivalent at removing non-pedunculated polyps, and which should I use? Oral presentation, ENDO2022, 2022/5/14, Kyoto
2. Matsuda T. Early onset CRC: when to decide to lower screening age, Oral presentation, ENDO2022, 2022/5/15, Kyoto
3. Matsuda T. Post-polypectomy surveillance: Lessons from the Japan Polyp Study, Oral presentation, UEGW2022, 2022/10/12, Vienna
4. Matsuda T. Avoid Interval Cancers and PCCRC Arisen from Distinct Carcinogenesis Pathways, Oral presentation, APDW2022, 2022/11/17, Web 発表
5. Matsuda T. Noninvasive Colorectal Cancer Screening Tests, Oral presentation, The 16th IGICS, 2023/2/4, Tokyo
6. Matsuda T. Endoscopic Diagnosis and Treatment of Superficial Colorectal Neoplasia, Zhejiang Sino-Japan Seminar, 2023/3/5, Web 発表
7. 松田尚久. 自然史を考慮した大腸癌のスクリーニングとサーベイランス. 第51回日本消化器内視鏡学会重点卒後教育セミナー. 2022/4/10, Web 発表
8. 松田尚久. 大腸腫瘍に対する内視鏡治療後サーベイランスのあり方. 第108回日本消化器病学会総会. 2022/4/23, 東京
9. 松田尚久. 大腸腫瘍に対する内視鏡治療後サーベイランス. 日本消化器病学会北陸支部 第46回教育講演会. 2022/6/5, 福井
10. 松田尚久. 大腸がん検診の現状と展望 (大腸内視鏡検査の導入も含めて). 日本消化器がん検診学会 2022年度第3回医師研修会. 2022/6/10, Web 発表
11. 松田尚久. 大腸内視鏡スクリーニング・サーベイランスの現況と将来展望. 第168回日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 2022/7/2, 山形
12. 松田尚久. 大腸内視鏡スクリーニング・サーベイランスの現況と将来展望. 第44回日本消化器内視鏡学会関東セミナー. 2022/7/31, Web 発表
13. 松田尚久. 大腸がん検診における大腸内視鏡検査の現状と今後. 第42回日本消化器がん検診学会近畿セミナー. 2022/8/28, 京都
14. 松田尚久. 大腸腫瘍性病変の内視鏡診断: 病変の検出から治療方針決定まで. 第46回日本消化器内視鏡学会セミナー. 2022/9/4, 札幌
15. 松田尚久. Impact of COVID-19 Pandemic on Cancer Screening. 第81回日本癌学会学術集会. 2022/9/29, 横浜

(3年次書籍)

1. 松田尚久, 藤本 愛, 佐野寧, 藤井隆広, PCCRC と適切な大腸内視鏡検査間隔. 『臨床消化器内科』 vol.37 no.6 (2022)
2. 松田尚久, 斎藤 豊, 「大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドライン」のポイント. Medical Practice, vol.39 no.5 (2022)

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(3年次その他)

記載なし

研究分担者: 小林 望

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Ohata K, Kobayashi N, Sakai E, Takeuchi Y, Chino A, Takamaru H, Kodashima S, Hotta K, Harada K, Ikematsu H, Uraoka T, Murakami T, Tsuji S, Abe T, Katagiri A, Hori S, Michida T, Suzuki T, Fukuzawa M, Kiriyama S, Fukase K, Murakami Y, Ishikawa H, Saito Y. Long-term Outcomes After Endoscopic Submucosal Dissection for Large Colorectal Epithelial Neoplasms: A Prospective, Multicenter, Cohort Trial From Japan. Gastroenterology. 2022 Nov;163(5):1423-1434.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2022.07.002. Epub 2022 Jul 8. (21-25, 29-A-13, and 2020-A-12). 査読あり
2. Suzuki H, Ono H, Hirasawa T, Takeuchi Y, Ishido K, Hoteya S, Yano T, Tanaka S, Toya Y, Nakagawa M, Toyonaga T, Takemura K, Hirasawa K, Matsuda M, Yamamoto H, Tsuji Y, Hashimoto S, Yuki M, Oyama T, Takenaka R, Yamamoto Y, Naito Y, Yamamoto K, Kobayashi N, Kawahara Y, Hirano M, Koizumi S, Hori S, Tajika M, Hikichi T, Yao K, Yokoi C, Ohnita K, Hisanaga Y, Sumiyoshi T, Kitamura S, Tanaka H, Shimoda R, Shimazu T, Takizawa K, Tanabe S, Kondo H, Iishi H, Ninomiya M, Oda I; J-WEB/EGC group. Long-term Survival After Endoscopic Resection For Gastric Cancer: Real-world Evidence From a Multicenter Prospective Cohort. Clin Gastroenterol Hepatol. 2023 Feb;21(2):307-318.e2. doi: 10.1016/j.cgh.2022.07.029. Epub 2022 Aug 7. (25-A-12, 28-K-1, 29-A-13). 査読あり
3. Hirata S, Toyoshima N, Takamaru H, Yamada M, Kobayashi N, Kozu T, Saito Y. Underwater endoscopic mucosal resection with submucosal injection. Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E70-E71. doi: 10.1055/a-1930-6373. Epub 2022 Sep 30. (29-A-13, 2020-A-4). 査読あり

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Ishikawa H, Yamada M, Sato Y, Tanaka S, Akiko C, Tajika M, Doyama H, Takayama T, Ohda Y, Horimatsu T, Sano Y, Tanakaya K, Ikematsu H, Saida Y, Ishida H, Takeuchi Y, Kashida H, Kiriyama S, Hori S, Lee K, Tashiro J, Kobayashi N, Nakajima T, Suzuki S, Mutoh M. Intensive endoscopic resection for downstaging of polyp burden in patients with familial adenomatous polyposis (J-FAPP Study III): a multicenter prospective interventional study.; J-FAPP Study III Group. Endoscopy. 2023 Apr;55(4):344-352. doi: 10.1055/a-1945-9120. Epub 2022 Oct 10. 査読あり
2. Sung JY, Chiu HM, Lieberman D, Kuipers EJ, Rutter MD, Macrae F, Yeoh KG, Ang TL, Chong VH, John S, Li J, Wu K, Ng SSM, Makharia GK, Abdullah M, Kobayashi N, Sekiguchi M, Byeon JS, Kim HS, Parry S, Cabral-Prodigalidad PAI, Wu DC, Khomvilai S, Lui RN, Wong S, Lin YM, Dekker E. Third Asia-Pacific consensus recommendations on colorectal cancer screening and postpolypectomy surveillance. Gut. 2022 Nov;71(11):2152-2166. doi: 10.1136/gutjnl-2022-327377. Epub 2022 Aug 24. 査読あり
3. Nihei K, Minashi K, Yano T, Shimoda T, Fukuda H, Muto M; JCOG-GIESG Investigators,

Mizuaswa J, Takizawa K, Aoyama I, Ishiyama A, Kawata N, Kikuchi D, Hanaoka N, Oda I, Morita Y, Tajika M, Fujiwara J, Yamamoto Y, Katada C, Hori S, Doyama H, Oyama T, Nebiki H, Amagai K, Kubota Y, Inokuchi Y, Kobayashi N, Suzuki T, Hirasawa K, Takeuchi T, Kadota T. Final analysis of diagnostic endoscopic resection followed by selective chemoradiotherapy for stage I esophageal cancer: JCOG0508. Gastroenterology. 2023 Feb;164(2):296-299.e2. doi: 10.1053/j.gastro.2022.10.002. Epub 2022 Oct 12. 査読あり

(3年次学会発表)

1. Kobayashi N, Saito Y, et al. OUTCOMES OF COLORECTAL ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION FROM MULTICENTER PROSPECTIVE STUDY IN JAPAN: BALANCE BETWEEN PATIENTS' PROGNOSIS AND QUALITY OF LIFE IN RECTAL NEOPLASIA. ENDO2022, Kyoto, 13th May, 2022
2. 小林 望. 対策型大腸内視鏡検診導入を見据えた内視鏡医の育成と精度管理。第61回日本消化器がん検診学会総会、2022/6/10、滋賀。
3. 小林 望. 大腸内視鏡検診医に求められる資質。第61回日本消化器がん検診学会総会、2022/6/10、滋賀。
4. 小林 望. より効果的な大腸がん検診を目指して。第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会、2022/9/4、東京。
5. 小林 望. 対策型大腸内視鏡検診導入における課題。JDDW2022、2022/10/26、福岡。

(3年次書籍)

1. 小林 望、関口正宇、中村佳子、角川康夫、斎藤 豊。内視鏡的大腸ポリープ切除の意義。臨牀消化器内科 Vol.37 No.12 2022: 1630-5
2. 小林 望。局注液・局注針の種類と選択。大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点。田中信治編、文光堂、東京都、2022年10月4日発行：18-21

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

1. 斎藤 博, 樋渡 信夫, 野崎 良一, 鈴木 康元, 小林 望, 関口 正宇, 只野 敏浩, 永田 浩一, 西田 博, 松田 尚久, 松本 啓志, 村上 晴彦, 山口 和也, 歌野 健一, 遠藤 俊吾, 角川 康夫, 金岡 繁, 雑賀 公美子, 馬嶋 健一郎, 町井 涼子, 松浦 邦彦, 松田 一夫, 日本消化器がん検診学会大腸がん検診精度管理委員会. 大腸がん検診マニュアル 2021年度改訂版. 日本消化器がん検診学会雑誌 60巻3号: Page385-536

(3年次その他)

記載なし

研究分担者：坂本 琢

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの
記載なし

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの
記載なし

(3年次学会発表)

1. 坂本琢, 水口康彦, 斎藤豊. JNET 第2次多施設WEB試験-分類における粘膜下層高度浸潤に関連した副次所見の意義 JDDW 2022, 2022年10月, 福岡
2. 魚住健志, 坂本琢, 斎藤豊. JNET 分類診断能に関する非熟練医による多施設静止画読影試験 第103回日本消化器内視鏡学会総会 2022, 2022年5月, 京都

(3年次書籍)

記載なし

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(3年次その他)

記載なし

研究分担者：松元 祐司

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Furuse H, Matsumoto Y, Nakai T, Tanaka M, Nishimatsu K, Uchimura K, Imabayashi T, Tsuchida T, Ohe Y. Diagnostic efficacy of cryobiopsy for peripheral pulmonary lesions: A propensity score analysis. *Lung Cancer*. 2023;178:220–228. (29-A-13 and 2020-A-12)
2. Konno-Yamamoto A, Matsumoto Y, Imabayashi T, Tanaka M, Uchimura K, Nakagomi T, Yanase K, So C, Ohe Y, Tsuchida T. Feasibility of Modified Endobronchial Ultrasound-Guided Intranodal Forceps Biopsy: A Retrospective Analysis. *Respiration*. 2022 Dec 21. Online ahead of print. (29-A-13 and 2020-A-12)
3. Tanaka M, Matsumoto Y, Imabayashi T, Kawahara T, Tsuchida T. Diagnostic value of a new cryoprobe for peripheral pulmonary lesions: a prospective study. *BMC Pulm Med*. 2022;22(1):226. (29-A-13)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Imabayashi T, Matsumoto Y, Uchimura K, Furuse H, Tsuchida T. Computed Tomography Bronchus Sign Subclassification during Radial Endobronchial Ultrasound-Guided Transbronchial Biopsy: A Retrospective Analysis. *Diagnostics (Basel)*. 2023;13(6):1064.
2. Tamura K, Uchimura K, Furuse H, Imabayashi T, Matsumoto Y, Tsuchida T. Mucoepidermoid carcinoma cured by a combination of high-frequency snare and photodynamic therapy: A case report. *Thorac Cancer*. 2023;14(14):1306-1310.
3. Takemura C, Imabayashi T, Furuse H, Uchimura K, Matsumoto Y, Tsuchida T, Watanabe SI. Thoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumor diagnosed by transbronchial mediastinal cryobiopsy: A case report. *Thorac Cancer*. 2023;14(10):953-957.
4. Tsuchida T, Matsumoto Y, Imabayashi T, Uchimura K. A Study of laser dose in Photodynamic Therapy with Talaporfin Sodium for Malignant Central Airway Stenosis. *Photodiagnosis Photodyn Ther*. 2023;41:103315.
5. Morishita M, Uchimura K, Furuse H, Imabayashi T, Tsuchida T, Matsumoto Y. Predicting Malignant Lymph Nodes Using a Novel Scoring System Based on Multi-Endobronchial Ultrasound Features. *Cancers (Basel)*. 2022;14(21):5355.
6. Ito T, Matsumoto Y, Okachi S, Nishida K, Tanaka M, Imabayashi T, Tsuchida T, Hashimoto N. A Diagnostic Predictive Model of Bronchoscopy with Radial Endobronchial Ultrasound for Peripheral Pulmonary Lesions. *Respiration*. 2022:1-9.
7. Muto Y, Uchimura K, Imabayashi T, Matsumoto Y, Furuse H, Tsuchida T. Clinical Utility of Rapid On-Site Evaluation of Touch Imprint Cytology during Cryobiopsy for Peripheral Pulmonary Lesions. *Cancers (Basel)*. 2022;14(18):4493.
8. Ishiguro Y, Uchimura K, Furuse H, Imabayashi T, Matsumoto Y, Watanabe SI, Tsuchida T. Esophageal submucosal tumor diagnosed with EBUS-guided transbronchial mediastinal cryobiopsy: A case report. *Thorac Cancer*. 2022;13(21):3068-3072.
9. Uchimura K, Furuse H, Imabayashi T, Matsumoto Y, Tsuchida T. Airway stenosis complicated by

endobronchial ultrasound-guided tissue acquisition: A case report. *Thorac Cancer*. 2022;13(18):2659-2663.

10. Uchimura K, Imabayashi T, Matsumoto Y, Tsuchida T. Kimura's Disease Diagnosed with Pleural Tumor. *Intern Med*. 2022 Jul 22. Online ahead of print.
11. Tsuchida T, Matsumoto Y, Imabayashi T, Uchimura K, Sasada S. Photodynamic therapy can be safely performed with Talaporfin sodium as a day treatment for central-type early-stage lung cancer. *Photodiagnosis Photodyn Ther*. 2022;38:102836.
12. Takada K, Imabayashi T, Matsumoto Y, Uchimura K, Furuse H, Nishimatsu K, Tsuchida T. Feasibility of the modified balloon occlusion method using a 6-Fr balloon catheter in transbronchial lung cryobiopsy. *Respir Investig*. 2022;60(3):425-429.

(3年次学会発表)

1. Matsumoto Y: Transbronchial cryobiopsy for peripheral pulmonary lesions. Invited lecture. ACLC 2022. 28th October, 2022, Nara Prefectural Convention Center, Japan.
2. Matsumoto Y, et al: Diagnostic performance of new single-use cryoprobes for peripheral pulmonary lesions. Oral presentation. 22nd WCBIP/WCBE World Congress. 7th October, 2022. Plais du Pharo, France.
3. Furuse H, Matsumoto Y, et al: Diagnostic impact of visualized lesion extent by radial endobronchial ultrasound on forceps biopsy for peripheral pulmonary lesions. e-Poster presentation. 22nd WCBIP/WCBE World Congress. Online, 2022. Plais du Pharo, France.
4. 土田 敬明, 松元 祐司, 他: 肺がんに対する光線力学的治療後の再発形式に関する検討. パネルディスカッション. 第43回日本レーザー医学会総会. 2022/10/16, 東京.
5. 松元 祐司: 末梢肺病変に対してクライオ生検を成功させる秘訣. シンポジウム. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/28, 岐阜.
6. 安達 剛弘, 松元 祐司, 他: がんに合併した難治性気胸に対する Endobronchial Watanabe Spigot の有効性. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/28, 岐阜.
7. 古瀬 秀明, 松元 祐司, 他: 末梢肺すりガラス病変に対するクライオ生検の有用性: 傾向スコアマッチングによる解析. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/28, 岐阜.
8. 鈴木 幹人, 松元 祐司, 他: 臨床病期 IA 期肺腺癌の微小乳頭型/充実型亜型同定におけるクライオ生検の有用性. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/28, 岐阜.
9. 松元 祐司, 他: 通常径鉗子を用いる改良型超音波気管支鏡ガイド下結節内鉗子生検 (EBUS-IFB) の実用性. シンポジウム. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
10. 松元 祐司, 他: EBUS-TBNA によるコア採取に影響する因子の検証. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
11. 今林 達哉, 松元 祐司, 他: 末梢肺病変に対するシングルユースクライオプローブの診断能に関する単施設前向き研究. ワークショップ. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
12. 伊藤 貴康, 松元 祐司, 他: 末梢肺病変に対する R-EBUS を用いた気管支鏡検査の診断率予測モデルの構築. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
13. 辻本 佳恵, 松元 祐司, 他: 転移性肺腫瘍に対する R-EBUS 併用気管支鏡の有用性. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
14. 徐 クララ, 松元 祐司, 他: 非小細胞肺癌における EBUS-TBNA による N 因子診断の失敗要因に関する検証. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
15. 内村 圭吾, 松元 祐司, 他: EBUS-TBNA 検体を用いたオンコマイン Dx Target Test の成功におけるコア組織の重要性. 口頭発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022/5/27, 岐阜.
16. 大久保 祐, 松元 祐司, 他: 25G 針を用いた EBUS-TBNA による N 因子病期診断における偽陰性症例の検討. ポスター発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022 (オンデマンド配信), 岐阜.
17. 青木 輝, 松元 祐司, 他: 術後に診断的気管支鏡での根治が確認された結節型中枢型扁平上皮癌の一例. ポスター発表. 第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2022 (オンデマンド配信), 岐阜.

(3年次書籍)

記載なし

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

1. 肺癌診療ガイドライン 気管支鏡委員会(日本肺癌学会 2022年～)

(3年次その他)

記載なし

研究分担者: 蓑田 洋介

(3年次雑誌論文) ※2022年度(2022年4月以降)のデータを記載

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入されているもの

1. Y Minoda, E Ihara, N Fujimori, S Nagatomo, M Esaki, Y Hata, X Bai, Y Tanaka, H Ogino, T Chinen, Q Hu, E Oki, H Yamamoto, Y Ogawa, Efficacy of ultrasound endoscopy with artificial intelligence for the differential diagnosis of non-gastric gastrointestinal stromal tumors. Sci Rep. 2022; 12: 16640.

査読あり(課題番号: 2020-A-12)

2. Y Minoda, M Esaki, E Ihara, S Nagatomo, K Nishioka, N Fujimori, H Ogino, X Bai, Y Tanaka, T Chinen, Q Hu, M Ota, S Umekita, H Yamamoto, Y Ogawa. Auxiliary diagnosis of subepithelial lesions by impedance measurement during EUS-guided fine-needle biopsy.

Gastrointest Endosc. 2023 May;97(5):977-984. 査読あり(課題番号: 2020-A-12)

・国立がん研究センター研究開発費による成果であることが記入はないが、関連するもの

1. Y Minoda, E Ihara, S Itaba, Y Sumida, K Haraguchi, A Aso, T Mizutani, T Osoegawa, M Esaki, S Nagatomo, K Nishioka, K Muta, X Bai, H Ogino, N Fujimori, D Tsurumaru, K Ohuchida, H Qingjiang, E Oki, H Yamamoto, Y Ogawa. Negligible procedure-related dissemination risk of mucosal incision-assisted biopsy for gastrointestinal stromal tumors versus endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration/biopsy. Surg Endosc. 2022 Jul 15. 査読あり

(3年次学会発表)

1. 蓑田 洋介, 江崎 充, 鈴木 祐輔, 稲田 泰亮, 伊原 栄吉: シンポジウム. 胃粘膜下腫瘍に対する EUS 画像の AI 鑑別はミニチュアプローブでも可能か? 第 120 回日本消化器病学会九州支部例会、2022 年 12 月 2 日～3 日、熊本

(3年次書籍)

記載なし

(3年次知的財産権)

記載なし

(3年次政策提言(寄与した指針等))

記載なし

(3年次その他)

記載なし